

令和7年度

工 事 仕 様 書

工 事 名	久下戸跨線橋耐震補強及び補修工事（その2）
工 事 場 所	川越市大字久下戸地内
路 河 川 名 称	
事 業 名	
工 事 大 要	

本工事は「週休2日制適用工事（現場閉所型）」である。
久下戸跨線橋 橋長L=241.4m 幅員W=6.5m
No.5橋脚

- 工場製作工 一式
- 耐震補強工 一式
- 補修工 一式
- 撤去工 一式
- 仮設工 一式

案内図



工事場所

JR川越線

久米橋

県道川越新座線

南古谷中学校



変更理由							
備考							
地区	(0001) 県南	労務費補正	1.04	機械経費(賃料)補正	1.02		
単価適用年月	(R0706) 令和07年06月						
工期	当初	自		至	令和 8年 3月 17日		
		日数					
	変更			至			
経費適用年月	令和07年06月						
主たる工種	橋梁保全工事						
施工地域	適用しない						
設計	当初金額			変更金額			
	工事価格						
	消費税相当額						
	合計						
請負	工事価格						
	消費税相当額						
	合計						
	請負増減額						
週休2日区分	閉所型 月単位						

本 工 事 費 内 訳 書

工事区分	工種	種別	細別・規格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
道路維持・修繕					式			
				1				
_ 久下戸跨線橋					式			
				1				
_ _ 工場製作工					式			
				1				
_ _ _ 工場製作工					式			
				1				
_ _ _ _ 水平力分担構造（補強材・ブラケット）					式			第1号一位代価表
				1				
_ _ _ _ 落橋防止構造（補強材・ブラケット）					式			第2号一位代価表
				1				
_ _ 耐震補強工					式			
				1				
_ _ _ 道路土工					式			
				1				
_ _ _ _ 床掘り					m3			第3号一位代価表
				10				
_ _ _ _ 埋戻し					m3			第4号一位代価表
				10				
_ _ _ _ 埋戻材					m3			第5号一位代価表
				1				

本 工 事 費 内 訳 書

工事区分	工種	種別	細別・規格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
---	橋脚補強工				式			
				1				
---	P5橋脚（橋脚補強工）				式			第6号一位代価表
				1				
---	支承取替工				式			
				1				
---	P5橋脚（支承取替工）				式			第7号一位代価表
				1				
---	水平力分担構造工				式			
				1				
---	P5橋脚（水平力分担構造工）				式			第8号一位代価表
				1				
---	落橋防止構造工				式			
				1				
---	P5橋脚（落橋防止構造工）				式			第9号一位代価表
				1				
--	補修工				式			
				1				
---	コンクリート構造物補修工				式			
				1				
---	ひび割れ補修				構造物			第10号一位代価表
				1				

本 工 事 費 内 訳 書

工事区分	工種	種別	細別・規格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
-	-	-	断面修復		構 造 物			第11号一位代価表
				1				
-	-	-	表面含浸		m2			第12号一位代価表
				86				
-	-	-	塗装塗替工		式			
				1				
-	-	-	塗装塗替		m2			第13号一位代価表
				286				
-	-	-	塗膜くず等運搬処理		式			第14号一位代価表
				1				
-	-	-	付属物工		式			
				1				
-	-	-	投物防止柵一体型防護柵工		m			第15号一位代価表
				22				
-	-	-	伸縮装置補修工		式			第16号一位代価表
				1				
-	-	-	排水管		式			第17号一位代価表
				1				
-	-	-	撤去工		式			
				1				
-	-	-	撤去工		式			
				1				

本 工 事 費 内 訳 書

工事区分	工種	種別	細別・規格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
----	高欄撤去				m			第18号一位代価表
				22				
----	金属くず運搬処理				式			第19号一位代価表
				1				
----	既設止水材（鋼製）撤去工				m			第20号一位代価表
				6.9				
----	配水管撤去				m			第21号一位代価表
				14				
----	廃プラスチック運搬処理				式			第22号一位代価表
				1				
----	舗装版切断				m			第23号一位代価表
				22				
----	濁水運搬処理				式			第24号一位代価表
				1				
----	舗装版破碎（橋脚回り）				m2			第25号一位代価表
				25				
回り）----	アスファルト殻運搬処理（橋脚				m3			第26号一位代価表
				3				
----	舗装復旧（橋脚回り）				m2			第27号一位代価表
				23				
----	コンクリート殻運搬処理				m3			第28号一位代価表
				0.1				

本 工 事 費 内 訳 書

工事区分	工種	種別	細別・規格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
-	-	-	立入防止柵撤去・復旧		m			第29号一位代価表
				30				
-	-	-	仮設工		式			
				1				
-	-	-	足場		式			
				1				
-	-	-	橋脚回り足場		式			第30号一位代価表
				1				
-	-	-	吊足場		式			第31号一位代価表
				1				
-	-	-	ベント工		式			第32号一位代価表
				1				
-	-	-	環境対策資機材		式			
				1				
-	-	-	環境対策資機材		式			第33号一位代価表
				1				
-	-	-	【交通誘導警備員】		式			
				1				
-	-	-	【交通誘導警備員】		式			
				1				
-	-	-	【交通誘導警備員】		式			
				1				

本 工 事 費 内 訳 書

工事区分	工種	種別	細別・規格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
-	-	-	交通誘導警備員B		人			第34号一位代価表
-			直接製作費		式			
				1				
-			純工事費		式			
				1				
-			工場製作原価		式			
				1				
-			直接工事費		式			
				1				
-	-		共通仮設費計		式			
				1				
-	-		共通仮設費(積分)		式			
				1				
-	-		安全費		式			
				1				
-	-	-	安全衛生保護具		式			第9501号一位代価表
				1				
-	-		技術管理費		式			
				1				
-	-	-	近接調査計測		式			第9502号一位代価表
				1				

本 工 事 費 内 訳 書

工事区分 工種 種別 細別・規格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
- - - 土質試験 (六価クロム)		式			第9503号一位代価表
	1				
- - 共通仮設費 (率分)		式			
	1				
_ 純工事費		式			
	1				
_ _ 現場管理費		式			
	1				
_ 工事原価計		式			
	1				
_ _ 一般管理費等		式			
	1				
工事価格		式			
	1				
_ 消費税相当額		式			
	1				
工事費合計		式			
	1				

建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。

使用機械の機種・規格及び施工方法は特記仕様書等で定めのある場合を除き、受注者の責任において任意で定め施工すること。ただし、使用機械は、排出ガス対策、低騒音・低振動型建設機械を原則とし、機種や規格については、施工計画書等に明記すること。

第1号一位代価表

水平力分担構造（補強材・ブラケット）

1.000 式 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
工場製作費		kg			
C-5系	408				
工場製作費		kg			
メッキ	1,371				
合 計		式			

第2号一位代価表

落橋防止構造（補強材・ブラケット）

1.000 式 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
工場製作費		kg			
C-5系	2,336				
工場製作費		kg			
メッキ	603				
合 計		式			

第3号一位代価表

床掘り

100.000 m3 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
床掘り		m3			第1号施工P
土砂, 上記以外(小規模), 全ての費用	100				
合 計		m3			
	(1)			当り	

第4号一位代価表

埋戻し

100.000 m3 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
埋戻し 上記以外(小規模), 土砂, 全ての費用		m3			第2号施工P
	100				
合 計		m3			
	(1		当り)	

第5号一位代価表

埋戻材

100.000 m3 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
砂 再生		m3			
	100				
合 計		m3			
	(1		当り)	

名称 / 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
コンクリート削孔 D32, 600mm以上690mm以下	18	箇所			第3号施工P
コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 30mm以上200mm未満	48	孔			第4号施工P
鉄筋工[市場単価] SD345 D32, 小口, 一般構造物, 10t未満, 時間制約補正なし, 夜間補正なし, トンネル内作業補正なし, 法面作業補正なし, 補正無(鉄筋割合10%未満含む), 補正無(一般構造物)	0.999	t			第1号施工表
鉄筋工[市場単価] SD345 D22, 小口, 一般構造物, 10t未満, 時間制約補正なし, 夜間補正なし, トンネル内作業補正なし, 法面作業補正なし, 補正無(鉄筋割合10%未満含む), 補正無(一般構造物)	1.329	t			第2号施工表
鉄筋工[市場単価] SD345 D13, 小口, 一般構造物, 10t未満, 時間制約補正なし, 夜間補正なし, トンネル内作業補正なし, 法面作業補正なし, 補正無(鉄筋割合10%未満含む), 補正無(一般構造物)	0.011	t			第3号施工表
ホールインアンカー 径×貫入長 12×52mm	48	本			
現場溶接 フレア溶接 D22 L=220	37.6	m			第1号特殊施工
コンクリート巻立て B支柱, a施工, 24-8-25(20)(高炉), 有り	10.7	m ³			第5号施工P

合 計		式			

第7号一位代価表

P5橋脚（支承取替工）

1.000 式 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
支承取替(鋼橋) IV, 無し	6	基			第6号施工P
ゴム支承装置 可動ゴム支承装置Φ205×43	3	基			
ゴム支承装置 可動ゴム支承装置Φ305×120	3	基			
合 計		式			

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
芯出し調整工 水平力分担構造	1.63	m2			第2号特殊施工
鋼桁孔明工 水平力分担構造	90	孔			第3号特殊施工
補強部材取付 水平力分担構造 ボルト接合	3	基			第4号特殊施工
芯出し調整工 水平力分担構造 ブラケット	2.25	m2			第5号特殊施工
チップング工 水平力分担構造 ブラケット	2.25	m2			第6号特殊施工
コンクリート削孔(さく岩機) 400mm以上600mm未満	24	孔			第7号施工P
部材取付 水平力分担構造 ブラケット	3	基			第7号特殊施工
注入工（シール含む） 水平力分担構造 ブラケット	2.25	m2			第8号特殊施工
部材取付 水平力分担構造	3	基			第9号特殊施工
高力ボルト本締工 水平力分担構造	60	本			第10号特殊施工

名称 / 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
ピンテール仕上げ工 水平力分担構造	60	本			第11号特殊施工
継手下塗り(新橋現場・新橋継手部現場塗装) 変性エポキシ樹脂塗料(1層), 無し, 無し	1.93	m2			第4号施工表
中塗り・上塗り(新橋現場・新橋継手部現場塗装) 新橋継手部現場塗装, 中塗り, 無し, 無し, ふっ素樹脂塗料用, 淡彩	1.93	m2			第5号施工表
中塗り・上塗り(新橋現場・新橋継手部現場塗装) 新橋継手部現場塗装, 上塗り, 無し, 無し, ふっ素樹脂塗料, 淡彩	1.93	m2			第6号施工表
せん断ストッパー MC-RE-400 M30	3	基			
調整プレート テーパープレート加工 500*30*320	3	枚			
調整プレート ザグリ加工 380*32*550	3	枚			
アンカーボルト D35*625 SD345 M33 1種・3種N, W含む	24	本			
連結ボルト M22*110 強度区分8.8 メッキ品(2-N, 2-W)	18	セット			

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
摩擦接合用高力ボルト(トルシア) S10T M22×70	48	組			
摩擦接合用高力ボルト(トルシア) S10T M22×80	12	組			
合 計		式			

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
芯出し調整工 落橋防止構造	2.33	m2			第12号特殊施工
鋼桁孔明工 落橋防止構造	118	孔			第13号特殊施工
補強部材取付工 落橋防止構造	6	基			第14号特殊施工
部材取付 落橋防止構造 600kg超え	2	基			第15号特殊施工
部材取付 落橋防止構造 600kg以下	13	基			第16号特殊施工
高力ボルト本締工 落橋防止構造	158	本			第17号特殊施工
ピンテール仕上げ工 落橋防止構造	158	本			第18号特殊施工
チップング工 落橋防止構造	1.47	m2			第19号特殊施工
コンクリート削孔(さく岩機) 400mm以上600mm未満	24	孔			第7号施工P
注入工(シール含む) 落橋防止構造	1.47	m2			第20号特殊施工

名称 / 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
継手部下塗り(新橋現場・新橋継手部現場塗装) 変性エポキシ樹脂塗料(1層), 無し, 無し	4.2	m2			第4号施工表
中塗り・上塗り(新橋現場・新橋継手部現場塗装) 新橋継手部現場塗装, 中塗り, 無し, 無し, ふっ素樹脂塗料用, 淡彩	4.2	m2			第5号施工表
中塗り・上塗り(新橋現場・新橋継手部現場塗装) 新橋継手部現場塗装, 上塗り, 無し, 無し, ふっ素樹脂塗料, 淡彩	4.2	m2			第6号施工表
緩衝チェーン 2型1リンク	3	セット			
アンカーボルト D29*520 SD345 M27 1種・3種N, W含む	12	本			
緩衝チェーン 8型1リンク	2	セット			
アンカーボルト D38*675 SD345 M36 1種・3種N, W含む	12	本			
摩擦接合用高力ボルト(トルシア) S10T M22×70	28	組			
摩擦接合用高力ボルト(トルシア) S10T M22×75	24	組			

第9号一位代価表

P5橋脚（落橋防止構造工）

1.000 式 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
摩擦接合用高力ボルト(トルシア) S10T M22×80	58	組			
摩擦接合用高力ボルト(トルシア) S10T M22×100	24	組			
摩擦接合用高力ボルト(トルシア) S10T M22×115	24	組			
合 計		式			

第10号一位代価表

ひび割れ補修

1.000 構造物 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
ひび割れ補修工(低圧注入工法) 25m未満, m, 0.21 kg, 2.18 kg, 50 個	1	構造物			第7号施工表
合 計		構造物			

第11号一位代価表

断面修復

1.000 構造物 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
断面修復工(左官工法) 有り, 0.1m3未満, 0.012 m3	1	構造物			第8号施工表
合 計		構造物			

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
表面含浸工 下地処理 時間的制約無 高所作業車無	100	m2			
表面含浸工 含浸材塗布 時間的制約無 高所作業車無	100	m2			
表面含浸材 高分子系浸透性含浸材 標準使用量0.25kg/m2	26.25	kg			
合 計	(1	m2	当り)

名称 / 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
1種ケレン 研削材再利用型 研削材等の回収積込 含む	100	m2			第21号特殊施工
塗替塗装 下塗り, 無し, 無し, 無し, 有機ゾンカ リッチ(2回/層)はけ・ローラーII	100	m2			第9号施工表
塗替塗装 下塗り, 無し, 無し, 無し, 弱溶剤形 変性エポキシ(2層)はけ・ローラー	100	m2			第10号施工表
塗替塗装 中塗り, 無し, 無し, 無し, 弱溶剤 形ふっ素樹脂用 はけ・ローラー, 淡彩	100	m2			第11号施工表
塗替塗装 上塗り, 無し, 無し, 無し, 弱溶剤 形ふっ素樹脂 はけ・ローラー, 淡彩	100	m2			第12号施工表
合 計	(1	m2	当り)

名称 / 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
収集運搬 (建設汚泥) 10tダンプ車 片道距離概ね75km	1	回			
処分費 研削材・鉛含有塗膜くず	1.5	t			
合 計		式			

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
投物防止柵一体型防護柵工		m			第22号特殊施工
	100				
投物防止柵一体型鋼製高柵 H2750 B種 レベル部 アンカーボルト・樹脂カプセル含む		m			
	100				
合 計		m			
	(1		当り)	

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
下地処理工		m			第23号特殊施工
	8.2				
エポキシ樹脂塗装工		m			第24号特殊施工
	8.2				
乾式止水材設置工		m			第25号特殊施工
	8.2				
支持金具設置工		m			第26号特殊施工
	8.2				
止水ゴムパッキン設置工		m			第27号特殊施工
	8.2				
材料費		式			
	1				
合 計		式			

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
排水管設置 有り	14.3	m			第8号施工P
硬質塩化ビニル管(一般管) VP-100	8.3	m			
排水用フレキシブルパイプ Φ100 L1000	2	本			
排水用フレキシブルパイプ Φ100 L2000	2	本			
VP管接手 45° エルボ Φ100	2	個			
VP管接手 ソケット Φ100	5	個			
VP管接手 45° Y	2	個			
合 計		式			

第18号一位代価表

高欄撤去

100.000 m 当り

名称 / 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
高欄撤去		m			第9号施工P
	100				
合計		m			
	(1		当り)	

第19号一位代価表

金属くず運搬処理

1.000 式 当り

名称 / 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付4～4.5t級、吊能力2.9t、無し、6.0km以下		t			第10号施工P
	1.69				
スクラップ ヘビーH1		t			
	1.69				
合計		式			

第20号一位代価表

既設止水材（鋼製）撤去工

10.000 m 当り

名称 / 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
既設止水材（鋼製）撤去工		m			第28号特殊施工
	10				
合計		m			
	(1		当り)	

第21号一位代価表

配水管撤去

100.000 m 当り

名称 / 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
配水管撤去 足場あり	100	m			
合計	(1	m	当り)

第22号一位代価表

廃プラスチック運搬処理

1.000 式 当り

名称 / 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
収集運搬（建設系廃棄物） 2t・3tダンプ車 片道距離概ね25km	1	回			
処分費 廃プラスチック類	0.1	m ³			
合計		式			

第23号一位代価表

舗装版切断

100.000 m 当り

名称 / 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
舗装版切断 アスファルト舗装版, 15cm以下, 全ての費用	100	m			第11号施工P
合計	(1	m	当り)

名称 / 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
アスファルト切断濁水運搬費 積載量2t 運搬距離 10kmまで		台			
アスファルト切断濁水処分費 中間処理後,最終処分場に搬入 [焼却 又は溶融含まず]	0.03	m3			
合計		式			

名称 / 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
舗装版破碎 アスファルト舗装版,無し,不要,15cm以下, 有り,全ての費用	100	m2			第12号施工P
合計	(1	m2	当り)

名称 / 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
殻運搬 舗装版破碎,機械(騒音対策不要,厚15cm以下), 無し,6.5km以下,全ての費用	100	m3			第13号施工P
廃材持込料 区分 川越県土整備事務所 適用区分 As廃材	235	t			
合計	(1	m3	当り)

第27号一位代価表

舗装復旧（橋脚回り）

100.000 m2 当り

名称 / 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
表層(車道・路肩部) 1.4m未満(仕上厚50mm以下), 50mm, mm, mm, 再生密粒度アスコン(13), プライムコート PK-3, 全ての費用	100	m2			第14号施工P
合計	(1	m2	当り		

第28号一位代価表

コンクリート殻運搬処理

100.000 m3 当り

名称 / 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし, 機械積込, 無し, 10.9km以下, 全ての費用	100	m3			第15号施工P
廃材持込料 区分 川越県土整備事務所 適用区分 Co廃材[無筋]	235	t			
合計	(1	m3	当り)

第29号一位代価表

立入防止柵撤去・復旧

100.000 m 当り

名称 / 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
金網・支柱(立入防止柵)撤去	100	m			第16号施工P
金網・支柱(立入防止柵) 基礎ブロック, 2m	100	m			
合計	(1	m	当り)

第30号一位代価表

橋脚回り足場

1.000 式 当り

名称 / 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
橋脚周り足場 タイプF 朝顔+板張+シート張防 護 A=86.33m ²	1	式			
合計		式			

第31号一位代価表

吊足場

1.000 式 当り

名称 / 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
吊足場 タイプA2 床面シート張防 護 A=37.7m ²	1	式			
片側朝顔防護足場 タイプE シート+板張防 護 A=17.8m ² 2回使用	1	式			
合計		式			

第32号一位代価表

ベント工

1.000 式 当り

名称 / 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
ベント設備 設置・撤去 ラフテレーンクレーン, 33.4 t, 発動 発電機	33.4	t			第13号施工表
ベント設備損料 2m以上30m以下(足場有)	33.4	t			第14号施工表
合計		式			

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
ブラスト用養生 A=37.7m ²	1	式			
負圧集塵装置 5～7m ³ /min 基本料		台			
負圧集塵装置 5～7m ³ /min	2	台/月			
負圧集塵装置用1次フィルター 5～7m ³ /min	16	枚			
負圧集塵装置用2次フィルター 5～7m ³ /min	1	枚			
負圧集塵装置用HEPAフィルター 5～7m ³ /min	1	枚			
呼気用ダクト 10m	3	本			
排気用ダクト 10m	3	本			
真空掃除機 基本料		台			
真空掃除機	1	台/月			

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
真空掃除機用1次フィルター	1	枚			
真空掃除機用HEPAフィルター	1	枚			
簡易セキュリティールーム		台			
エアシャワー 基本料		台			
エアシャワー	1	台/月			
エアシャワー用1次フィルター	1	枚			
エアシャワー用HEPAフィルター	1	枚			
合 計		式			

第34号一位代価表

交通誘導警備員B

100.000 人 当り

名称 / 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
交通誘導警備員B		人			
合計		人			
	(1		当り)

第9501号一位代価表

安全衛生保護具

1.000 式 当り

名称 / 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
電動ファン付き呼吸用保護具 全面型		個			
	6				
呼吸用保護具用フィルター		個			
	96				
化学防護服		着			
	192				
防護手袋		組			
	192				
シューズカバー		組			
	192				
合計		式			

名称 / 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
近接調査計測 水平力分担構造	3	組			第29号特殊施工
近接調査計測 落橋防止構造	5	組			第30号特殊施工
鉄筋探査工 横向き	4	m2			第31号特殊施工
鉄筋探査工 下向き	1	m2			第32号特殊施工
合計		式			

名称 / 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
土壌分析試験費 六価クロム溶出試験 [配合設計時]	1	検体			
合計		式			

(SB810010)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D32 小口(5t以下)	1.030	t			
鉄筋工 加工・組立共 一般構造物	1.000	t			
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合 計	1	t	当り		

条件名称	入力名称
J01 鉄筋材料規格・径	SD345 D32
J02 取引数量	小口
J03 規格・仕様区分	一般構造物
J04 施工規模	10t未満
J05 時間的制約を受ける場合の補正	時間制約補正なし
J06 夜間作業補正	夜間補正なし
J07 トンネル内作業の補正	トンネル内作業補正なし
J08 法面作業の補正	法面作業補正なし
J09 太径鉄筋補正	補正無(鉄筋割合10%未満含む)
J10 構造物種別による補正	補正無(一般構造物)

(SB810010)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D22 小口(5t以下)	1.030	t			
鉄筋工 加工・組立共 一般構造物	1.000	t			
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合 計	1	t	当り		

	条件名称	入力名称
J01	鉄筋材料規格・径	SD345 D22
J02	取引数量	小口
J03	規格・仕様区分	一般構造物
J04	施工規模	10t未満
J05	時間的制約を受ける場合の補正	時間制約補正なし
J06	夜間作業補正	夜間補正なし
J07	トンネル内作業の補正	トンネル内作業補正なし
J08	法面作業の補正	法面作業補正なし
J09	太径鉄筋補正	補正無(鉄筋割合10%未満含む)
J10	構造物種別による補正	補正無(一般構造物)

第 0003 号 一位代価表(施工歩掛表) 鉄筋工[市場単価]

1.00 t 当り

(SB810010)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13 小口(5t以下)	1.030	t			
鉄筋工 加工・組立共 一般構造物	1.000	t			
諸雑費(まるめ)	1.000	式			
合 計	1	t	当り		

条件名称	入力名称
J01 鉄筋材料規格・径	SD345 D13
J02 取引数量	小口
J03 規格・仕様区分	一般構造物
J04 施工規模	10t未満
J05 時間的制約を受ける場合の補正	時間制約補正なし
J06 夜間作業補正	夜間補正なし
J07 トンネル内作業の補正	トンネル内作業補正なし
J08 法面作業の補正	法面作業補正なし
J09 太径鉄筋補正	補正無(鉄筋割合10%未満含む)
J10 構造物種別による補正	補正無(一般構造物)

第 0004 号 一位代価表(施工歩掛表)

継手下塗り(新橋現場・新橋継手部
現場塗装)

100.00 m2 当り

(WB821520)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
橋梁塗装工 新橋塗装 下塗り 昼間 変性エポキシ樹脂(1層) 無	100.000	m2			
諸雑費(まるめ)	1.000	式			
合 計	1	m2	当り		

条件名称	入力名称
J01 塗料区分	変性エポキシ樹脂塗料(1層)
J02 時間的制約の有無	無し
J03 夜間作業の有無	無し

第 0005 号 一位代価表(施工歩掛表)

中塗り・上塗り(新橋現場・新橋継手
部現場塗装)

100.00 m2 当り

(WB821540)

名称 / 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
橋梁塗装工 新橋塗装 中塗り 昼間 ふっ素樹脂用 淡彩 制約無	100.000	m2			
諸雑費(まるめ)	1.000	式			
合計	1	m2	当り		

条件名称	入力名称
J01 塗装区分	新橋継手部現場塗装
J02 作業区分	中塗り
J04 時間的制約の有無	無し
J05 夜間作業の有無	無し
J06 塗料区分	ふっ素樹脂塗料用
J07 色彩	淡彩

第 0006 号 一位代価表(施工歩掛表)

中塗り・上塗り(新橋現場・新橋継手
部現場塗装)

100.00 m2 当り

(WB821540)

名称 / 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
橋梁塗装工 新橋塗装 上塗り 昼間 ふっ素樹脂 淡彩 制約無	100.000	m2			
諸雑費(まるめ)	1.000	式			
合計	1	m2	当り		

条件名称	入力名称
J01 塗装区分	新橋継手部現場塗装
J02 作業区分	上塗り
J04 時間的制約の有無	無し
J05 夜間作業の有無	無し
J06 塗料区分	ふっ素樹脂塗料
J07 色彩	淡彩

(WB229110)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
エポキシ樹脂注入材 土木補修用 3種	0.210	kg			
シール材 エポキシ	2.987	kg			
低圧注入器具 ひび割れ補修工 (低圧注入工法)	50.000	個			
諸雑費 (率・まるめ)	1	式			
合 計	1	構造物	当り		

	条件名称	入力名称
J01	1構造物当り補修延べ延長区分	25m未満
J03	1構造物当り注入材使用量(実数)	0.21 kg
J04	1構造物当りシール材設計量(実数)	2.18 kg
J05	1構造物当低圧注入器具使用量(実)	50 個

(WB229210)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
材料費	0.014	m3			
諸雑費 (率・まるめ)	1	式			
合 計	1	構造物	当り		

	条件名称	入力名称
J01	鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理の有無	有り
J02	1構造物当り修復延べ体積区分	0.1m3未満
J03	1構造物当り修復延べ体積(実数)	0.012 m3

(WB821550)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
橋梁塗装工 塗替塗装 下塗 昼 無 有機ジンクリッチ(2回/層)はけ・ローラーII	100.000	m2			
合 計	1	m2	当り		

	条件名称	入力名称
J01	作業区分	下塗り
J02	構造物別の補正係数	無し
J03	時間的制約の有無	無し
J04	夜間作業の有無	無し
J05	素地調整区分または塗料区分	有機ジンクリッチ(2回/層)はけ・ローラーII

第 0010 号 一位代価表(施工歩掛表) 塗替塗装

100.00 m2 当り

(WB821550)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
橋梁塗装工 塗替塗装 下塗 昼 無 弱溶剤形変性エポキシ2層はけ・ローラー	100.000	m2			
合 計	1	m2	当り		

	条件名称	入力名称
J01	作業区分	下塗り
J02	構造物別の補正係数	無し
J03	時間的制約の有無	無し
J04	夜間作業の有無	無し
J05	素地調整区分または塗料区分	弱溶剤形変性エポキシ(2層)はけ・ローラー

第 0011 号 一位代価表(施工歩掛表) 塗替塗装

100.00 m2 当り

(WB821550)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
橋梁塗装工 塗替塗装 中塗 昼 無 弱溶剤形ふっ素用はけ・ローラー淡彩	100.000	m2			
合 計	1	m2	当り		

	条件名称	入力名称
J01	作業区分	中塗り
J02	構造物別の補正係数	無し
J03	時間的制約の有無	無し
J04	夜間作業の有無	無し
J05	素地調整区分または塗料区分	弱溶剤形ふっ素樹脂用 はけ・ローラー
J07	色彩	淡彩

第 0012 号 一位代価表(施工歩掛表) 塗替塗装

100.00 m2 当り

(WB821550)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
橋梁塗装工 塗替塗装 上塗 昼 無 弱溶剤形ふっ素はけ・ローラー淡彩	100.000	m2			
合 計	1	m2	当り		

	条件名称	入力名称
J01	作業区分	上塗り
J02	構造物別の補正係数	無し
J03	時間的制約の有無	無し
J04	夜間作業の有無	無し
J05	素地調整区分または塗料区 分	弱溶剤形ふっ素樹脂 はけ・ローラー
J07	色彩	淡彩

第 0013 号 一位代価表(施工歩掛表) ベント設備 設置・撤去

1.00 t 当り

(WB470550)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
橋りょう世話役		人			
橋りょう特殊工		人			
諸雑費 (率・まるめ)	1	式			
合 計	1	t	当り		

	条件名称	入力名称
J01	使用機械	ラフテレーンクレーン
J02	ベント総質量(実数入力)	33.4 t
J03	使用電源の区分	発動発電機

(WB470570)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
ベント設備 損料	13.000	t・日			
ベント設備 損料	13.000	t・日			
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合 計	1	t	当り		

J02 条件名称
ベント平均高さ(足場の有
無)

入力名称
2m以上30m以下(足場有)

第0001号 一位代価表(特殊施工単価) 現場溶接
PJ0020

フレア溶接 D22 L=220

40.000 m 当り

名称 / 規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋りょう世話役	人				
橋りょう特殊工	人				
諸雑費(率・まるめ)	式				
		1			
合計	1	m	当り		

第0002号 一位代価表(特殊施工単価) 芯出し調整工
PJ0040

水平力分担構造

10.000 m2 当り

名称 / 規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋りょう世話役	人				
橋りょう特殊工	人				
普通作業員	人				
諸雑費(率・まるめ)	式				
		1			
合計	1	m2	当り		

第0003号 一位代価表(特殊施工単価) 鋼桁孔明工
PJ0060

水平力分担構造

80.000 孔 当り

名称 / 規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋りょう世話役	人				
橋りょう特殊工	人				
普通作業員	人				
諸雑費(率・まるめ)	式				
		1			
合計	1	孔	当り		

第0004号 一位代価表(特殊施工単価) 補強部材取付
PJ0070

水平力分担構造 ボルト接合

4.000 基 当り

名称 / 規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋りょう世話役	人				
橋りょう特殊工	人				
普通作業員	人				
諸雑費(率・まるめ)	式				
		1			
合計	1	基	当り		

第 0005 号 一位代価表(特殊施工単価) 芯出し調整工
PJ0080

水平力分担構造 ブラケット

10.000 m2 当り

名 称 / 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
橋りょう世話役	人				
橋りょう特殊工	人				
普通作業員	人				
諸雑費 (率・まるめ)	式				
		1			
合 計	1	m2	当り		

第 0006 号 一位代価表(特殊施工単価) チッピング工
PJ0081

水平力分担構造 ブラケット

7.000 m2 当り

名 称 / 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人				
特殊作業員	人				
普通作業員	人				
諸雑費 (率・まるめ)	式				
		1			
合 計	1	m2	当り		

第0007号 一位代価表(特殊施工単価) 部材取付
PJ0082

水平力分担構造 ブラケット

3.000 基 当り

名称 / 規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋りょう世話役	人				
橋りょう特殊工	人				
普通作業員	人				
諸雑費(率・まるめ)	式				
		1			
合計	1	基	当り		

第0008号 一位代価表(特殊施工単価) 注入工(シール含む)
PJ0083

水平力分担構造 ブラケット

6.000 m2 当り

名称 / 規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役	人				
特殊作業員	人				
普通作業員	人				
諸雑費(率)	式				
		1			
合計	1	m2	当り		

第 0009 号 一位代価表(特殊施工単価) 部材取付
PJ0090

水平力分担構造

3.000 基 当り

名 称 / 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
橋りょう世話役	人				
橋りょう特殊工	人				
普通作業員	人				
諸雑費 (率・まるめ)	式				
		1			
合 計	1	基	当り		

第 0010 号 一位代価表(特殊施工単価) 高力ボルト本締工
PJ0100

水平力分担構造

130.000 本 当り

名 称 / 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
橋りょう世話役	人				
橋りょう特殊工	人				
普通作業員	人				
諸雑費 (率・まるめ)	式				
		1			
合 計	1	本	当り		

第0011号 一位代価表(特殊施工単価) ピンテール仕上げ工
PJ0110

水平力分担構造

250.000 本 当り

名称 / 規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋りょう特殊工	人				
諸雑費(率・まるめ)	式				
		1			
合計	1	本	当り		

第0012号 一位代価表(特殊施工単価) 芯出し調整工
PJ0130

落橋防止構造

10.000 m2 当り

名称 / 規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋りょう世話役	人				
橋りょう特殊工	人				
普通作業員	人				
諸雑費(率・まるめ)	式				
		1			
合計	1	m2	当り		

第0013号 一位代価表(特殊施工単価) 鋼桁孔明工
PJ0140

落橋防止構造

80.000 孔 当り

名称 / 規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋りょう世話役	人				
橋りょう特殊工	人				
普通作業員	人				
諸雑費(率・まるめ)	式	1			
合計	1	孔	当り		

第0014号 一位代価表(特殊施工単価) 補強部材取付工
PJ0150

落橋防止構造

8.000 基 当り

名称 / 規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋りょう世話役	人				
橋りょう特殊工	人				
普通作業員	人				
諸雑費(率・まるめ)	式	1			
合計	1	基	当り		

第0015号 一位代価表(特殊施工単価) 部材取付
PJ0160

落橋防止構造 600kg超え

3.000 基 当り

名称 / 規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋りょう世話役	人				
橋りょう特殊工	人				
普通作業員	人				
諸雑費 (率・まるめ)	式	1			
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型] 4.9t吊	日				
合計	1	基	当り		

第0016号 一位代価表(特殊施工単価) 部材取付
PJ0161

落橋防止構造 600kg以下

4.000 基 当り

名称 / 規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋りょう世話役	人				
橋りょう特殊工	人				
普通作業員	人				
諸雑費 (率・まるめ)	式	1			
合計	1	基	当り		

第0017号 一位代価表(特殊施工単価) 高力ボルト本締工
PJ0170

落橋防止構造

130.000 本 当り

名称 / 規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋りょう世話役	人				
橋りょう特殊工	人				
普通作業員	人				
諸雑費(率・まるめ)	式				
		1			
合計	1	本	当り		

第0018号 一位代価表(特殊施工単価) ピンテール仕上げ工
PJ0180

落橋防止構造

250.000 本 当り

名称 / 規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋りょう特殊工	人				
諸雑費(率・まるめ)	式				
		1			
合計	1	本	当り		

第 0019 号 一位代価表(特殊施工単価) チッピング工
PJ0190

落橋防止構造

7.000 m2 当り

名 称 / 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人				
特殊作業員	人				
普通作業員	人				
諸雑費 (率・まるめ)	式	1			
合 計	1	m2	当り		

第 0020 号 一位代価表(特殊施工単価) 注入工 (シール含む)
PJ0210

6.000 m2 当り

名 称 / 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人				
特殊作業員	人				
普通作業員	人				
諸雑費 (率・まるめ)	式	1			
合 計	1	m2	当り		

第0021号 一位代価表(特殊施工単価) 1種ケレン
PJ0310

研削材再利用型 研削材等の回収積込含む

36.000 m2 当り

名称 / 規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋りょう世話役	人				
橋りょう塗装工	人				
橋りょう特殊工	人				
機械経費 研削材再利用型	日				
機械損料 研削材再利用型 消耗費・燃料費等	日				
研削材	kg	155			
合計	1	m2	当り		

第 0022 号 一位代価表(特殊施工単価) 投物防止柵一体型防護柵工
PJ0340

1.000 m 当り

名 称 / 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人				
特殊作業員	人				
普通作業員	人				
諸雑費 (まるめ)	式	1			
合 計	1	m	当り		

第 0023 号 一位代価表(特殊施工単価) 下地処理工
PJ0360

10.000 m 当り

名 称 / 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
橋りょう世話役	人				
特殊作業員	人				
普通作業員	人				
ガソリン発電機 2KVA	台				
諸雑費 (率・まるめ)	式	1			
合 計	1	m	当り		

名称 / 規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋りょう世話役	人				
特殊作業員	人				
普通作業員	人				
ガソリン発電機 2KVA	台				
諸雑費 (率・まるめ)	式				
		1			
合計	1	m	当り		

名 称 / 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
橋りょう世話役	人				
特殊作業員	人				
普通作業員	人				
ガソリン発電機 2KVA	台				
諸雑費 (率・まるめ)	式				
		1			
合 計	1	m	当り		

名 称 / 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
橋りょう世話役	人				
溶接工	人				
特殊作業員	人				
普通作業員	人				
ガソリン発電機 2KVA	台				
諸雑費 (率・まるめ)	式				
		1			
合 計	1	m	当り		

名称 / 規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋りょう世話役	人				
特殊作業員	人				
普通作業員	人				
ガソリン発電機 2KVA	台				
諸雑費 (率・まるめ)	式				
		1			
合計	1	m	当り		

名称 / 規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋りょう世話役	人				
運転手(特殊)	人				
特殊作業員	人				
普通作業員	人				
ガソリン発電機 2KVA	台				
ディーゼル発電機 45/37KVA	台				
エンジンプラズマ切断機 70A	台				
エンジンコンプレッサ 50HP 定置式	台				
クレーン付きトラック 4t 2.9t吊	台				
諸雑費(率・まるめ)	式	1			
合計	1	m	当り		

第 0029 号 一位代価表(特殊施工単価) 近接調査計測
PJ0500

水平力分担構造

7.000 組 当り

名 称 / 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
技師(A)	人				
技師(B)	人				
橋りょう特殊工	人				
諸雑費(率・まるめ)	式				
		1			
合 計	1	組	当り		

第 0030 号 一位代価表(特殊施工単価) 近接調査計測
PJ0510

落橋防止構造

7.000 組 当り

名 称 / 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
技師(A)	人				
技師(B)	人				
橋りょう特殊工	人				
諸雑費(率・まるめ)	式				
		1			
合 計	1	組	当り		

第 0031 号 一位代価表(特殊施工単価) 鉄筋探査工
PJ0520

横向き

12.500 m2 当り

名 称 / 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
技師(A)	人				
技師(B)	人				
技師(C)	人				
諸雑費(率・まるめ)	式				
		1			
合 計	1	m2	当り		

第 0032 号 一位代価表(特殊施工単価) 鉄筋探査工
PJ0530

下向き

18.000 m2 当り

名 称 / 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
技師(A)	人				
技師(B)	人				
技師(C)	人				
諸雑費(率・まるめ)	式				
		1			
合 計	1	m2	当り		

(CB210030)

施工P(機19.870%, 労72.990%, 材 7.140%, 市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
バックホウ(クローラ)[後方超小旋回型] 排ガス型(第2次) 山積0.28m3		19.87		K1
運転手(特殊)		39.96		R1
普通作業員		33.03		R2
軽油		7.14		Z1
積算単価		標準単価		

J01 条件名称
土質
J02 施工方法
J05 費用の内訳

入力名称
土砂
上記以外(小規模)
全ての費用

(CB210410)

施工P(機 9.480%, 労86.470%, 材 4.050%, 市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
バックホウ(クローラ)[後方超小旋回型] 排ガス型(第2次) 山積0.28m3		8.9		K1
ランマ 質量60~80kg		0.58		K2
普通作業員		49.42		R1
特殊作業員		19.17		R2
運転手(特殊)		17.88		R3
軽油		3.2		Z1
ガソリン レギュラー		0.85		Z2
積算単価		標準単価		

条件名称
 J01 施工方法
 J02 土質
 J04 費用の内訳

入力名称
 上記以外(小規模)
 土砂
 全ての費用

(CB435810)

施工P(機 0.000%, 労60.640%, 材39.360%, 市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
特殊作業員		32.65		R1
土木一般世話役		11.77		R2
普通作業員		9.73		R3
注入材 エポキシ		39.36		Z1
積算単価		標準単価		

J01 条件名称
アンカー材径
J02 削孔深(mm)

入力名称
D32
600mm以上690mm以下

第 0004 号 一位代価表(施工P構成表) コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 1 孔 当り
 (CB224410) 施工P(機 2.300%, 労95.320%, 材 2.380%, 市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
発動発電機[ガソリンエンジン駆動] 2kVA		1.1		K1
電動ハンマドリル 穴あけ能力 φ38~40mm		0.77		K2
特殊作業員		45.55		R1
普通作業員		18.52		R2
土木一般世話役		13.43		R3
ガソリン レギュラー		1.94		Z1
積算単価		標準単価		

J01 条件名称
削孔深さ

入力名称
30mm以上200mm未満

(CB435820)

施工P(機 4.220%, 労77.620%, 材18.160%, 市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力 65~85m ³ /h		3.02		K1
型わく工		19.39		R1
とび工		10.37		R2
普通作業員		10.03		R3
土木一般世話役		7.91		R4
生コンクリート 24-8-25(20) 高炉 【55%以下】		17.56		Z1
軽油		0.43		Z2
積算単価		標準単価		

J01	条件名称 支柱区分	入力名称 B支柱
J02	施工内容	a施工
J03	生コンクリート規格	24-8-25(20)(高炉)
J04	養生工の有無	有り

(CB431810)

施工P(機 0.000%, 労100.000%, 材 0.000%, 市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
橋りょう特殊工		37.82		R1
特殊作業員		15.25		R2
橋りょう世話役		14.76		R3
普通作業員		9.1		R4
積算単価		標準単価		

J01 条件名称
 J02 支取形式
 J03 下部工ブラケット取付の有無

入力名称
 IV
 無し

(CB224420)

施工P(機 4.670%, 労90.690%, 材 4.640%, 市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
空気圧縮機[可搬式・エンジン駆動・スクリュ型] 吐出量3.5~3.7m3/min		3		K1
さく岩機[ハンドドリル(空圧式)] 質量15kg級		1.33		K2
特殊作業員		60.43		R1
普通作業員		14.41		R2
土木一般世話役		9.14		R3
軽油		4.3		Z1
積算単価		標準単価		

J01 条件名称
削孔深さ

入力名称
400mm以上600mm未満

(CB473320)

施工P(機 0.000%, 労100.000%, 材 0.000%, 市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
特殊作業員		47.49		R1
普通作業員		30.08		R2
土木一般世話役		21.94		R3
積算単価		標準単価		

J01 条件名称
足場の有無

入力名称
有り

(CB224910)

施工P(機 5.350%, 労93.060%, 材 1.590%, 市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
トラック[クレーン装置付] ベーストラック4~4.5t積 吊能力2.9t		5.35		K1
溶接工		33.69		R1
特殊作業員		27.72		R2
土木一般世話役		14.99		R3
運転手(特殊)		14.37		R4
軽油		1.59		Z1
積算単価		標準単価		

条件名称

入力名称

(CB010410)

施工P(機17.080%, 労79.030%, 材 3.890%, 市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
トラック[クレーン装置付] ベーストラック4～4.5t積 吊能力2.9t		17.08		K1
運転手(特殊)		40.25		R1
特殊作業員		38.78		R2
軽油		3.89		Z1
積算単価		標準単価		

J01 条件名称
トラック機種

J02 DID区間の有無

J03 片道運搬距離(km)DID無

入力名称
クレーン装置付4～4.5t級、吊能力2.9t

無し

6.0km以下

(CB430510)

施工P(機15.420%, 労57.130%, 材27.450%, 市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
コンクリートカッター[バキューム式(超低騒音型)] 湿式 切削深20cm級 ブレード径φ56cm		10.49		K1
特殊作業員		19.6		R1
土木一般世話役		10.55		R2
普通作業員		8.73		R3
コンクリートカッター (ブレード) 径18インチ		23.29		Z1
ガソリン レギュラー		2.83		Z2
積算単価		標準単価		

J01	条件名称 舗装版種別	入力名称 アスファルト舗装版
J02	アスファルト舗装版厚	15cm以下
J05	費用の内訳	全ての費用

(CB430310)

施工P(機13.490%, 労80.490%, 材 6.020%, 市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
バックホウ(クローラ型)[後方超小旋回型] 山積0.45m3(平積0.35m3)		13.49		K1
土木一般世話役		28.91		R1
運転手(特殊)		27.69		R2
普通作業員		23.89		R3
軽油		6.02		Z1
積算単価		標準単価		

条件名称
 J01 舗装版種別
 J02 障害等の有無
 J03 騒音振動対策
 J04 舗装版厚
 J06 積込作業の有無
 J07 費用の内訳

入力名称
 アスファルト舗装版
 無し
 不要
 15cm以下
 有り
 全ての費用

(CB227010)

施工P(機44.950%, 労38.970%, 材16.080%, 市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級		44.95		K1
運転手(一般)		38.97		R1
軽油		16.08		Z1
積算単価		標準単価		

	条件名称	入力名称
J01	殻発生作業	舗装版破碎
J02	積込工法区分	機械(騒音対策不要、厚15cm以下)
J03	DID区間の有無	無し
J07	運搬距離(km)(DID区間無)	6.5km以下
J13	費用の内訳	全ての費用

(CB410260)

施工P(機 0.430%, 労42.300%, 材57.270%, 市 0.000%)

名称 / 規格	埼玉単価	構成比 (%)	東京単価	摘要
振動ローラ(舗装用)[ハンドガイド式] 運転質量0.5~0.6t		0.24		K1
振動コンパクタ[前進型] 機械質量40~60kg		0.13		K2
特殊作業員		18.71		R1
普通作業員		13.4		R2
土木一般世話役		4.05		R3
再生アスファルト混合物 再生密粒度アスコン(13)		52.51		Z1
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用		4.54		Z2
ガソリン レギュラー		0.16		Z3
軽油		0.03		Z4
積算単価		標準単価		

条件名称
 J01 平均幅員
 J02 1層当平均仕上厚 50mm以下
 J05 材料
 J06 瀝青材料種類
 J07 費用の内訳

入力名称
 1.4m未満(仕上厚50mm以下)
 50 mm
 再生密粒度アスコン(13)
 プライムコート PK-3
 全ての費用

第 0015 号 一位代価表(施工P構成表) 殻運搬

1 m3 当り

(CB227010)

施工P(機41.690%, 労43.880%, 材14.430%, 市 0.000%)

名称 / 規格	埼玉単価	構成比 (%)	東京単価	摘要
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級		41.69		K1
運転手(一般)		43.88		R1
軽油		14.43		Z1
積算単価		標準単価		

	条件名称	入力名称
J01	殻発生作業	コンクリート(無筋)構造物とりこわし
J02	積込工法区分	機械積込
J03	DID区間の有無	無し
J04	運搬距離(km)(DID区間有無)	10.9km以下
J13	費用の内訳	全ての費用

第 0016 号 一位代価表(施工P構成表) 金網・支柱(立入防止柵)

1 m 当り

(CB420840)

施工P(機 0.000%, 労100.000%, 材 0.000%, 市 0.000%)

名称 / 規格	埼玉単価	構成比 (%)	東京単価	摘要
普通作業員		90.38		R1
土木一般世話役		8.81		R2
積算単価		標準単価		

	条件名称	入力名称
J01	基礎種別	基礎ブロック
J03	支柱間隔	2m

橋りょう工事特記仕様書

(趣旨)

第1条 この特記仕様書は、川越市土木工事共通仕様書に定めるもののほか、請負工事（以下「工事」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

(適用)

第2条 この特記仕様書は、道路街路課が発注する次の工事に適用する。

工事名 久下戸跨線橋耐震補強及び補修工事（その2）

工事場所 川越市大字久下戸地内

(監督員の権限)

第3条 川越市建設工事標準請負契約約款、埼玉県土木工事共通仕様書、建設副産物の手引き及び川越市土木工事共通仕様書、本特記仕様書によるものとし、特に定めのない事項については、監督員と協議の上決定するものとする。

(交通規制等)

第4条 本工事における、伸縮装置補修工及び防護柵工施工時は原則として片側交互通行による施工を行うものとし、交通誘導員の配置については、工事実施日1日につき3人を標準とする。

その他工種施工時の交通誘導員の配置については、工事実施日1日につき1人を標準とし、それぞれ道路使用許可条件を遵守して施工しなければならない。

(耐震補強工)

第5条 耐震補強工に先立ち部材取付範囲について、既設構造物の詳細寸法及び障害物の有無、鉄筋探査等の調査を行うものとする。

2 現場条件等を十分に把握し、取付部材の荷下ろし、取付手順について施工計画を立案するものとする。この時、補修工の内容を踏まえ効率的な現場管理を行えるよう十分に配慮すること。

(補修工)

第6条 補修工に先立ち過年度の橋りょう点検結果及び、既存構造物の損傷を再度確認し、補修箇所について事前に監督員と協議するものとする。

(既存塗膜の試験検査結果)

第7条 塗装塗替については過年度に実施した含有量試験及び溶出試験の結果を踏まえ施工計画を立案するものとする。なお、本工事で対象とする既存塗膜は鉛を含有するものである。

(塗膜除去及び素地調整)

第8条 既存塗膜の試験結果を踏まえ、塗膜除去及び素地調整の施工に際しては適切な安全衛生対策を講じなければならない。

(塗膜くず処分)

第9条 塗膜除去により発生する廃棄物については、関係法令に従い適切に処分しなければならない。本工事により発生する塗膜くずについては、下記に示す施設への搬出を想定しているが、別施設を選定する場合には事前に監督員の承諾を得るものとする。

- ・鉛含有塗膜くず処理施設
ジャパンウェイスト(株)
- ・種類及び処分量
塗膜くず汚泥 1.5t

(建設副産物)

第10条 本工事により発生する建設副産物については、下記に示す施設への搬出を想定しているが、別施設を選定する場合には事前に監督員の承諾を得るものとする。

・アスコン再生プラント

(株) 関東建設 川越アスコン

・種類及び処分量

アスファルト廃材 2.5m³

・再生砕石等プラント

(株) 山一商事 川越リサイクルセンター

・種類及び処分量

コンクリート廃材(無筋) 0.1m³

(中間検査)

第11条 技術管理課の検査対象工事については、川越市工事検査規則の実施要領により、次のとおり実施する。

① 請負契約金額 1,000万円以上～10,000万円未満 1回

② 請負契約金額 10,000万円以上 2回

(工事書類(写真)電子納品)

第12条 本工事は、「川越市工事書類(写真)電子納品運用取扱基準」の対象工事である。取扱基準は、川越市総務部技術管理課ホームページで確認のこと。

(週休2日制適用工事)

第13条 本工事は「週休2日制適用工事(現場閉所型)」の対象工事である。実施は、川越市週休2日制適用工事要領(土木工事)(令和6年11月1日施行)によるものとする。要領は、川越市総務部技術管理課ホームページで確認のこと。

(その他)

第14条 本工事はいわゆる現道工事であることから、工事目的物の引渡し前に、一定区間を一般交通の用に供するときは、監督員による確認等を受けること。この区間において、引渡し前の工事目的物や資機材等に事故が発生した場合は、受発注者で協議を行い対応するものとする。

*川越市土木工事共通仕様書は、川越市総務部技術管理課ホームページで確認のこと。

川越市総務部技術管理課ホームページ

<https://www.city.kawagoe.saitama.jp/shisei/info/1007964/1007974/1007978.html>

舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書

(趣旨)

第1条 この特記仕様書は、埼玉県土木工事共通仕様書及び橋りょう工事特記仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装切断時に発生する濁水（以下「濁水」という。）の処理に関し必要な事項を定めるものとする。

(適用)

第2条 この特記仕様書は、川越市建設部道路街路課の発注するアスファルト舗装版の切断作業に適用する。

(濁水の処理)

第3条 受注者は、アスファルト舗装切断作業を行いながら濁水を吸引のうえ、タンク等に貯留し、作業後速やかに、濁水を処理施設へ運搬し処分する。

- ・種類及び処理量 汚泥（油分を含む汚泥） 0.028m³
- ・中間処理施設 川越市下赤坂1812 株式会社山一商事
- ・処理方法 中間処理後、最終処分場に搬入（処理に焼却含まず）

2 やむを得ない理由がある場合は、別途監督員と協議するものとする。

(条件)

第4条 受注者は、濁水を処理する業者を、産業廃棄物の汚泥（アスファルト舗装版切断時に発生したもの）の中間処分業の許可を得ており産業廃棄物管理票（マニフェスト）にて管理できるものから選定する。

2 濁水の運搬は、元請負業者が行うこととする。ただし、やむを得ない理由があると発注者が認めた場合は、濁水の運搬を、産業廃棄物の汚泥（アスファルト舗装版切断時に発生したもの）の運搬許可を得ている業者に委託することができる。

(提出書類等)

第5条 受注者は、施工計画書にアスファルト舗装版切断時に発生する濁水の収集・運搬・処理に関する計画書、受注者と処分業者の許可証の写しを添付すること。

2 受注者は、濁水の運搬を、産業廃棄物の汚泥(アスファルト舗装版切断時に発生したもの)の運搬許可のある業者に委託した場合は、受注者と運搬業者との契約書の写し及び運搬業者の許可証の写しを添付すること。

3 受注者は、工事完了後、速やかに産業廃棄物管理票(マニフェスト)のD票及びE票の写しを監督員に提出すること。

4 受注者は、濁水の運搬を、産業廃棄物の汚泥(アスファルト舗装版切断時に発生したもの)の運搬許可のある業者に委託した場合は、B2票の写しも監督員に提出すること。

(その他)

第6条 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。

2 受注者は、バキューム式以外の工法(舗装切断時に濁水を生じない等)を使用する場合において、事前に発注者と協議するものとする。

3 この特記仕様書に疑義が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。

川越市環境方針

基本理念

川越市は、現在の環境を保全し、より良い環境を創造して、次の時代を生きる私たちの子孫に引き継いでいかななくてはならないと認識します。

近年、地球温暖化の影響と考えられる自然災害、熱中症、感染症など、様々なリスクが高まっており、地球温暖化は、人類の生存基盤に係る最も重要な環境問題の一つとなっています。また、私たちの生活に影響が大きいエネルギー問題への関心が高まっており、これまでも増して地域の自然的・社会的条件に応じた、実効性のある取組が不可欠となっています。

よって、川越市は、地域の環境の保全とより良い環境の創造に向けて率先して行動し、その取組を地域全体に広げていくことによって、環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会を構築していきます。

基本方針

川越市は、「2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ」の脱炭素社会実現に向けた取組をはじめとして、環境に影響を与える要因を市独自の環境マネジメントシステムを用いて継続的に改善することによって、環境に配慮した自治体であることをめざします。

- 1 「小江戸かわごえ脱炭素宣言」に基づき、国や他の自治体とともに「2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ」の脱炭素社会を目指し、市民・事業者・民間団体と力をあわせて地球温暖化対策の推進に努めます。
- 2 事務・事業の重要性や、それらが環境に与える様々な影響を十分認識した上で、適切な環境配慮を行います。特に、エネルギー使用の合理化と環境負荷の低減を図ります。
- 3 市の施設、設備の適切な管理、事故の備えによる環境汚染の予防に努めます。
- 4 環境に関する法規法令、条例、協定その他の合意事項を順守するとともに、自ら定めた環境への取組を率先して進めます。
- 5 環境基本計画などの各種計画に従って、技術的・経済的に可能な範囲で達成すべき目的及び目標を定めます。

また、取組の成果を内外に公表し、意見を反映させることによって、目的及び目標の見直しを図ります。

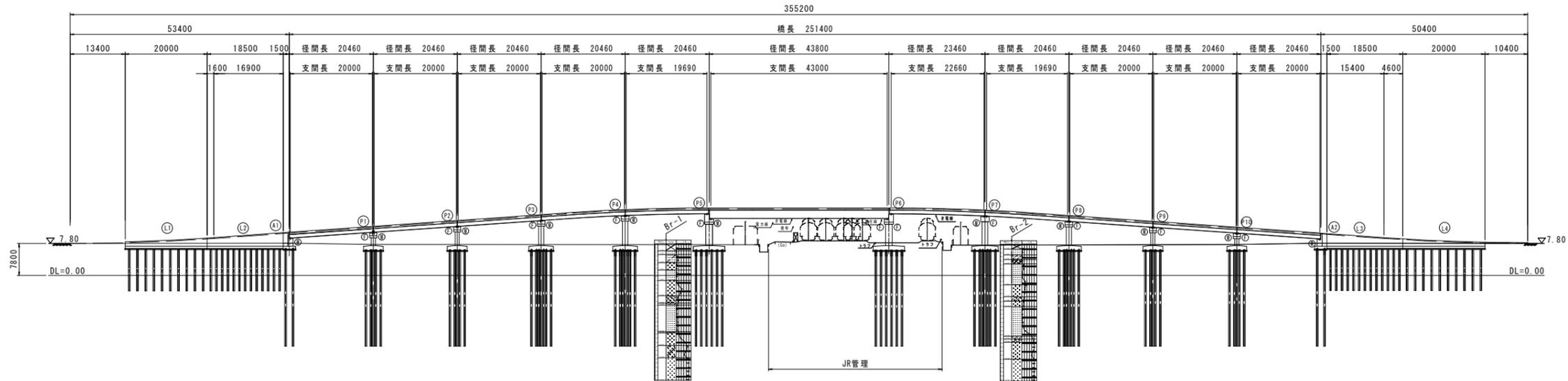
- 6 全職員・本市の委託業務を行う事業者・本市の施設を利用する個人及び団体に、継続的に教育・訓練を行います。
- 7 基本理念、基本方針を踏まえて全職員が環境に配慮した活動を行うとともに、本市の委託業務を行う事業者・本市の施設を利用する個人及び団体に協力を求めています。

令和7年4月23日 川越市長 森田初恵

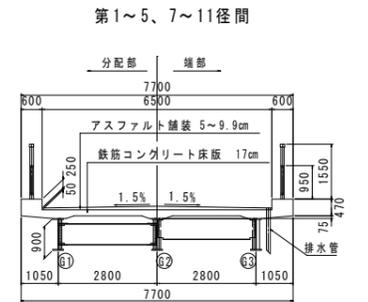


現況橋梁一般図

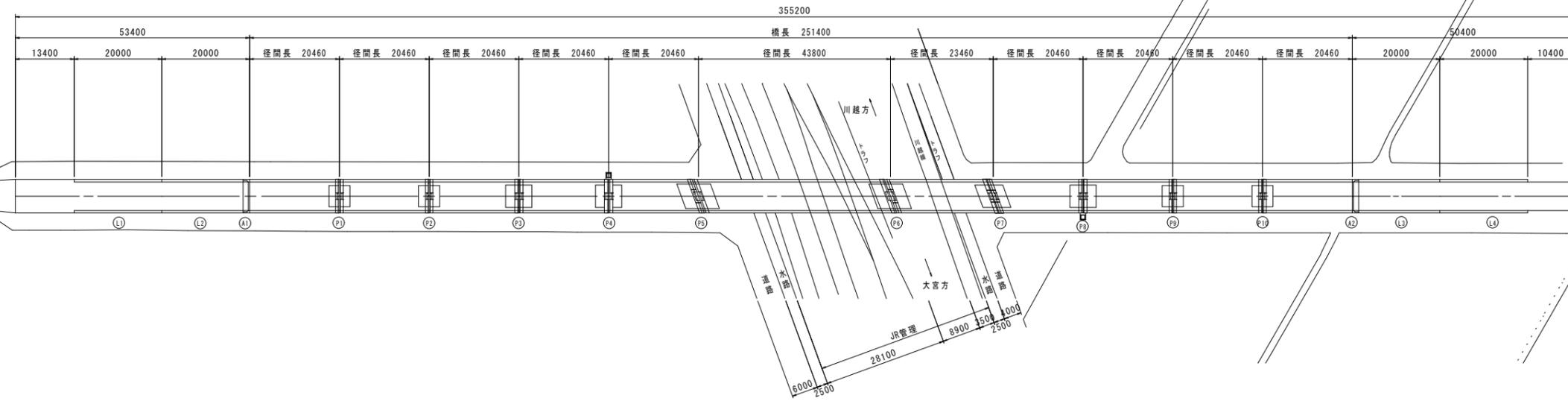
側面図 S=1:600



断面図 S=1:100



平面図 S=1:600



橋梁諸元

橋梁名	久下戸跨線橋(くげとせんきょう)	
路線名	市道0034号線	
桁下種別(管理者)	JR川越線(東日本旅客鉄道株式会社)	
橋の重要度の区分	B種	
橋長	251.4m	
支間長	4@20.00m+19.69m+43.00m+22.66m+19.69m+3@20.00m	
有効幅員	6.50m	
斜角	70°	
敷板高	第1~5径間、第7~11径間:0.900m、第6径間:2.000m	
設計水平度	kh=0.30(Ⅲ種地盤)	
横断勾配	1.5%勾配	
縦断勾配	7%勾配~VCL35m~LEVEL~VCL35m~7%勾配	
活荷重	T-14	
常荷重	無し	
舗装	アスファルト舗装 t=50~98mm	
形式	活荷重合成桁	
下部構造	躯体形式	逆T式橋台2基(A1,A2) 張出式橋脚10基(P1~P10)
	基礎形式	杭基礎 RC杭+PC杭(橋台)、RC杭(橋脚)
	コンクリート	σ _{ck} =24N/mm ²
鉄筋	SD345	
築設年次	昭和60年(1985年)	
適用基準	道路橋示方書・同解説 昭和55年	

※特記事項
1. 本図面は、既存資料および現地計測をもとに作成した図面である。

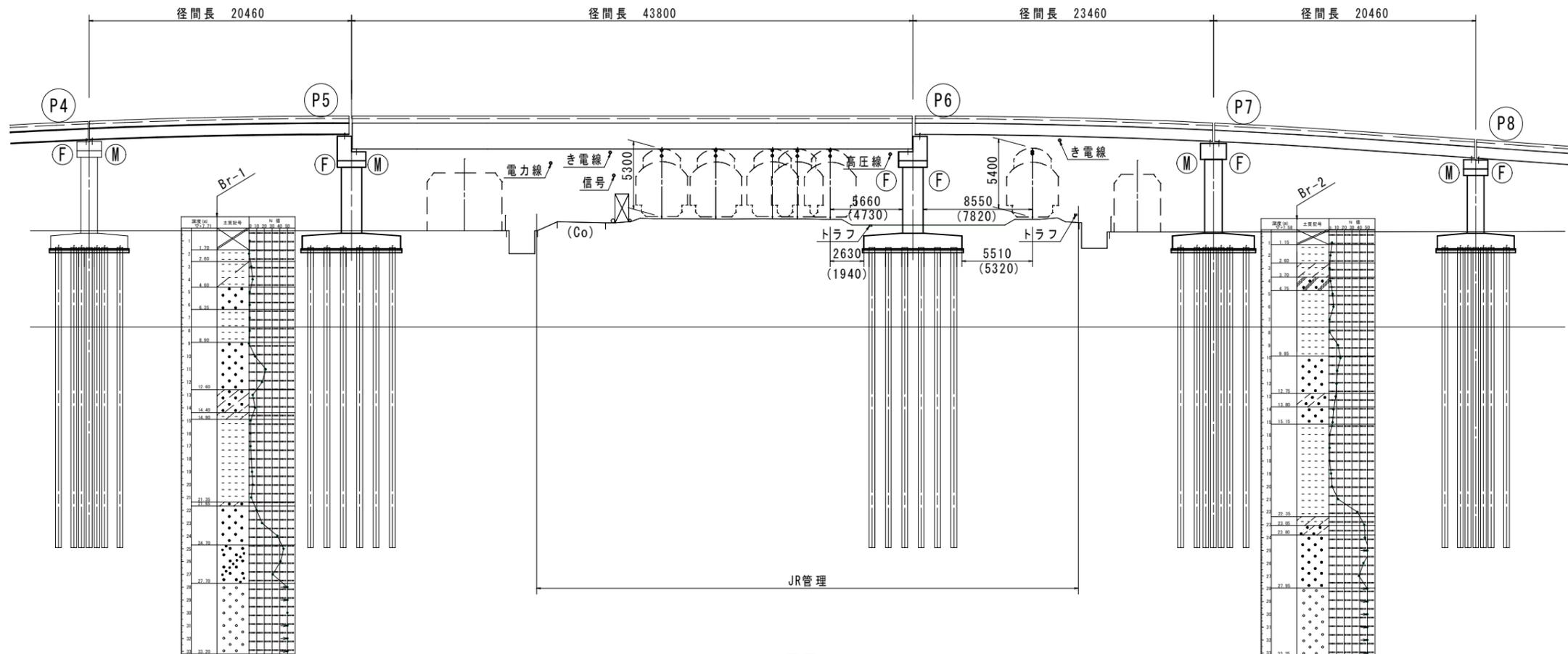
工事名	久下戸跨線橋耐震補強及び補修工事(その2)		
図面名	現況橋梁一般図		
縮尺	図示	図面番号	1 / 38
川越市 建設部 道路街路課			

現況橋梁一般図 (その2)

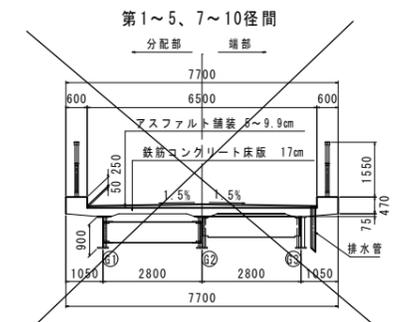
跨線部

側面図 S=1:200

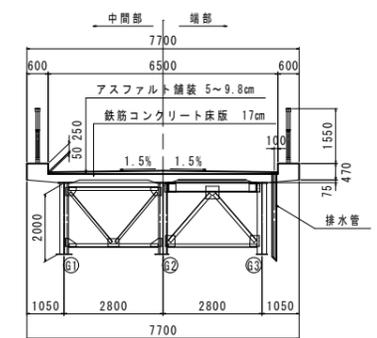
橋長 251400



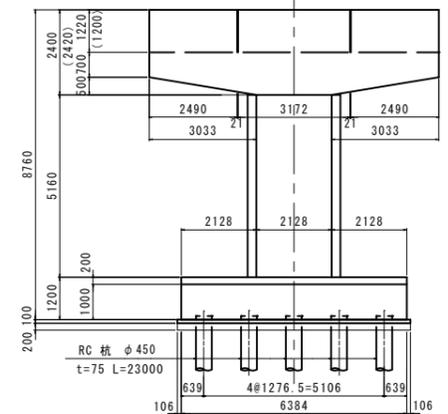
断面図 S=1:100



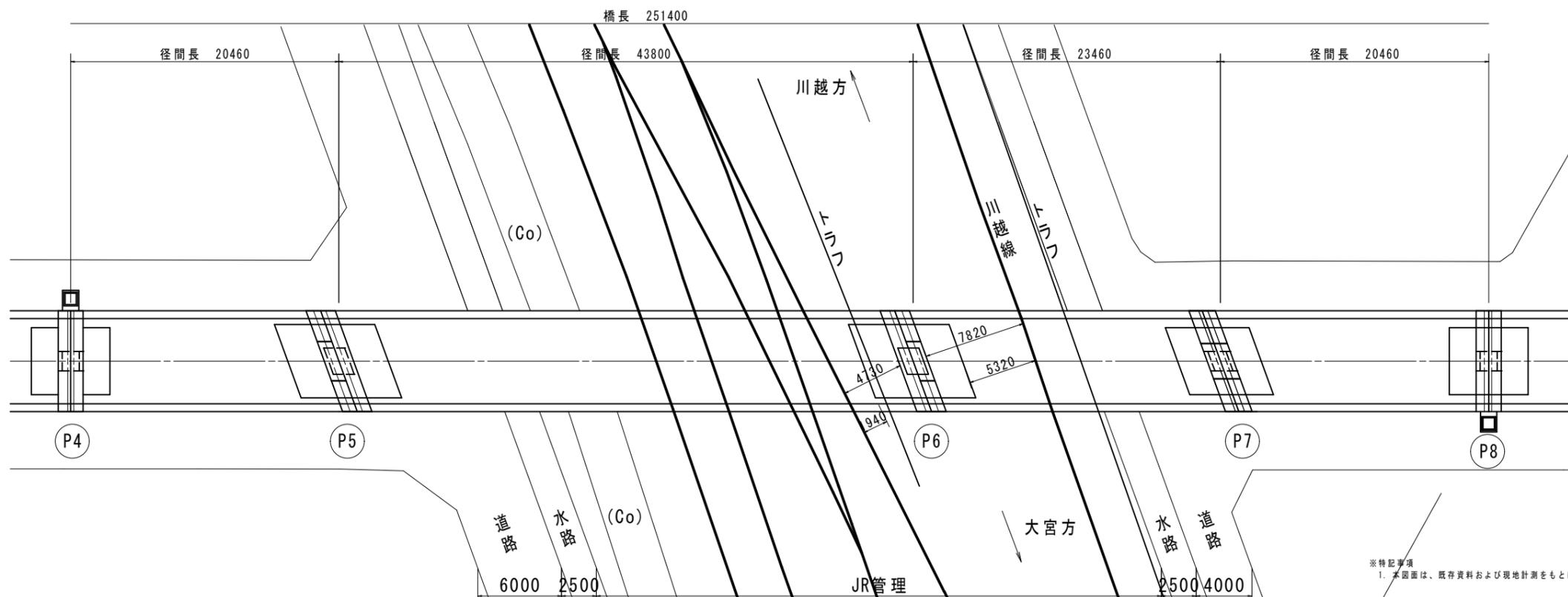
第6径間 断面図



P5橋脚 (P6橋脚) 正面図



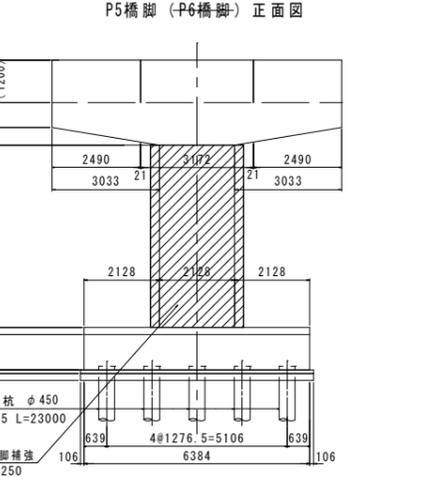
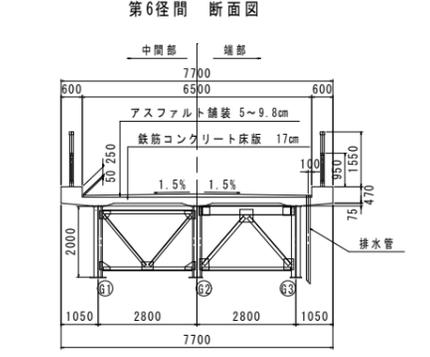
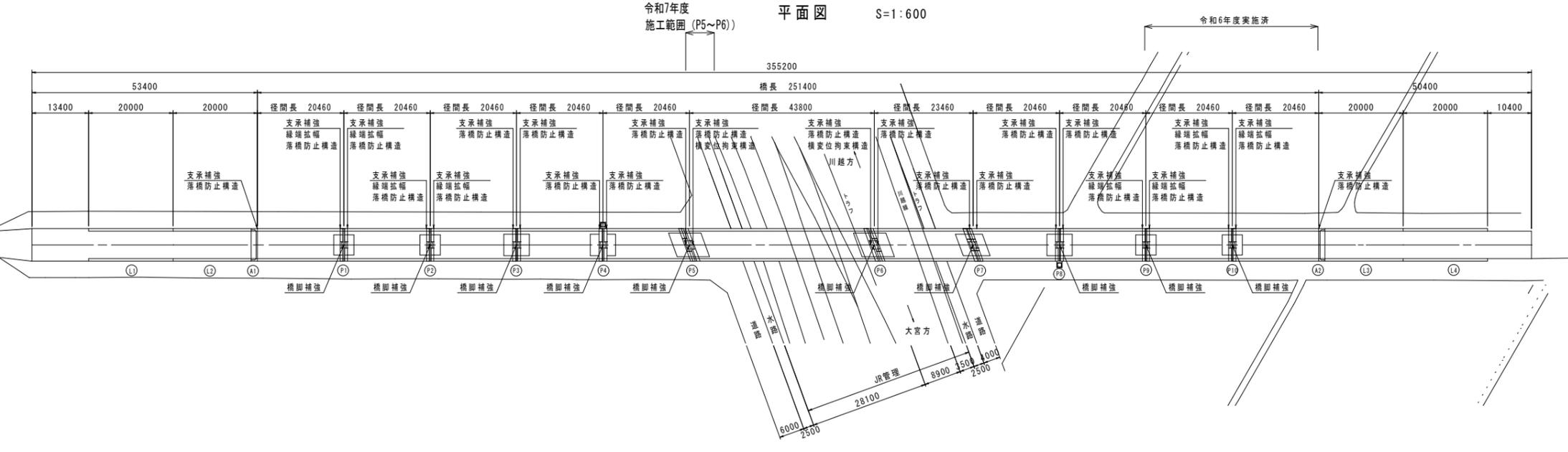
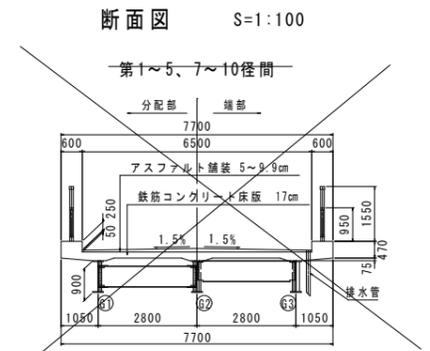
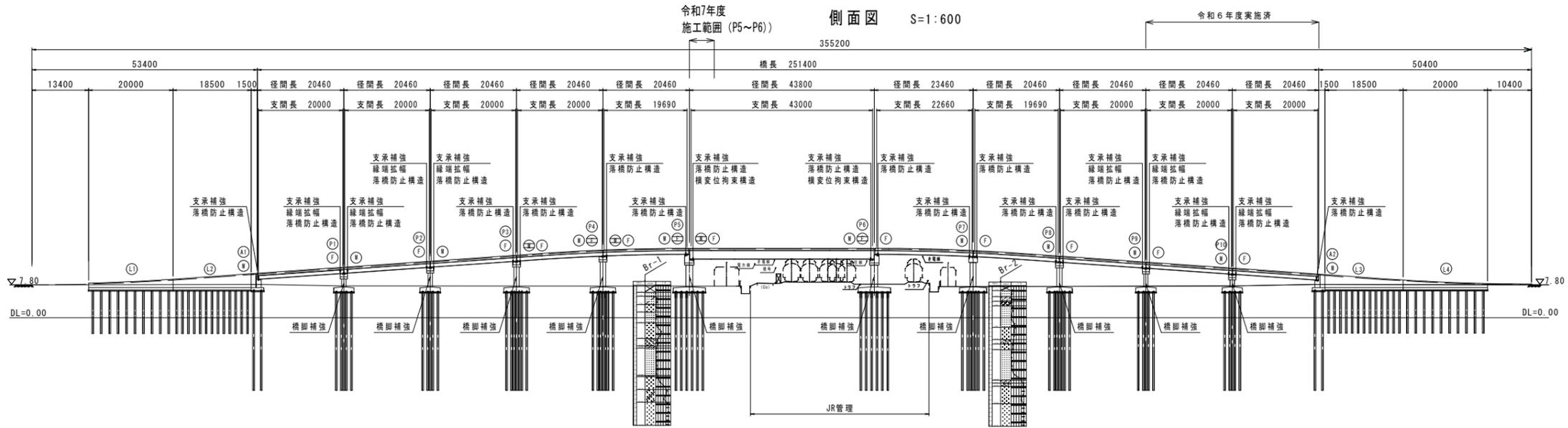
平面図 S=1:200



※特記事項
1. 本図面は、既存資料および現地計測をもとに作成した図面である。

工事名	久戸跨線橋耐震補強及び補修工事(その2)		
図面名	現況橋梁一般図 (その2)		
縮尺	図示	図面番号	2 / 38
川越市 建設部 道路街路課			

耐震補強一般図



耐震診断一覧

施工箇所	A1橋台	P1橋脚		P2橋脚		P3橋脚		P4橋脚		P5橋脚		施工箇所	P6橋脚		P7橋脚		P8橋脚		P9橋脚		P10橋脚		A2橋台
		A1側	A2側		A1側	A2側	A1側	A2側	A1側	A2側	A1側	A2側	A1側	A2側									
橋脚補強		要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	橋脚補強	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	
耐震補強 落橋防止システム	支承補強	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	支承補強	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要
	落橋防止構造	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	落橋防止構造	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要
	縁端拡幅	不要	要	要	要	不要	不要	不要	不要	不要	不要	縁端拡幅	不要	不要	不要	不要	不要	不要	要	要	要	要	不要
	横変位拘束構造	不要	不要	不要	不要	不要	不要	不要	不要	不要	要	横変位拘束構造	要	不要	不要	不要	不要	不要	不要	不要	不要	不要	不要

耐震補強工法一覧

施工箇所	A1橋台	P1橋脚		P2橋脚		P3橋脚		P4橋脚		P5橋脚		施工箇所	P6橋脚		P7橋脚		P8橋脚		P9橋脚		P10橋脚		A2橋台
		A1側	A2側		A1側	A2側																	
橋脚補強		RC巻立て工		RC巻立て工		RC巻立て工		RC巻立て工		RC巻立て工		橋脚補強	RC巻立て工										
耐震補強 落橋防止システム	支承補強	鋼製スツパ		支承補強	鋼製スツパ																		
	落橋防止構造	鋼製チェーン		落橋防止構造	鋼製チェーン																		
	縁端拡幅	不要	RC	RC	RC	RC	RC	RC	RC	RC	RC	縁端拡幅	不要	不要	不要	不要	不要	不要	RC	RC	RC	RC	不要
	横変位拘束構造	不要	不要	横変位拘束構造	縦型ピン	不要	不要	不要	不要	不要	不要	不要	不要	不要	不要								

令和7年度
施工範囲 (P5~P6)

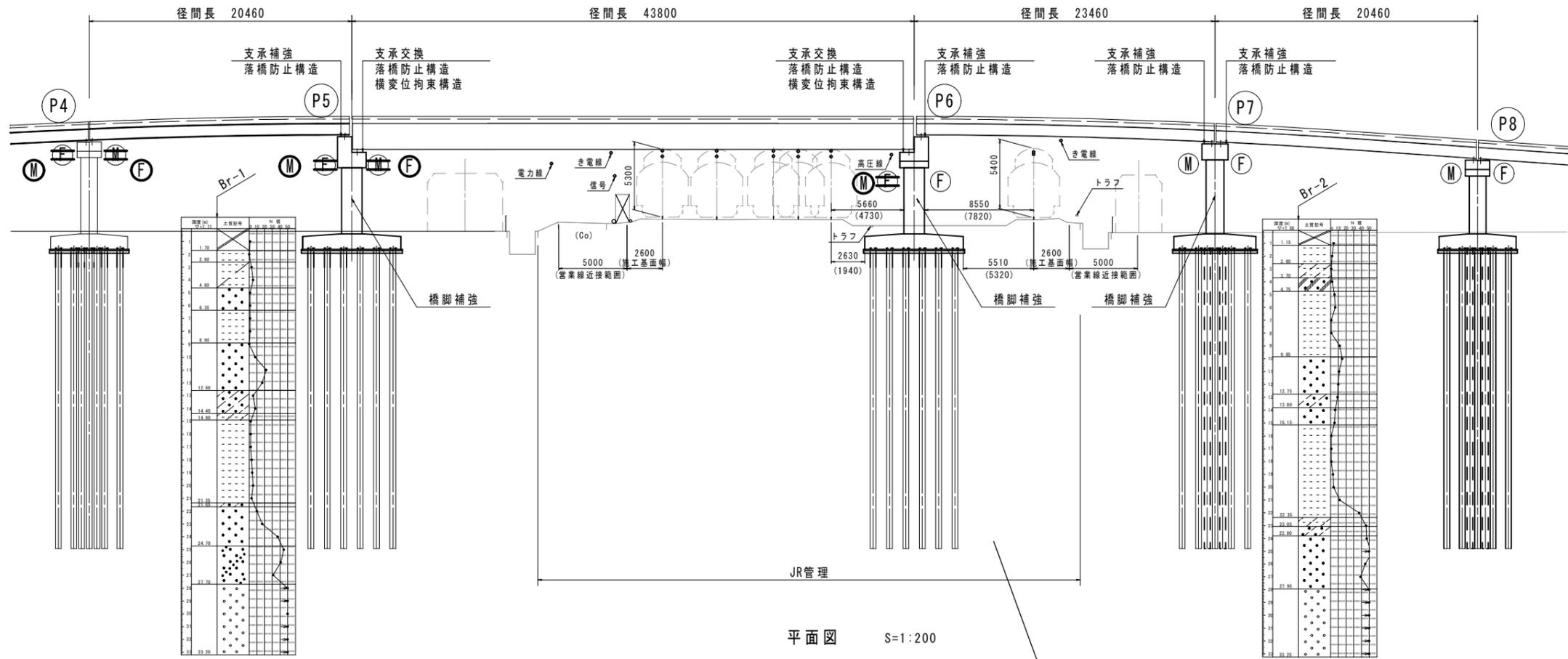
※特記事項
1. 本図面は、既存資料および現地計測をもとに作成した図面である。

耐震補強一般図 (その2)

跨線部

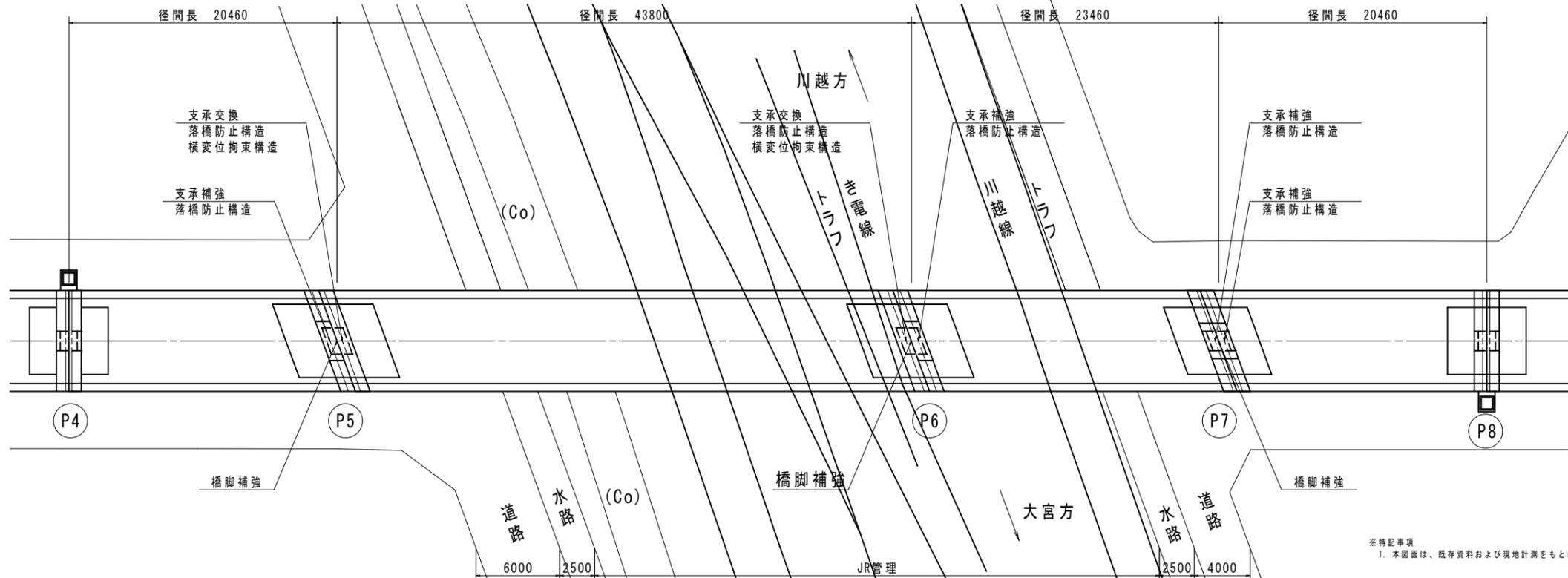
側面図 S=1:200

橋長 251400



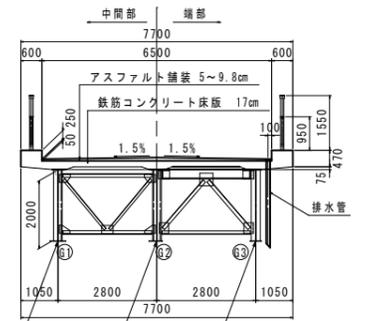
平面図 S=1:200

橋長 251400



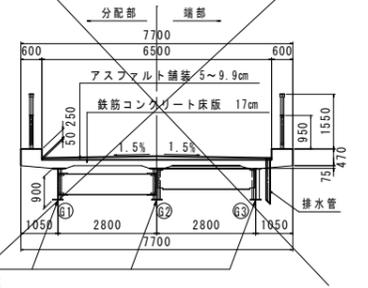
断面図 S=1:100

第6径間 断面図



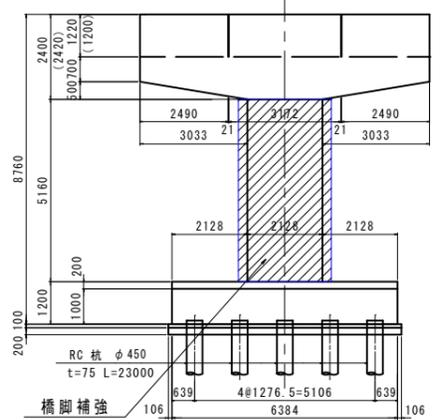
支承交換
落橋防止構造
横変位拘束構造

第7径間 断面図



支承補強
落橋防止構造

P5橋脚 (P6橋脚) 正面図



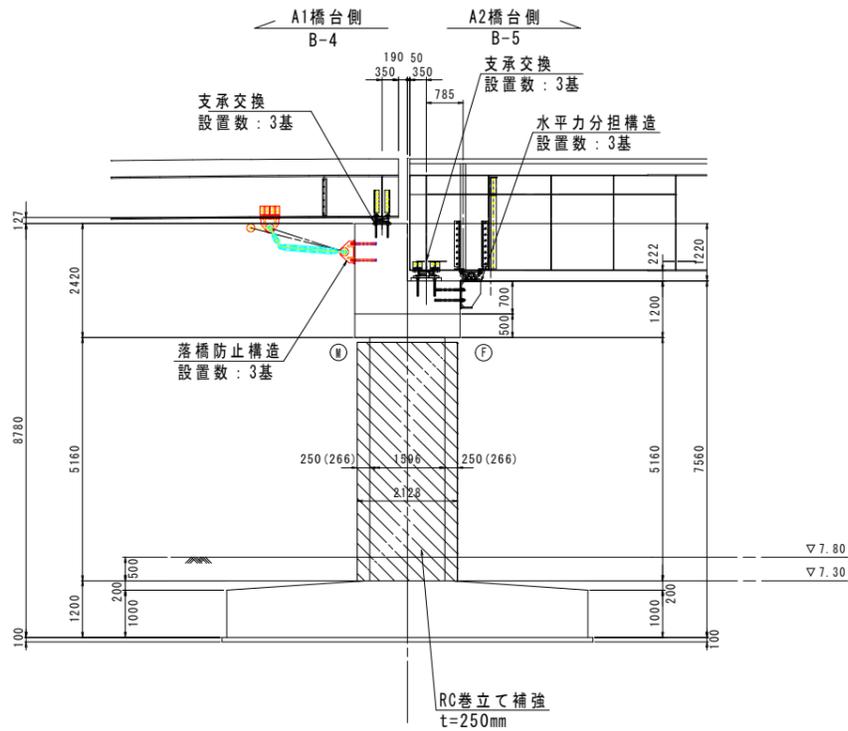
※特記事項
1. 本図面は、既存資料および現地計測をもとに作成した図面である。

工事名	久戸跨線橋耐震補強及び補修工事(その2)		
図面名	耐震補強一般図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	4 / 38
川越市 建設部 道路街路課			

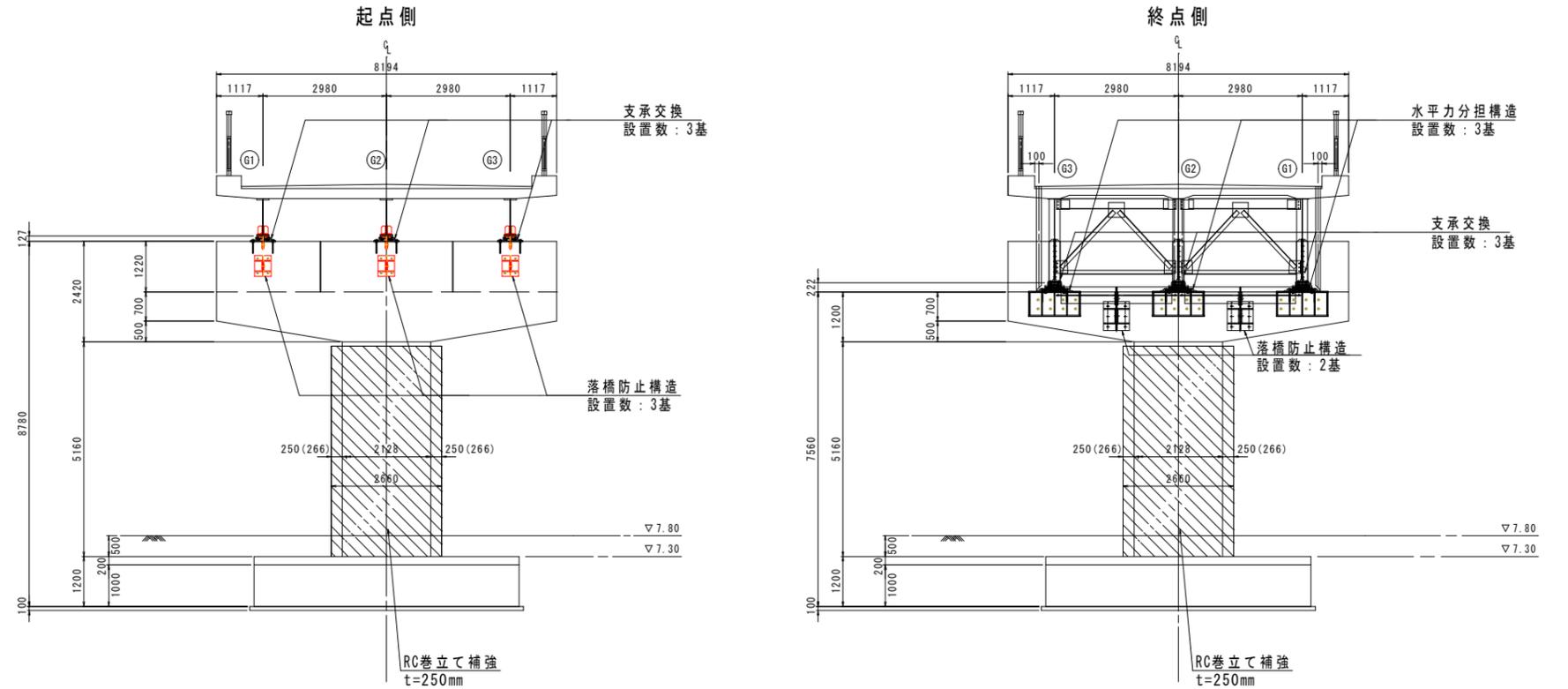
久下戸跨線橋 P5橋脚 補強一般図

側面図 S=1:75

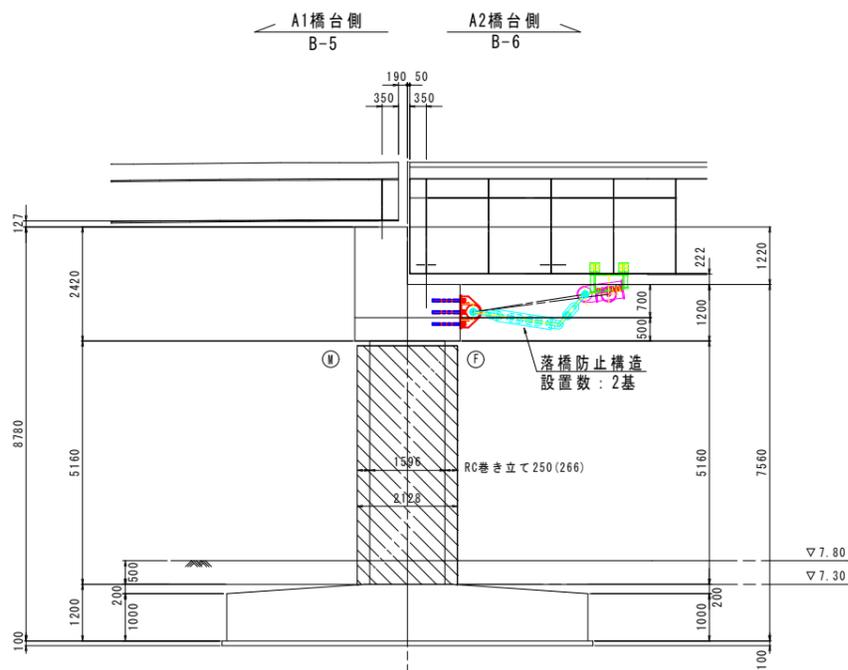
支点部



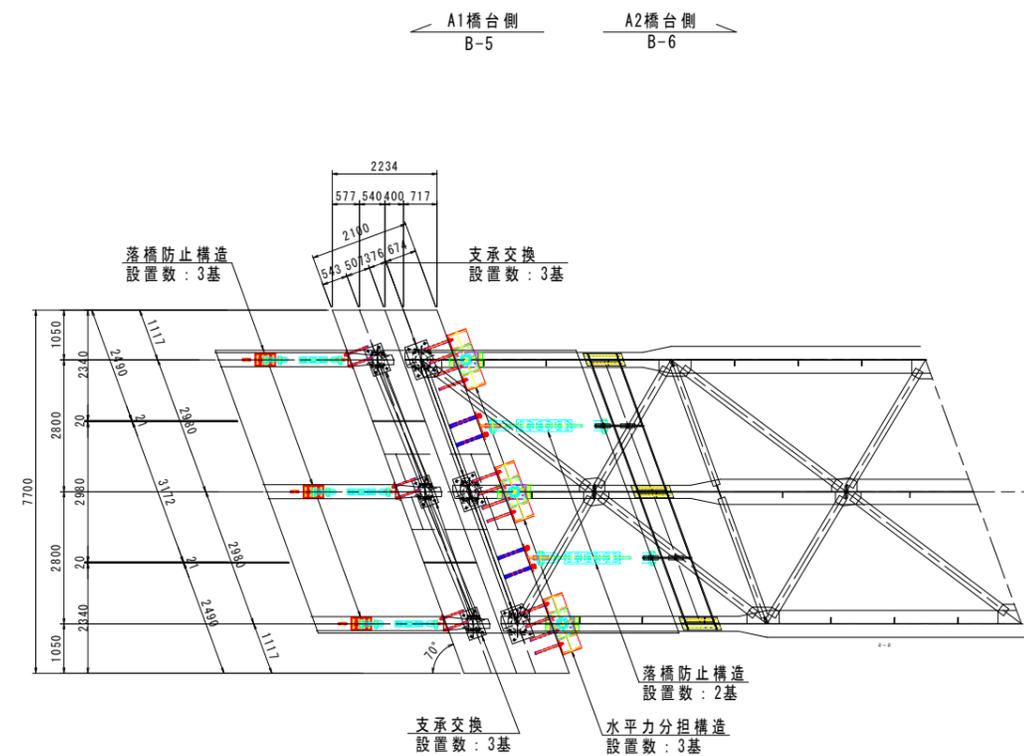
正面図 S=1:75



桁間部



平面図 S=1:75



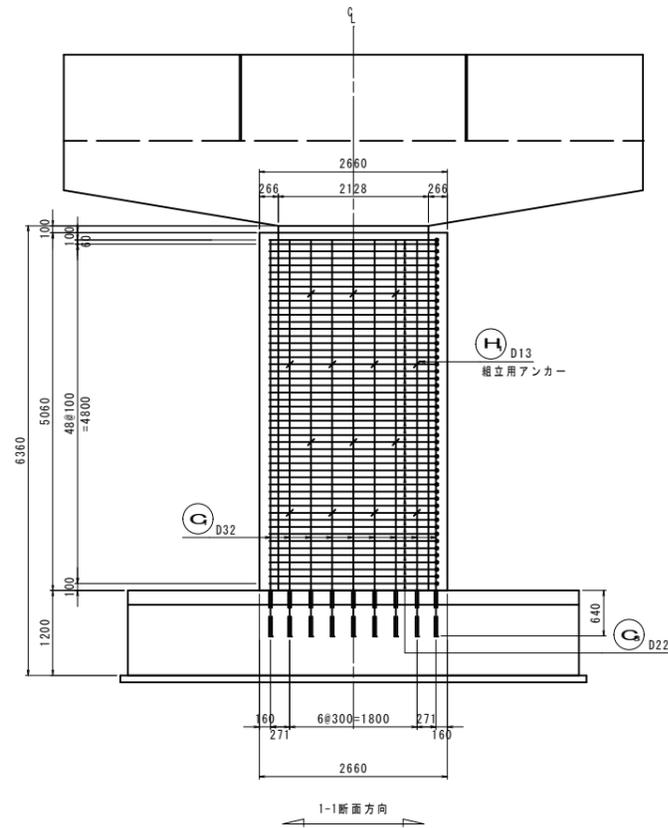
工事名	久下戸跨線橋耐震補強及び補修工事(その2)		
図面名	P5橋脚 補強一般図		
縮尺	図示	図面番号	5 / 38
川越市 建設部 道路街路課			

P5橋脚 補強配筋図

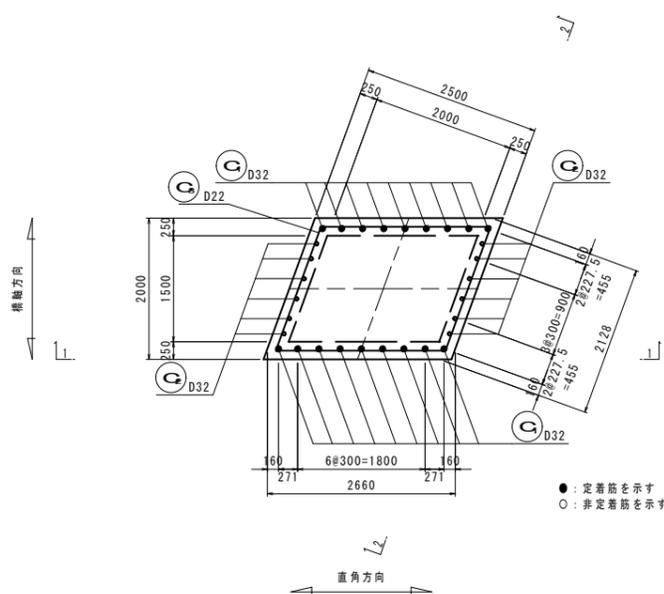
P5橋脚

正面図 S=1:50

1-1

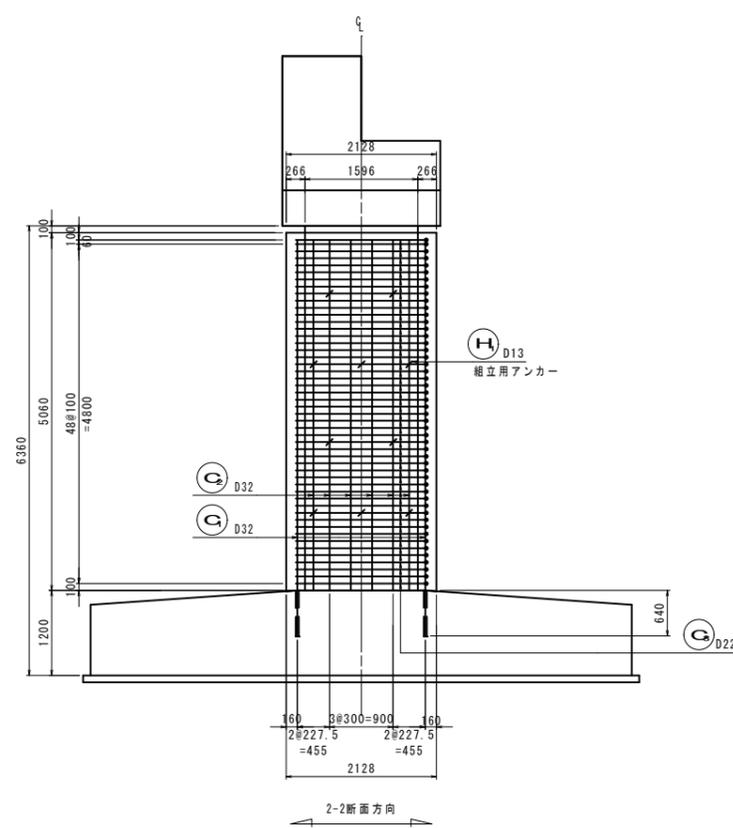


断面図 S=1:50

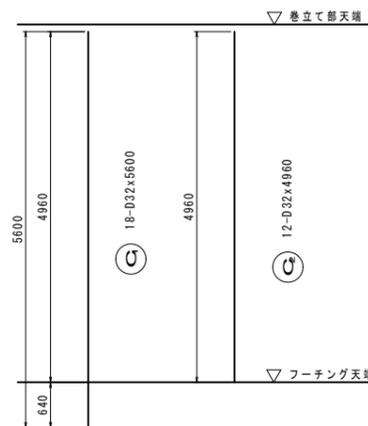


側面図 S=1:50

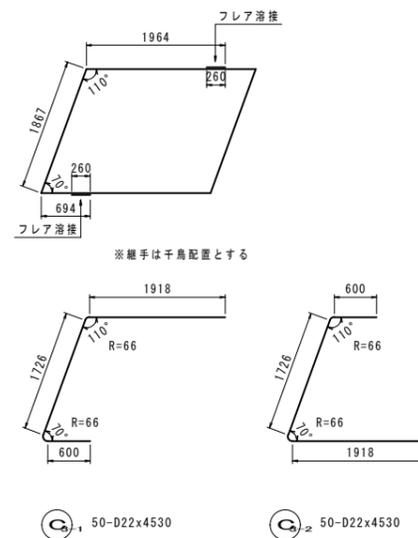
2-2



主筋加工図 S=1:50

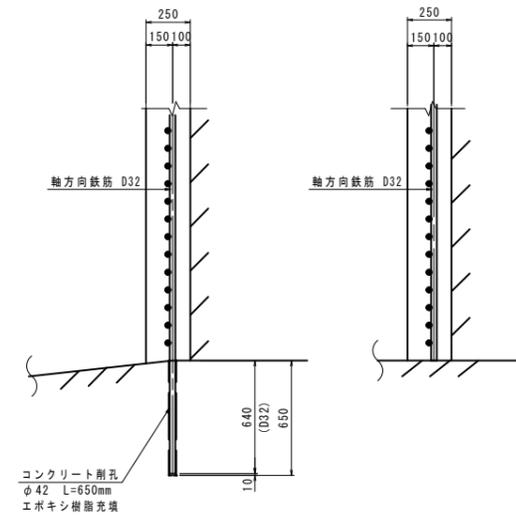


帯筋加工図 S=1:50

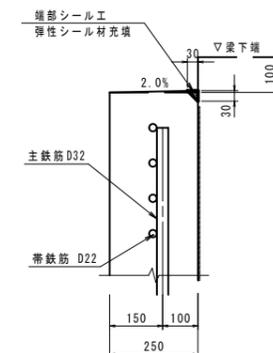


巻立て部詳細図 S=1:20

橋軸方向鉄筋 定着部 直角方向鉄筋 非定着部

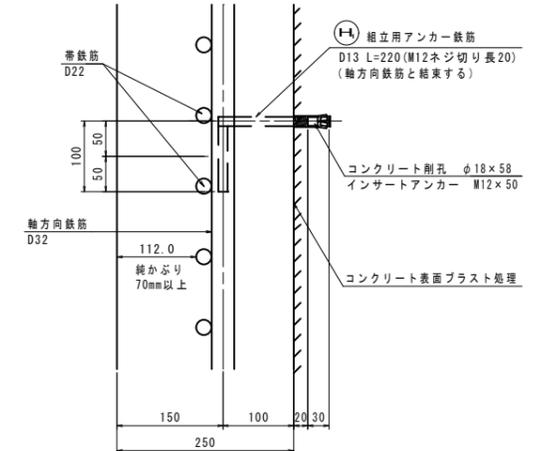


巻立て部天端詳細 S=1:10

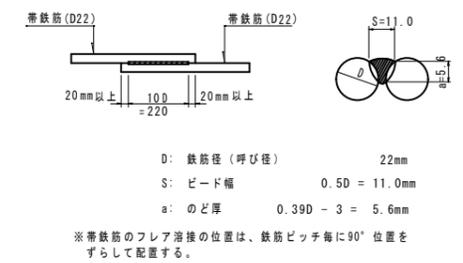


組立用アンカー詳細図 S=1:5

組立用アンカーは軸方向鉄筋を固定することを目的とし、1本/m²程度配置する。



フレア溶接詳細図



鉄筋表

種別	径	長さ	本数(本)	単位質量(kg/m)	1本当り質量(kg)	質量(kg)	備考
C 1	D32	5600	18	6.23	34.89	628.0	
2	D32	4960	12	6.23	30.09	370.8	
3	D22	4530	100	3.04	13.29	1329.0	└
H 1	D13	220	48	0.995	0.22	10.6	└
						D32	998.8 kg
						D22	1329.0 kg
						D13	10.6 kg
						合計	2338.4 kg
						フレア溶接 (D22)	100箇所

使用材料 (柱補強)

σ _{ck}	24N/mm ²
鉄筋	SD345

注記

- 躯体形状は竣工図を基に作成したもので工事の際は現地検測の上、相違がないか確認すること。
- 鉄筋加工および取付位置は現地検測の上決定のこと。
- アンカー削孔の際は既設鉄筋を破断せぬよう配筋調査を行うこと。
- 鉄筋の曲げ加工は鉄筋の中心寸法で表示している。

工事名	久下戸跨線橋耐震補強及び補修工事(その2)		
図面名	P5橋脚 補強配筋図		
縮尺	図示	図面番号	6 / 38
川越市 建設部 道路街路課			

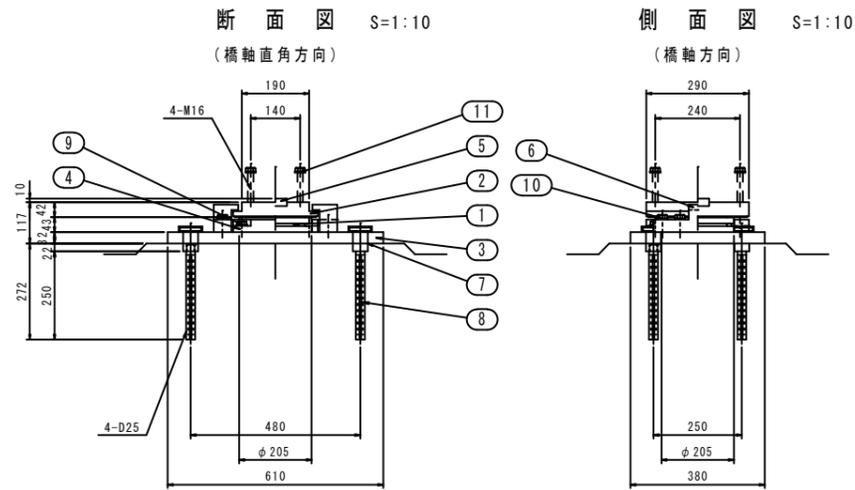
P5 橋脚 支承詳細図 (その1)

起点側 可動ゴム支承装置 (弾性荷重支持板)

(P5)

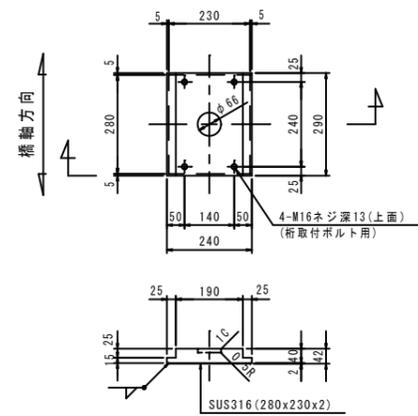
設計条件

反力 (kN)		Mov	
最大反力	Rmax	400	
最大反力 (回転照査用)	Rmax2	400	
死荷重反力	RD	223	
照査荷重	RIL	90	
最大水平力	橋軸方向	RHeq1	40
	橋軸直角方向	RHeq2	110
上向きの地震力	Ru	-67	
変位量 (mm)			
照査荷重時の変位量	δ_{cL}	0.500	
回転変位量	δ_r	0.483	
水平変位量	常時・橋軸方向	$\Delta L1$	26
性能			
ゴムの種類及び呼び	材料・G	NR-G10	
圧縮ばね定数 (kN/mm) 参考値	Kv	180	

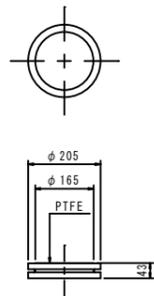


※ アンカー位置及びベースプレート形状は現場状況に応じ適宜変更のこと。

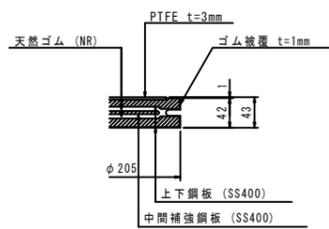
② スライディングプレート S=1:10



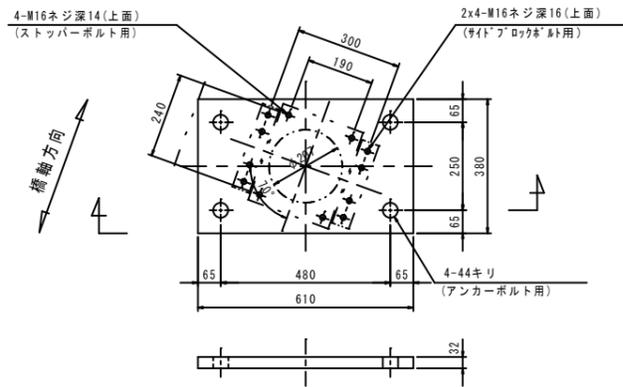
① ゴム支承 [弾性荷重支持板] S=1:10 (400kN用)



荷重支持板詳細図 S=1:5

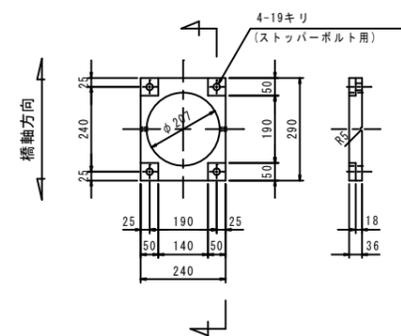


③ ベースプレート S=1:10



※ アンカー位置及びベースプレート形状は現場状況に応じ適宜変更のこと。

④ ストッパープレート S=1:10



水切り溝詳細図 S=1:5



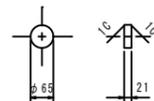
材料表 (1組当り)

部番	部品名称	材質	個数	重量 (kg)	備考
1	ゴム支承 [弾性荷重支持板]	NR, SS400, PTFE	1	7.7	NR (天然ゴム)
②	スライディングプレート	SM490A, SUS316	1	19.7	
③	ベースプレート	SM490A	1	56.4	
④	ストッパープレート	SM490A or SCW480N	1	8.6	
⑤	せん断キー	SM490A or S35CN	1	0.5	
⑥	サイドブロック	SM490A or SCW480N	2	8.3	
⑦	カップラー	S45CN	4	2.7	ゴムキャップ付
8	アンカーボルト	SD345	4	4.3	
⑨	ストッパーボルト, ワッシャー	強度区分 8.8	4	0.3	
⑩	サイドブロックボルト, ワッシャー	強度区分 8.8	8	1.0	
⑪	桁取付ボルト, ワッシャー	強度区分 8.8	4	0.7	
	ゴムキャップ	EPDM	4	0.1	
合計				110.3	(kg)

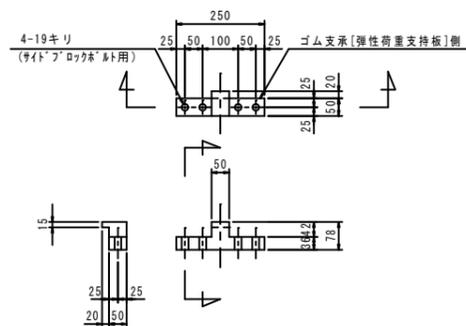
- ※1 道路橋支承便覧 (H16) 準拠。
- ※2 使用材料は道路橋支承便覧 2.9 に適合。
- ※3 材料表の部番を○で囲んだ部品は溶融亜鉛めっきとする。JIS H 8641 HDZ177、ボルト類はHDZ149とする。
- ※4 ゴム支承の重量は施工上の参考重量を示す。
- ※5 製作・施工に必要なアイボルト穴は適宜設けること。
- ※6 必要なアイボルト本数は協議して決定すること。
- ※7 桁取付ボルト重量はL=100mmとして参考に計上する。
- ※8 金物類は現場状況に応じ適宜変更のこと。
- ※9 ソールプレート直角寸法は上唇上面寸法以下とする。
- ※10 ソールプレートは主横にて計上すること。

- ⑨ ストッパーボルト, ワッシャー M16 x 35 強度区分 8.8
- ⑩ サイドブロックボルト, ワッシャー M16 x 55 強度区分 8.8
- ⑪ 桁取付ボルト, ワッシャー M16 x 100 強度区分 8.8

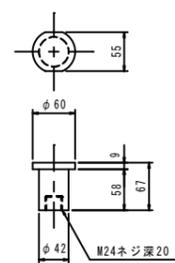
⑤ せん断キー S=1:10



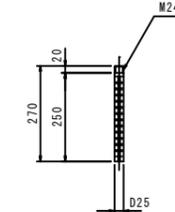
⑥ サイドブロック S=1:10



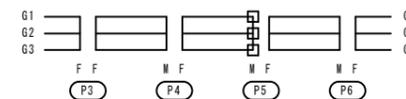
⑦ カップラー S=1:5



⑧ アンカーボルト S=1:10



位置図

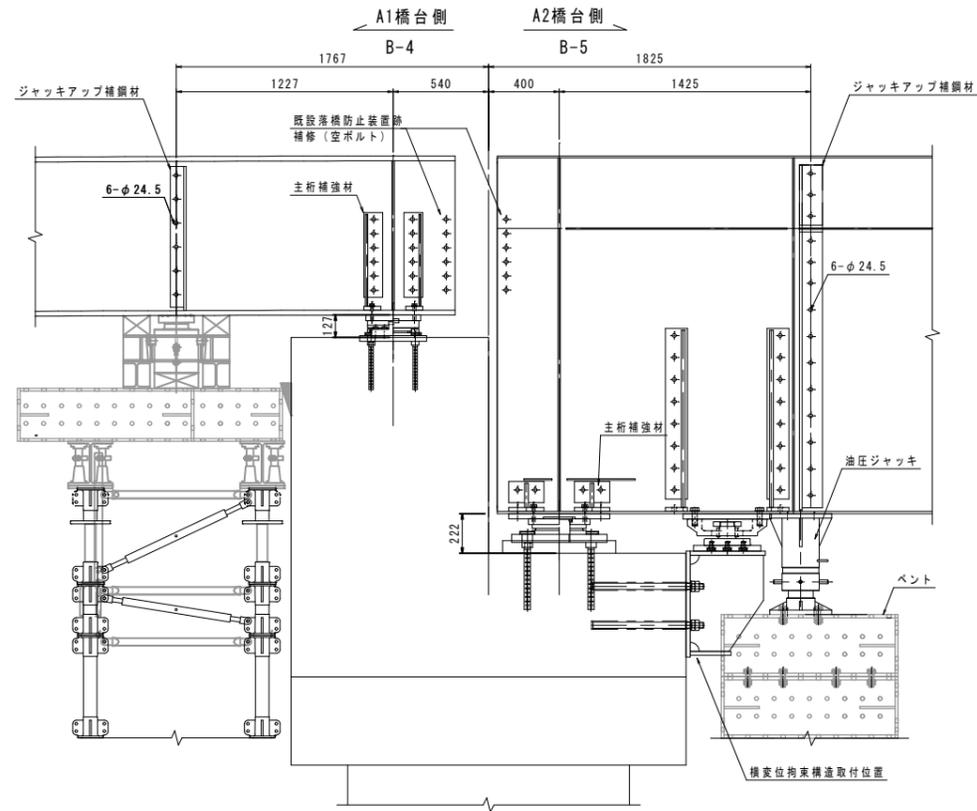


工事名	久戸戸線橋耐震補強及び補修工事(その2)		
図面名	P5 橋脚 支承詳細図 (その1)		
縮尺	図示	図面番号	7 / 38
川越市 建設部 道路街路課			

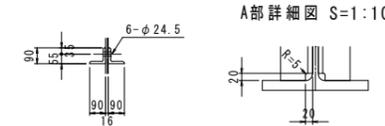
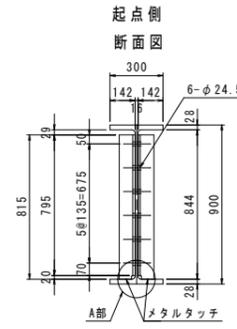
P5橋脚 支承取替工詳細図 (その1)

P5橋脚 起点側 新設可動ゴム支承・終点側 新設固定ゴム支承 (その1)

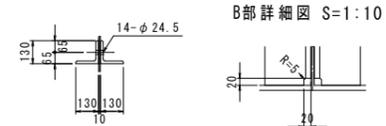
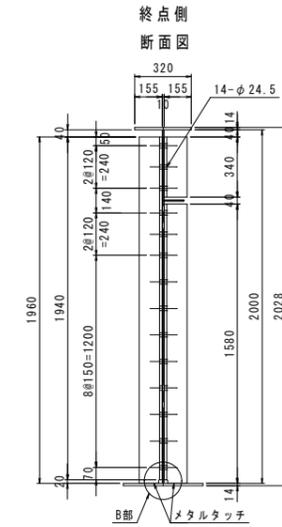
側面図 S=1:20



主桁補鋼材詳細図 S=1:20

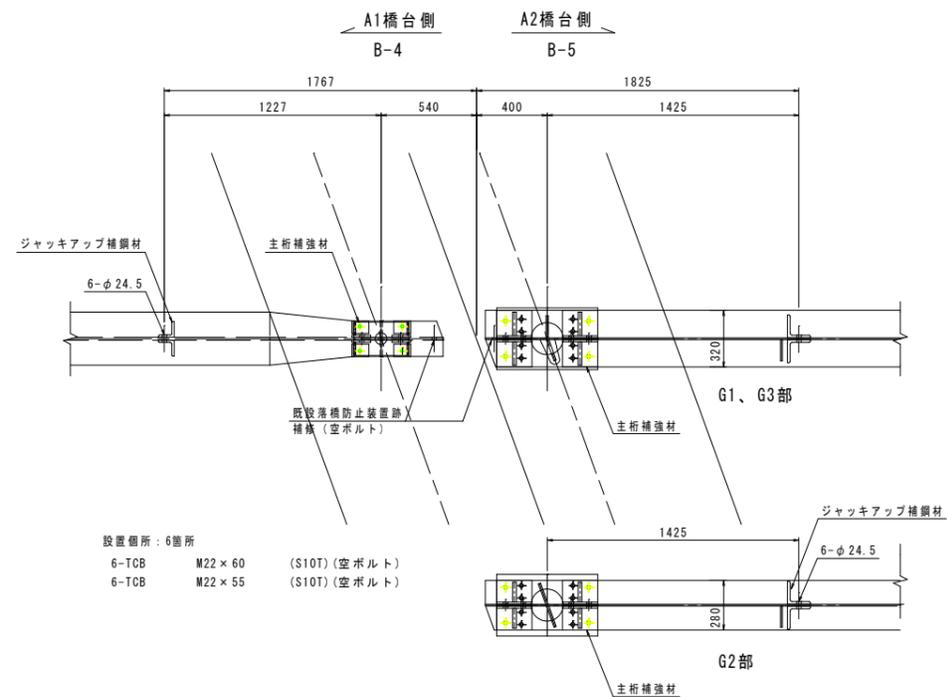


ジャッキアップ補鋼材: 3箇所
2-L 90×90×13×815 (SS400)
6-TCB M22×85 (S10T)



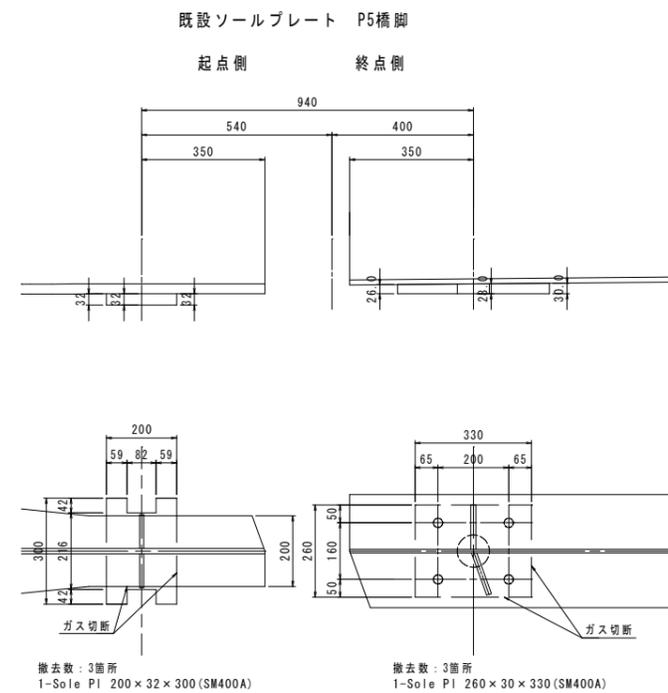
ジャッキアップ補鋼材: 3箇所
1-L 130×130×15×1940 (SS400)
1-L 130×130×15×1580 (SS400)
1-L 130×130×15×340 (SS400)
14-TCB M22×85 (S10T)

平面図 S=1:20



設置箇所: 6箇所
6-TCB M22×60 (S10T) (空ボルト)
6-TCB M22×55 (S10T) (空ボルト)

ソールプレート S=1:10



撤去数: 3箇所
1-Sole PI 200×32×300 (SM400A)

撤去数: 3箇所
1-Sole PI 260×30×330 (SM400A)

製作数: 3箇所
1-Sole PI 190×32×310 (SM490B)

製作数: 3箇所
1-Sole PI 350×31×572 (SM490B)

*現地勾配を確認後、製作のこと

※特記事項

1. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
2. ブラケットの製作は、現地調査の上、最終決定のこと。
3. アンカーボルト孔位置は、現場調査の上、削孔を行い、実測の上決定のこと。
4. 主桁補強材を取り付けるボルトの孔は、現場にて調整のうえ、行うこと。
5. ナット・ワッシャーはメッキ品を使用すること。
6. ナットはJIS B 1181に準拠したものを採用すること。
7. 入手困難な場合は、旧JISの付属書規定に沿ったもので代用してもよい。
8. 寸法のないK形溶接の表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。

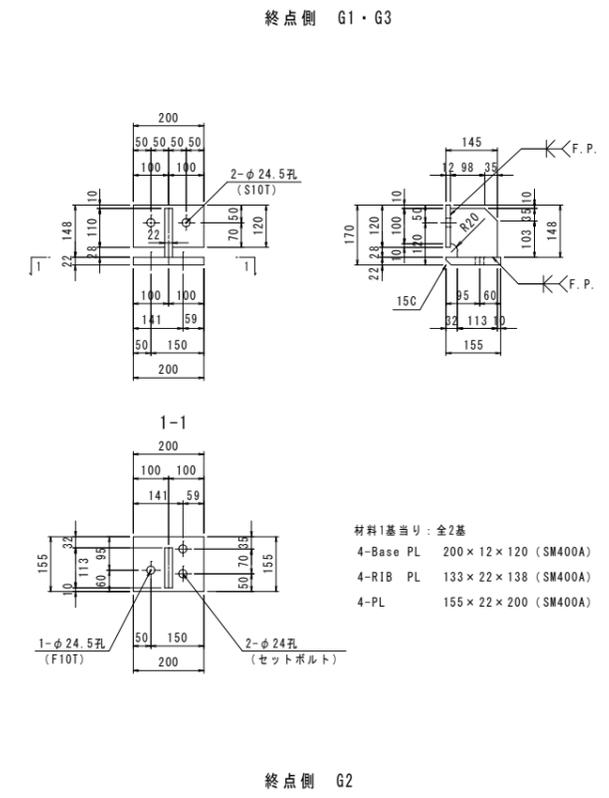
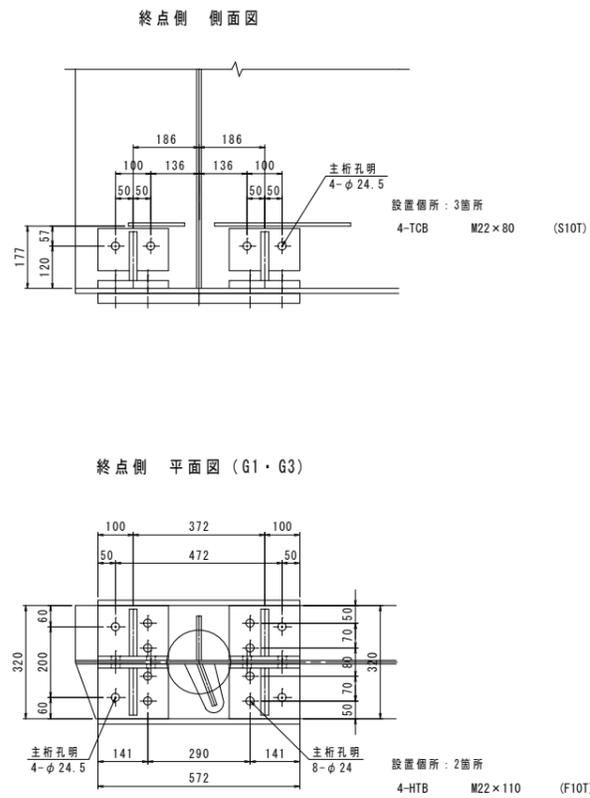
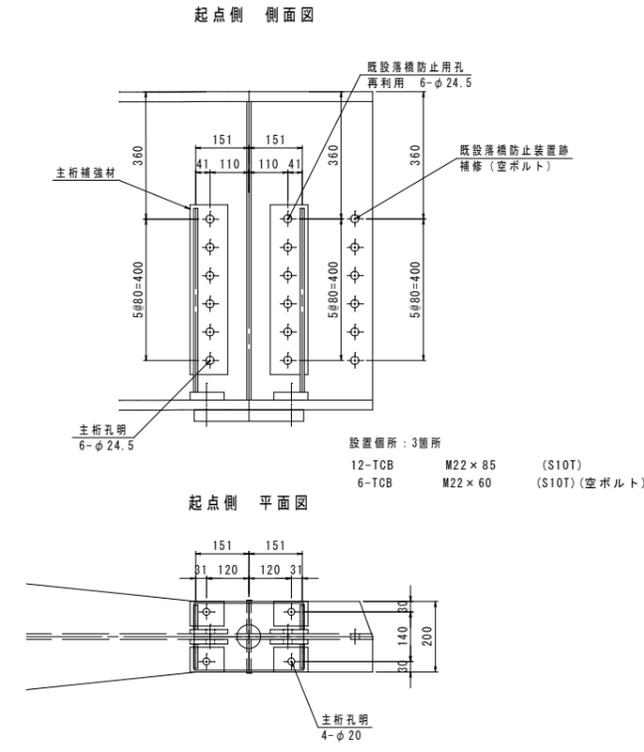
工事名	久戸跨線橋耐震補強及び補修工事(その2)		
図面名	P5橋脚 支承取替工詳細図 (その1)		
縮尺	図示	図面番号	9 / 38
川越市 建設部 道路街路課			

P5橋脚 支承取替工詳細図 (その2)

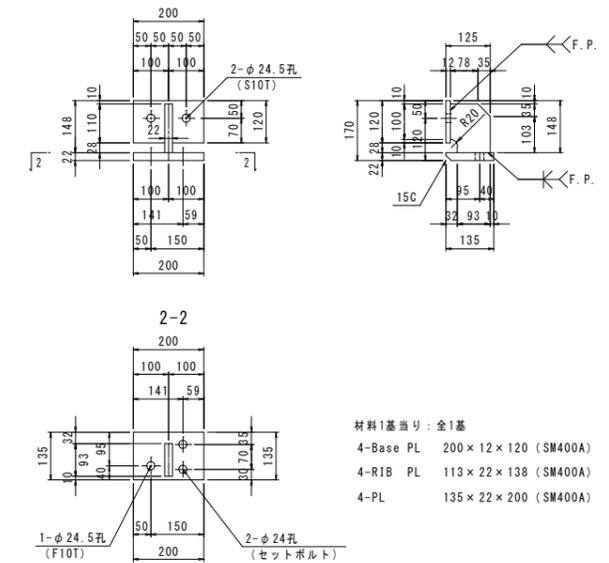
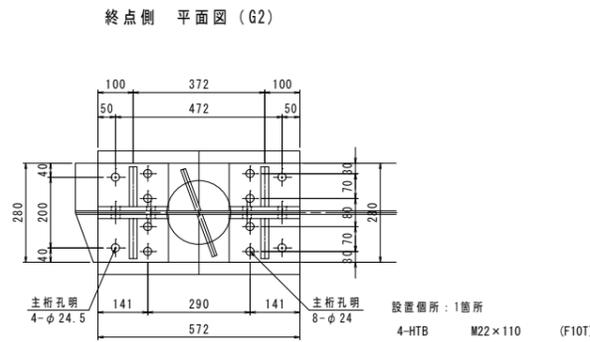
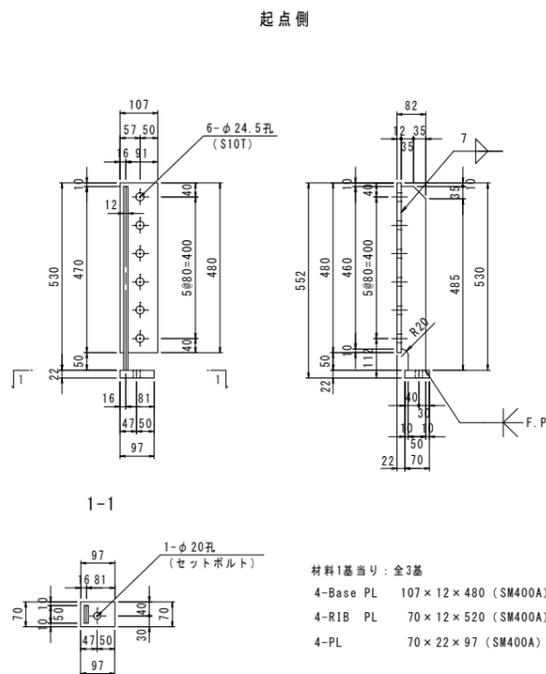
P5橋脚 起点側 新設可動ゴム支承・終点側 新設固定ゴム支承 (その2)

主桁補強材取付詳細図 S=1:10

主桁補強材詳細図 S=1:10



主桁補強材詳細図 S=1:10



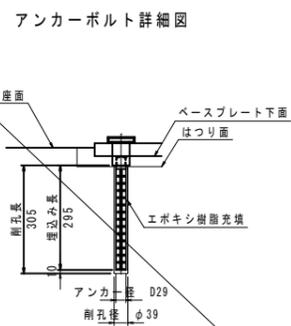
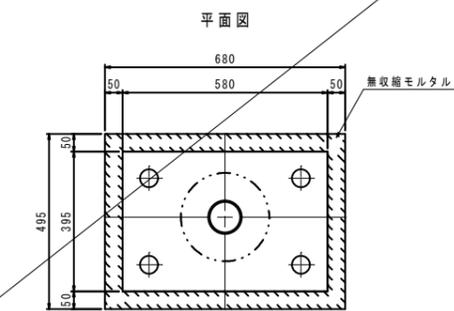
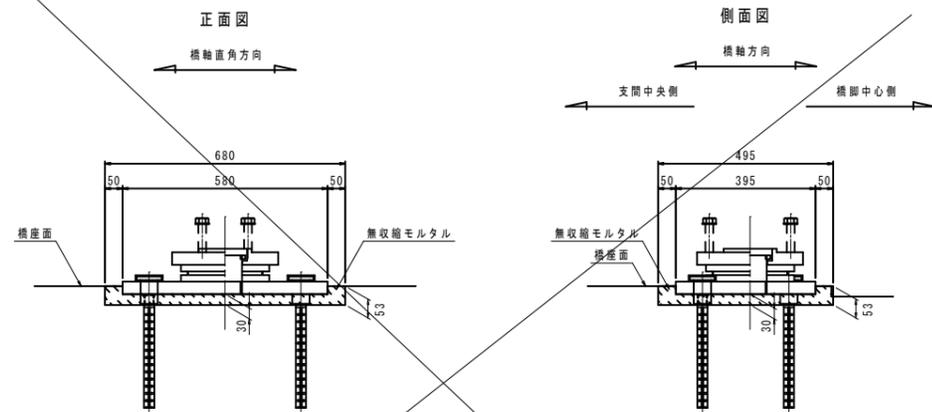
- ※特記事項
1. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
 2. ブラケットの製作は、現地調査の上、最終決定のこと。
 3. アンカーボルト孔位置は鉄筋探索の上、削孔を行い、実測の上決定のこと。
 4. 主桁補強材を取り付けるボルトの孔明は、現場にて調整のうえ、行うこと。
 5. ナット・ワッシャーはメッキ品を使用すること。
 6. ナットはJIS B 1181に準拠したものを使用すること。
 7. 寸法のないK形溶接の表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。

工事名	久戸跨線橋耐震補強及び補修工事(その2)		
図面名	P5橋脚 支承取替工詳細図 (その2)		
縮尺	図示	図面番号	10 / 38
川越市 建設部 道路街路課			

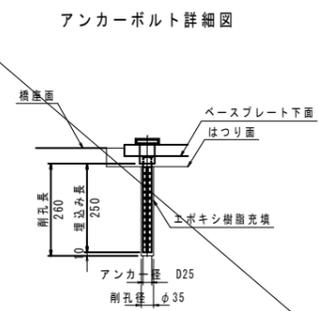
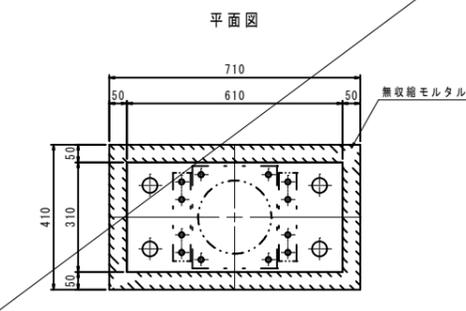
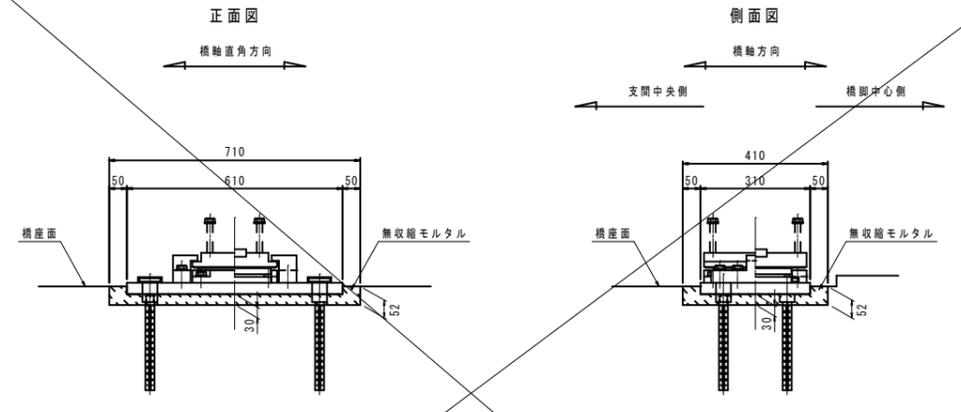
P5橋脚 支承取替工詳細図 (その3)

モルタル台座詳細図 (その1)

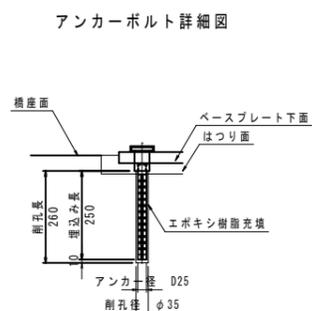
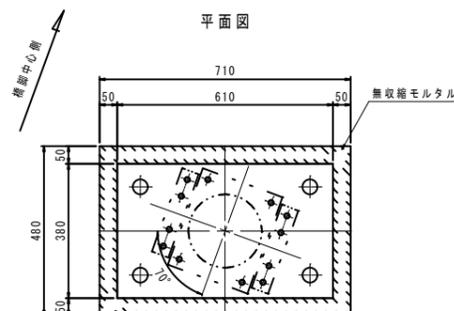
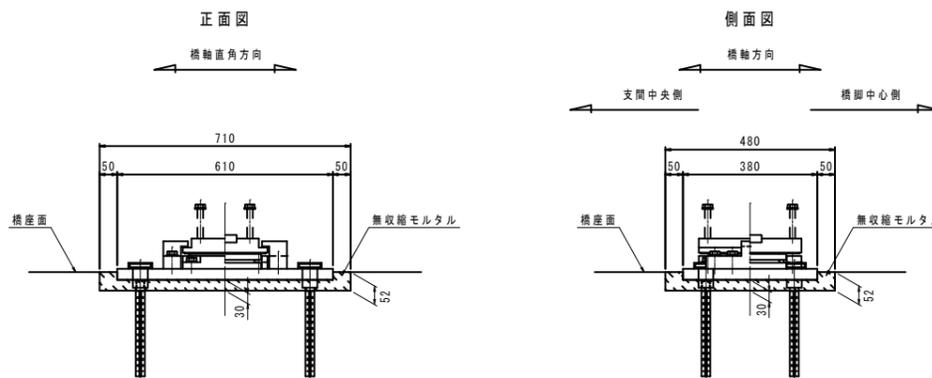
P3・P4橋脚 終点側 固定支承



P4橋脚 起点側 可動支承



P5橋脚 起点側 可動支承

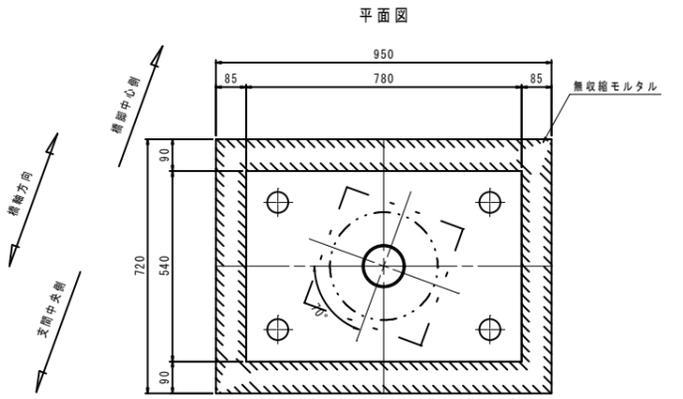
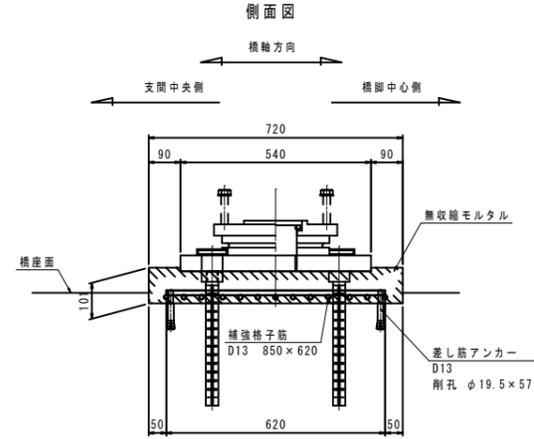
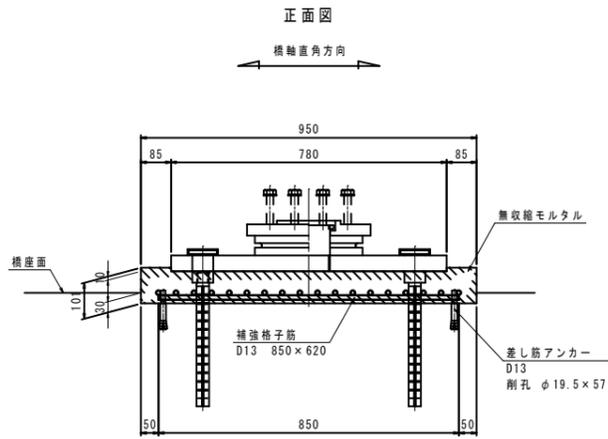


- ※特記事項
1. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
 2. プラケットの製作は、現地調査の上、最終決定のこと。
 3. アンカーボルト孔位置は鉄筋探査の上、削孔を行い、実測の上決定のこと。
 4. 主筋補強材を取り付けるボルトの孔間は、現場にて調整のうえ、行うこと。
 5. ナット・ワッシャーはメッキ品を使用すること。
 6. ナットはJIS B 1181に準拠したものを使用すること。
 7. 入手困難な場合は、旧JISの付属書規定に沿ったもので代用してもよい。
 8. 寸法のないK形溶接の表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。

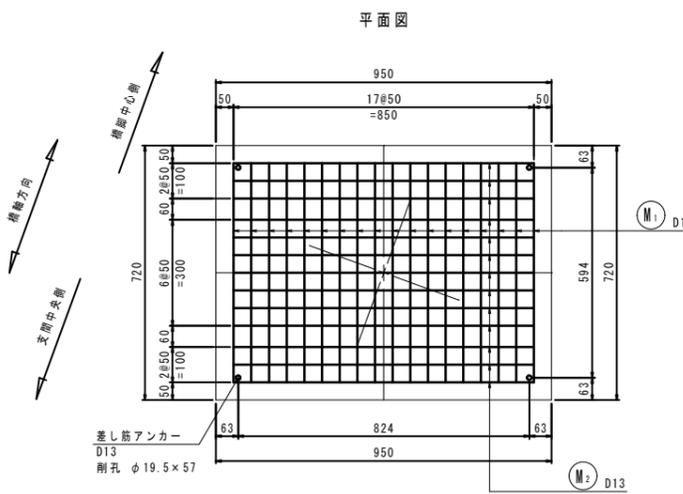
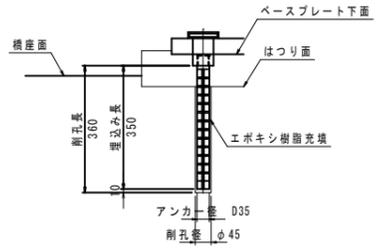
工事名	久戸跨線橋耐震補強及び補修工事(その2)		
図面名	P5橋脚 支承取替工詳細図 (その3)		
縮尺	図示	図面番号	11 / 38
川越市 建設部 道路街路課			

P5橋脚 支承取替工詳細図（その4） モルタル台座詳細図（その2）

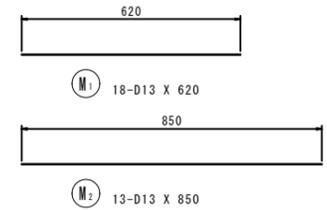
P5橋脚 起点側 固定支承



アンカーボルト詳細図



鉄筋加工図（沓座一基あたり）



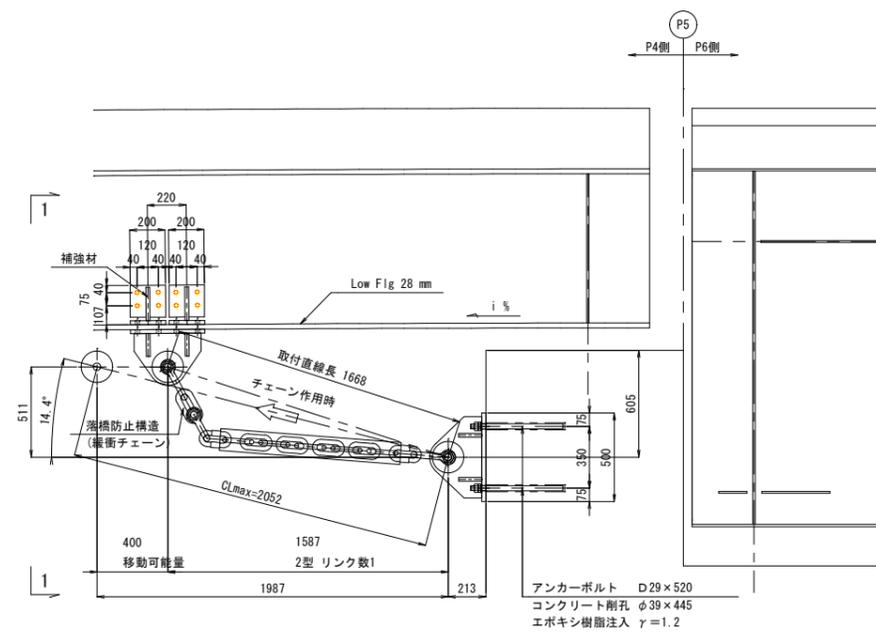
鉄筋質量表

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	備 考
M1	D13	620	18	0.995	0.62	11.2	—
M2	D13	850	13	0.995	0.85	11.1	—
一基当たり				D13	22.3kg	差し筋アンカー	D13用 4本
合計				D13	66.9kg	差し筋アンカー	D13用 12本

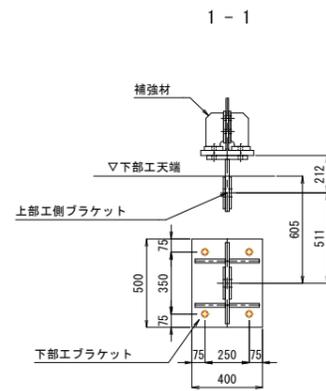
※特記事項
 1. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
 2. ブラケットの製作は、現地調査の上、最終決定のこと。
 3. アンカーボルト孔位置は鉄筋探査の上、削孔を行い、実測の上決定のこと。
 4. 主筋補強材を取り付けるボルトの孔間は、現場にて調整のうえ、行うこと。
 5. ナット・ワッシャーはメッキ品を使用すること。
 6. ナットはJIS B 1181に準拠したものを使用すること。
 7. 寸法のないK形溶接の表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。

久下戸跨線橋 P5橋脚(起) 落橋防止構造取付図

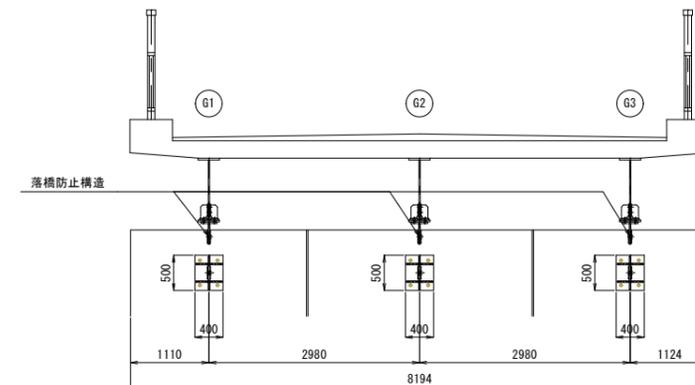
側面図 S=1:20



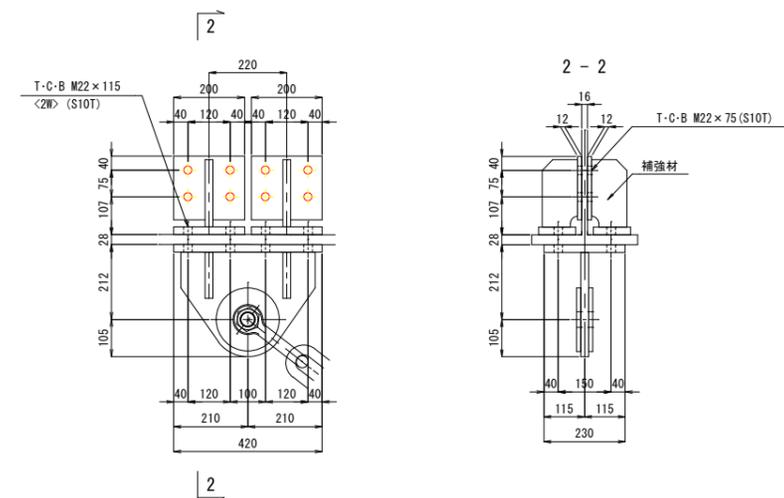
断面図 S=1:20



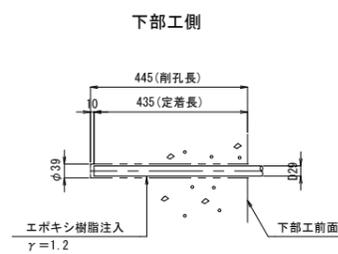
正面図 S=1:50



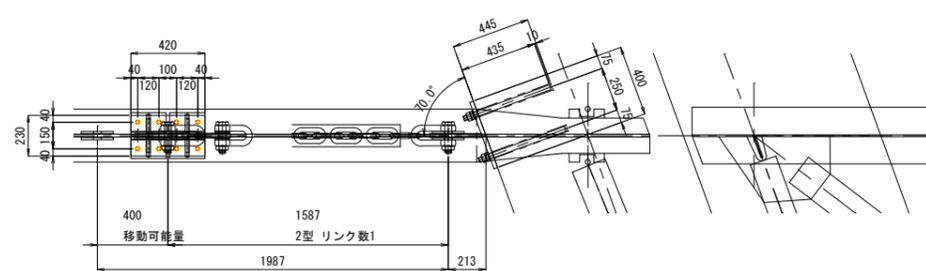
緩衝チェーン取付部詳細図 S=1:10



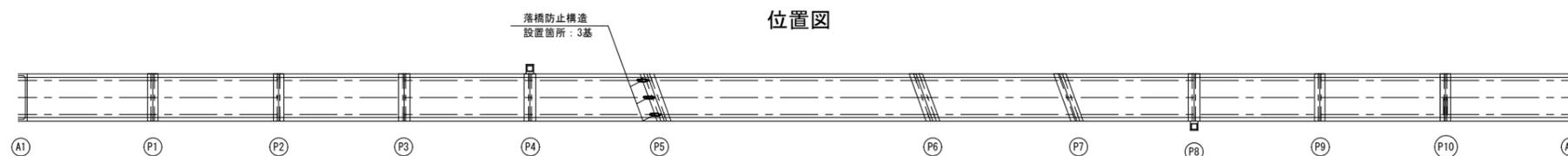
コンクリート削孔詳細図 S=1:10



平面図 S=1:20



位置図



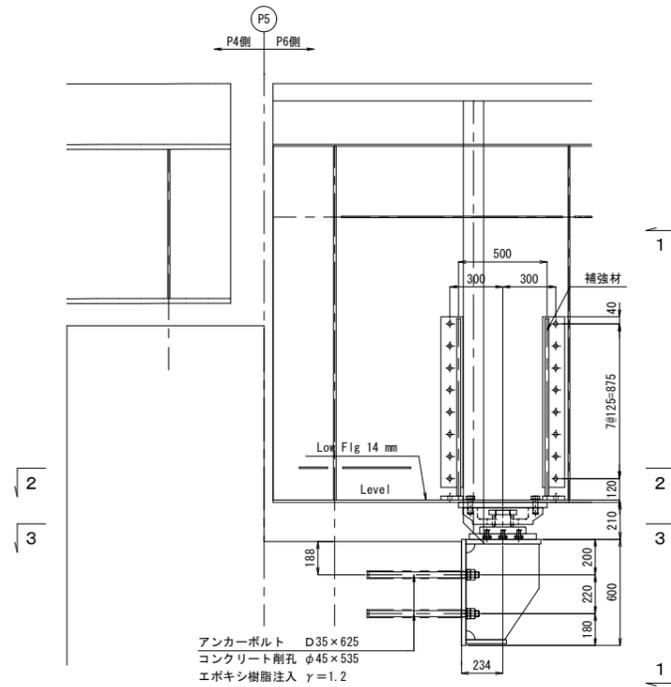
注記)

- 1) 図中詳細寸法は、足場架設後現地実測の上決定のこと。
- 2) 上部工ブラケット及び補強材取付面は、既設桁の素地調整を行うこと。
- 3) 下部工側は鉄筋探索等を行い、既設鉄筋を切断しないように留意すること。
- 4) アンカーボルト定着長は既設躯体より15φ(φ:アンカー径)以上を確保すること。

工事名	久下戸跨線橋耐震補強及び補修工事(その2)		
図面名	P5橋脚(起) 落橋防止構造取付図		
縮尺	図示	図面番号	13 / 38
川越市 建設部 道路街路課			

久下戸跨線橋 P5橋脚(終) 水平力分担構造取付図

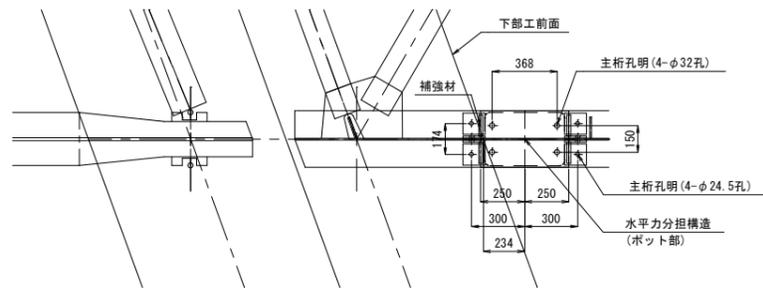
側面図 S=1:20



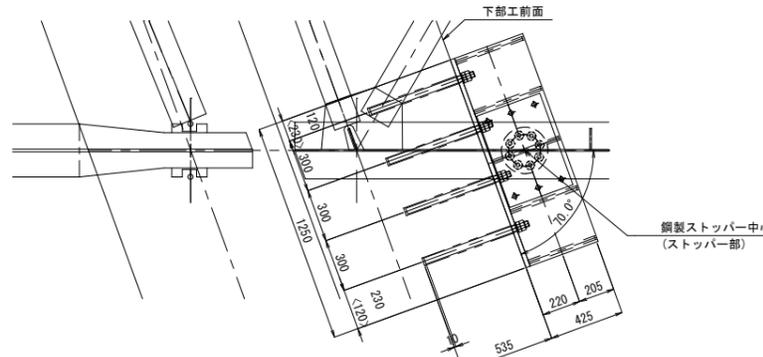
アンカーボルト D35×625
コンクリート削孔 φ45×535
エポキシ樹脂注入 γ=1.2

平面図 S=1:20

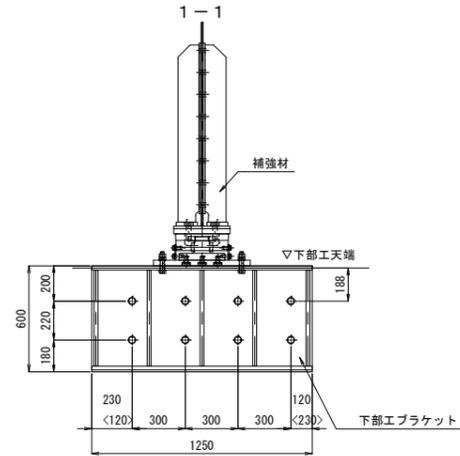
2-2



3-3

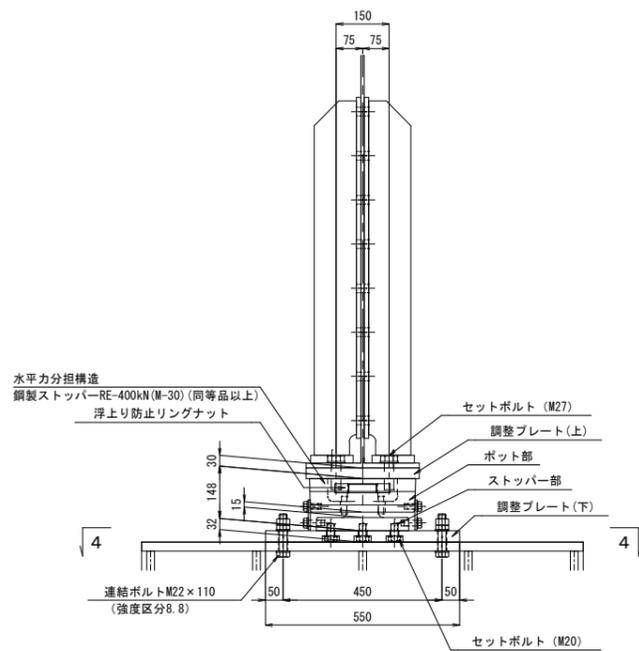


断面図 S=1:20

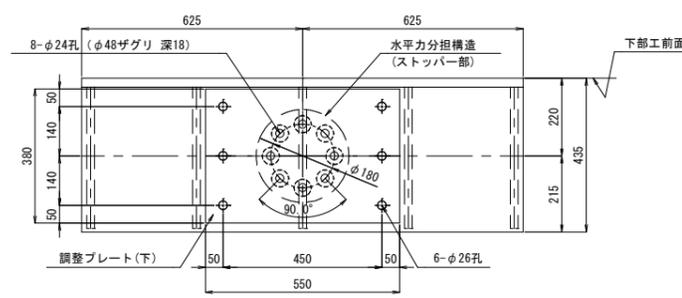


※ < > 内寸法はG1桁を示す。

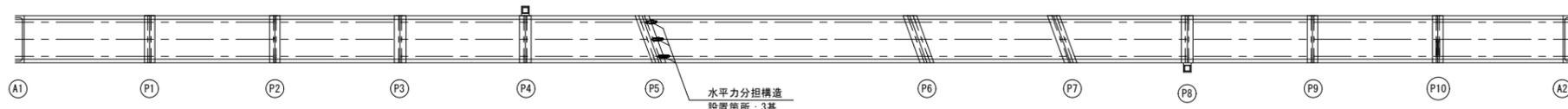
鋼製ストッパー取付詳細図



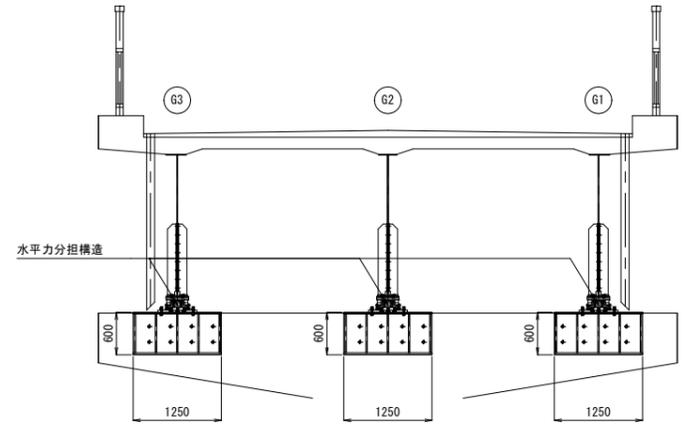
4-4



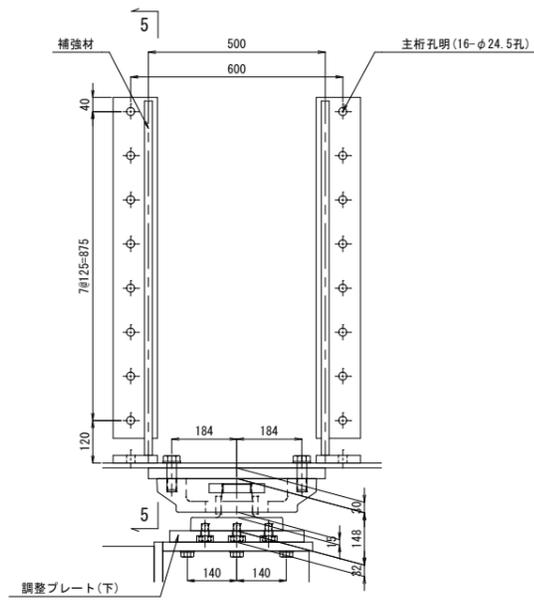
位置図



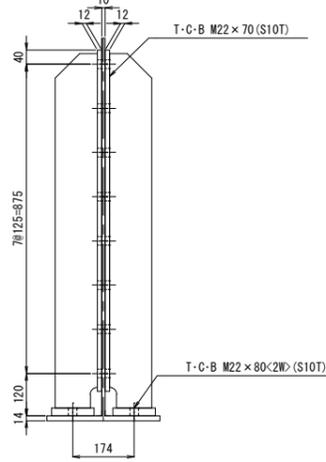
正面図 S=1:50



S=1:10

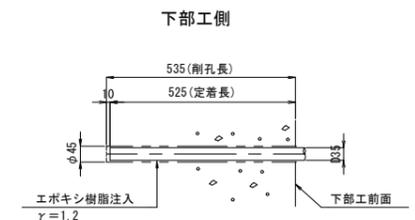


5-5



コンクリート削孔詳細図

S=1:10

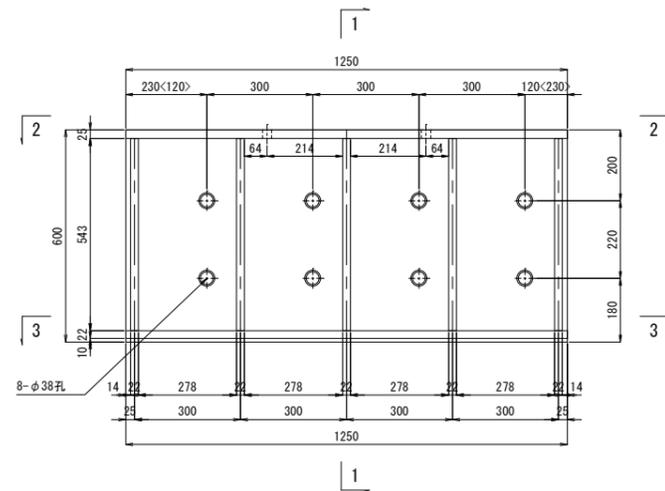


- 注記)
- 1) 図中詳細寸法は、足場架設後現地実測の上決定のこと。
 - 2) 補強材取付面は既設桁の素地調整を行うこと。
 - 3) 下部工側は鉄筋探査等を行い、既設鉄筋を切断しないように留意すること。
 - 4) アンカーボルト定着長は既設躯体より15φ(φ:アンカー径)以上を確保すること。
 - 5) 下部工ブラケット天端の孔明工は現場孔明とし、調整プレート(下)の連結ボルト孔は工場孔明とする。

工事名	久下戸跨線橋耐震補強及び補修工事(その2)		
図面名	P5橋脚(終) 水平力分担構造取付図		
縮尺	図示	図面番号	15 / 38
川越市 建設部 道路街路課			

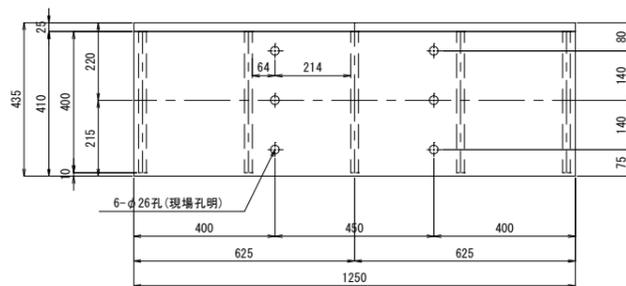
久下戸跨線橋 P5橋脚(終) 水平力分担構造ブラケット詳細図

下部エブラケット詳細図 S=1:10

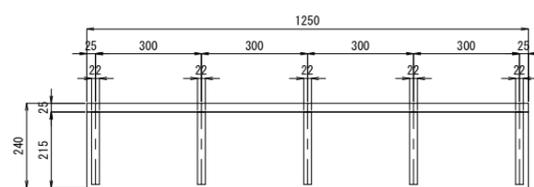


※ < > 内寸法はG1桁を示す。

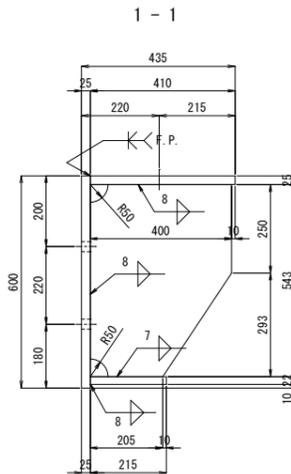
2-2



3-3



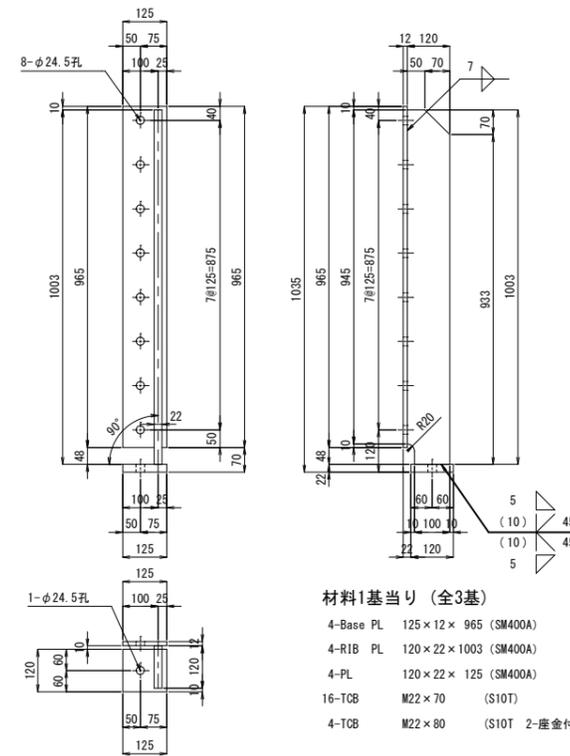
S=1:10



材料1基当り (全3基)

- 1-BASE PL 600×25×1250 (SM400A)
- 1-FLG PL 410×25×1250 (SM400A)
- 1-FLG PL 215×22×1250 (SM400A)
- 5-RIB PL 400×22×543 (SM400A)

補強材詳細図 S=1:10

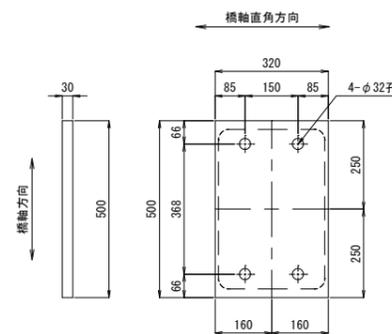


材料1基当り (全3基)

- 4-Base PL 125×12×965 (SM400A)
- 4-RIB PL 120×22×1003 (SM400A)
- 4-PL 120×22×125 (SM400A)
- 16-TCB M22×70 (S10T)
- 4-TCB M22×80 (S10T 2-座金付)

調整材 S=1:10

【調整プレート(上)】

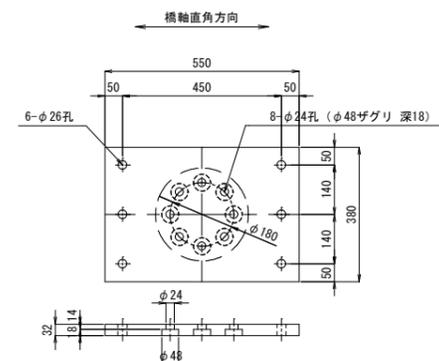


調整PL (上)

材料1基当り (全3基)

- 1-PL 500×30×320 (SS400)

【調整プレート(下)】

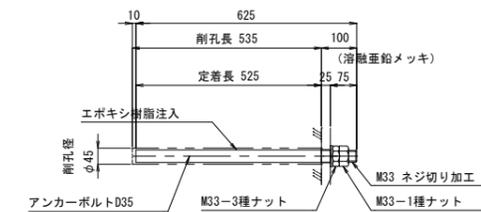


調整PL (下)

材料1基当り (全3基)

- 1-PL 380×32×550 (SM490YB)
- 6-連結ボルト M22×110 (強度区分8.8) (2-N, 2-W)

下部アンカーボルト詳細図 S=1:10



材料1基当り (全3基)

- 8-Anc Bolt D35×625 (SD345)
- 8-Nut M33 1種ナット
- 8-Nut M33 3種ナット
- 8-Washer M33 座金

【注記】

- 1) 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
- 2) ブラケットの製作は、現地調査の上、最終決定のこと。
- 3) アンカーボルト孔位置は鉄筋探索の上、削孔を行い、実測の上決定のこと。
- 4) 下部エブラケットは、下記の通りの溶融亜鉛メッキ (JIS H 8641) とする。
HDZT 77 鋼板
HDZT 49 アンカーボルト(ネジ切り部のみ)
- 5) ナット・ワッシャーはメッキ品を使用すること。
- 6) 補強材については、左右対称かつ縦断勾配に合わせて製作する。

工事名	久下戸跨線橋耐震補強及び補修工事(その2)		
図面名	P5橋脚(終) 水平力分担構造ブラケット詳細図		
縮尺	図示	図面番号	16 / 38
川越市 建設部 道路街路課			

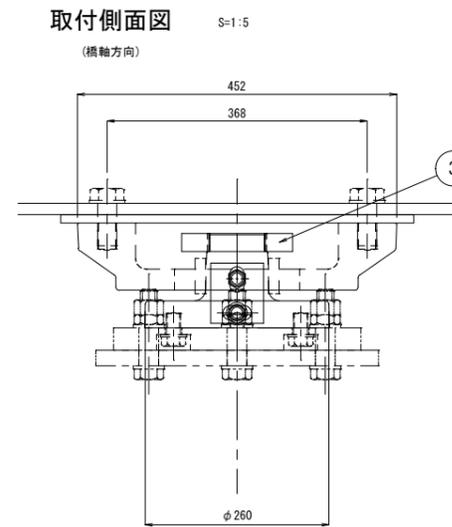
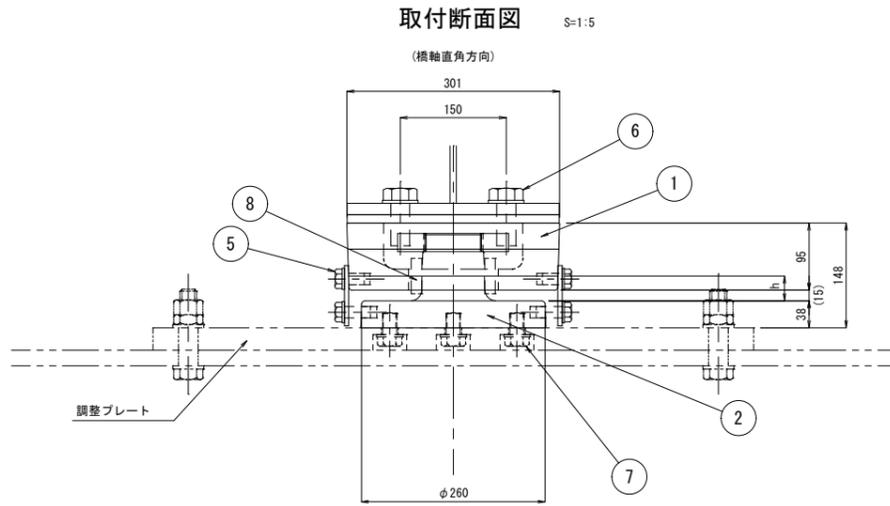
久下戸跨線橋 P5橋脚(終) 鋼製ストッパー詳細図 【 MC_RE-400 ; M-30(同等品以上) 】

設計条件

設計荷重		地震時許容荷重
橋軸方向	- kN	
橋軸直角方向	459 kN	

材料表

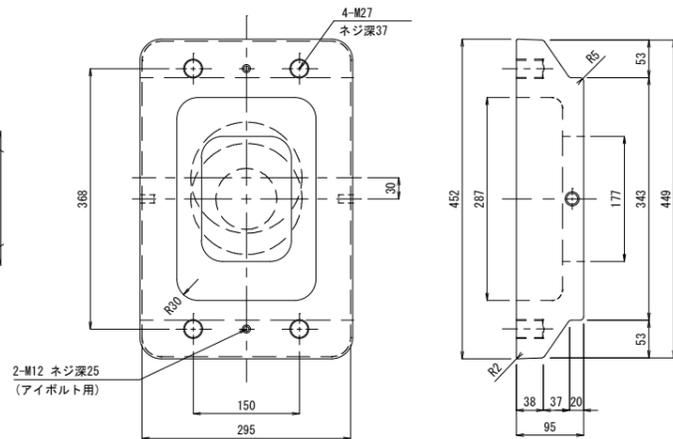
部番	名称	寸法	材質	個数	重量(kg)	備考
1	ポット部品	449x295x95	SCW480N	1	54.5	
2	ストッパー部品	φ260x133	SCW480N	1	19.6	
3	リングナット部品	φ157x25	S45CN	1	2.8	
4-1	固定用プレート	75x85x6	SS400	2	0.4	FB
4-2	スペーサー	20Ax18	SGP	2	0.1	
5	固定用ボルト、ワッシャー	M16x25.40		2/2	0.3	
6	セットボルト、ワッシャー	M27x80		4	2.2	上側
7	セットボルト、ワッシャー	M20x35		8	1.4	下側
8	緩衝パッキン	φ(119-89)x50	合成ゴム	1	—	低反発型合成ゴム(複合構造型)
9	化粧ボルト、ワッシャー	M16x25		2	0.1	
	アイボルト	M12用	SS400	—	—	
					81.4	(kg)



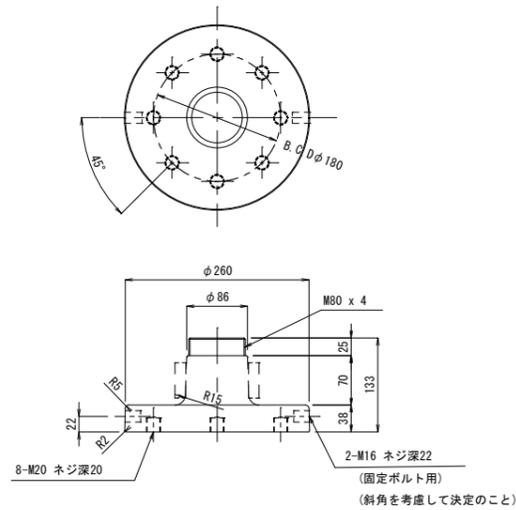
*ポット部品とストッパー部品の納入時の製品高さは、製品高-6mm程度で納入する。据付時は固定ボルトを取り外し所定の高さにセットすること。
*hは最大作用高さ (h=35)

- *1) □ 内部品は、熔融亜鉛メッキ (HDZT 77)
○ 内部品は、熔融亜鉛メッキ (HDZT 49)
- *2) アイボルトは、架設に必要な本数を協議して決定する。
- *3) 固定用プレート、スペーサーは、ストッパーセット後取り除く。
符号5の固定用ボルトは、化粧ボルトとして使用する。
- *4) 符号9のボルトは、ストッパー部品側の固定ボルト(符号5)撤去後に、化粧ボルトとして使用する。
- *5) 固定用プレート、スペーサーは、高濃度亜鉛末塗装 30μmとする。
- *6) 鋼製ストッパーは、水平になるよう設計する。
縦断勾配がある場合は、テーパプレートで調整すること。
- *7) 調整プレートは、製品に含まれておりません。

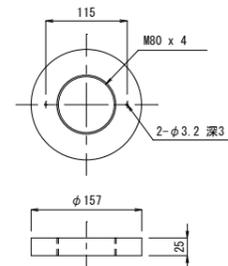
1 ポット部品 S=1:5



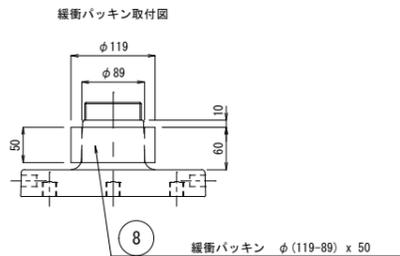
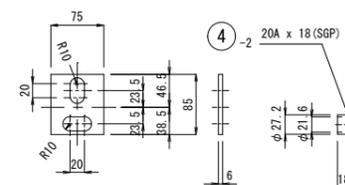
2 ストッパー部品 S=1:5



3 リングナット部品 S=1:5



4-1 固定用プレート S=1:5



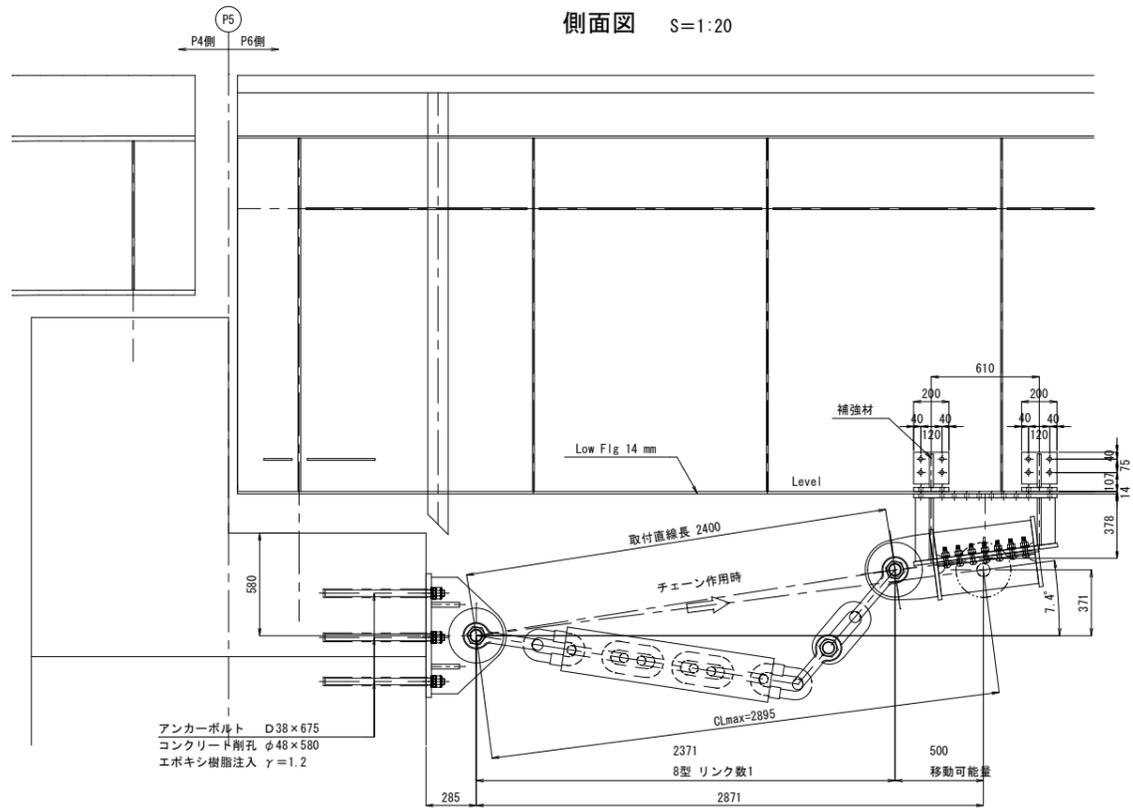
※側面の抜き勾配は、3/100 とする。

※側面の抜き勾配は、3/100 とする。

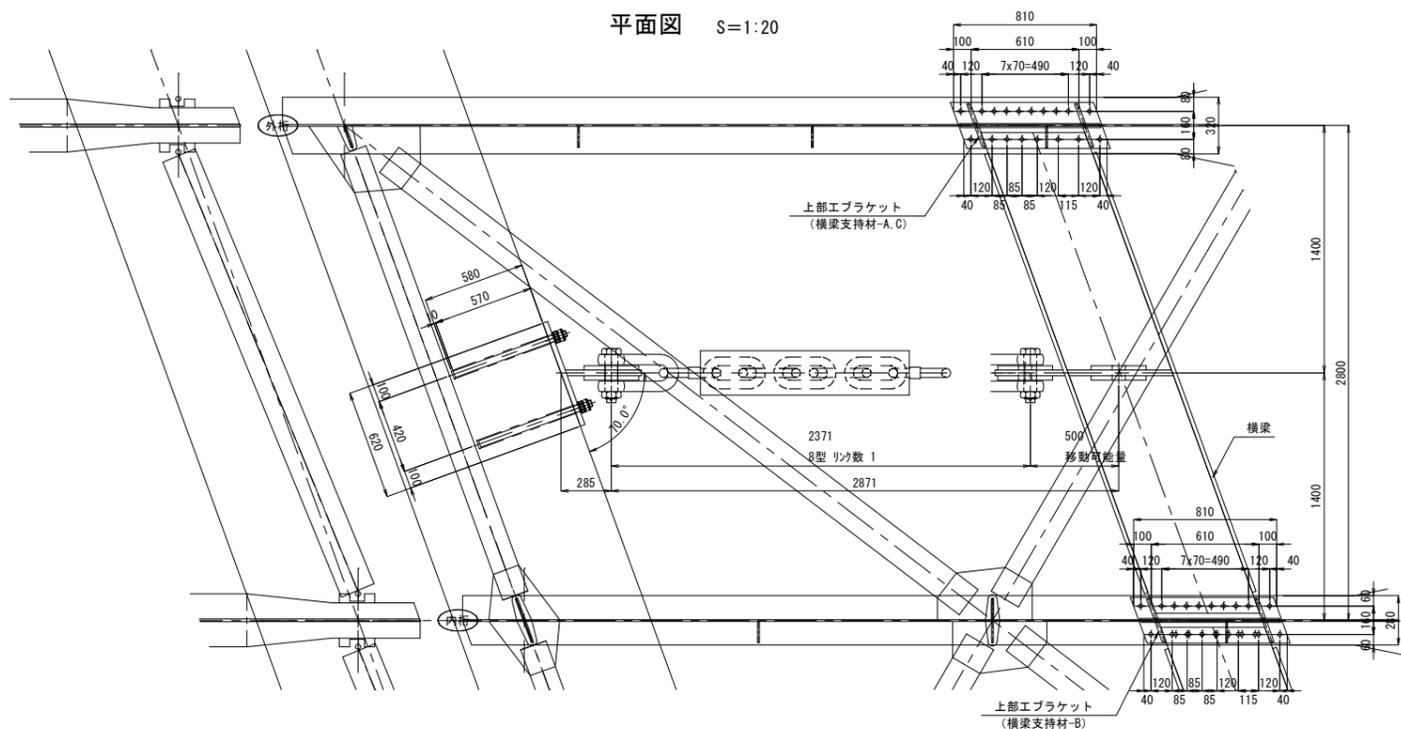
工事名	久下戸跨線橋耐震補強及び補修工事(その2)		
図面名	P5橋脚(終) 鋼製ストッパー詳細図		
縮尺	図示	図面番号	17 / 38
川越市 建設部 道路街路課			

久下戸跨線橋 P5橋脚(終) 落橋防止構造取付図

側面図 S=1:20



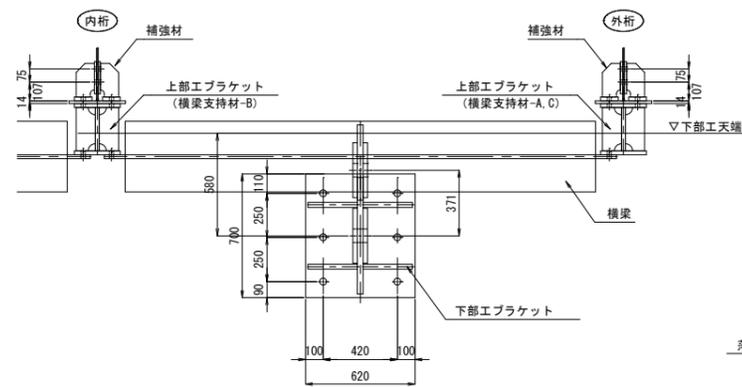
平面図 S=1:20



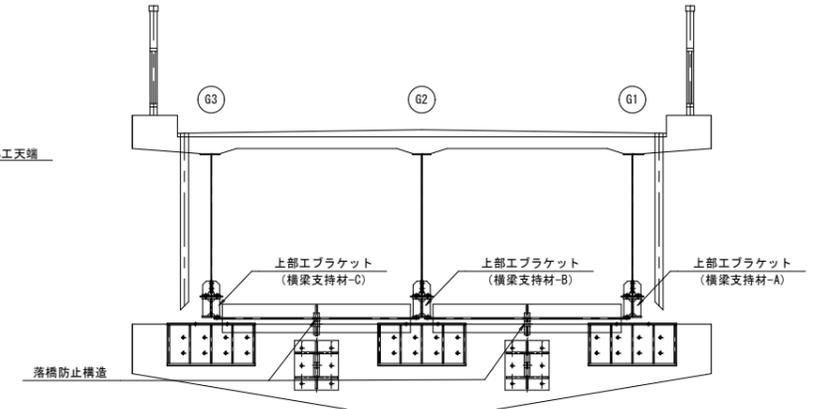
位置図



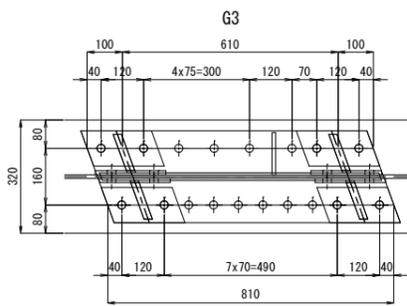
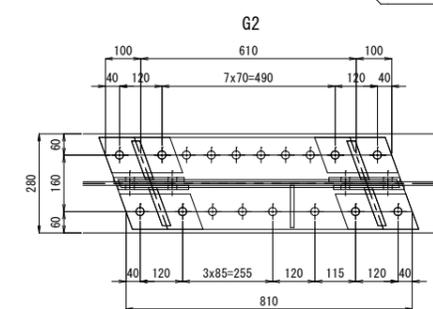
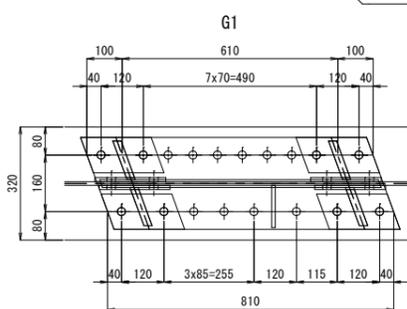
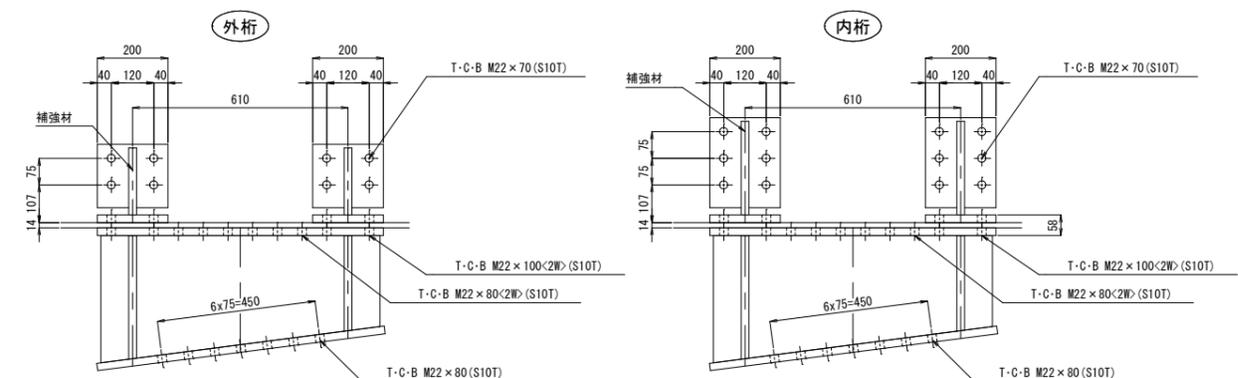
断面図 S=1:20



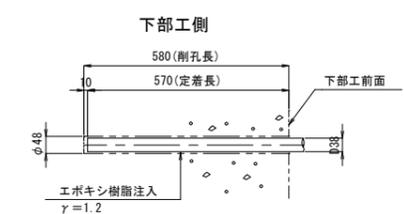
正面図 S=1:50



横梁支持材取付詳細図 S=1:10



コンクリート削孔詳細図 S=1:10



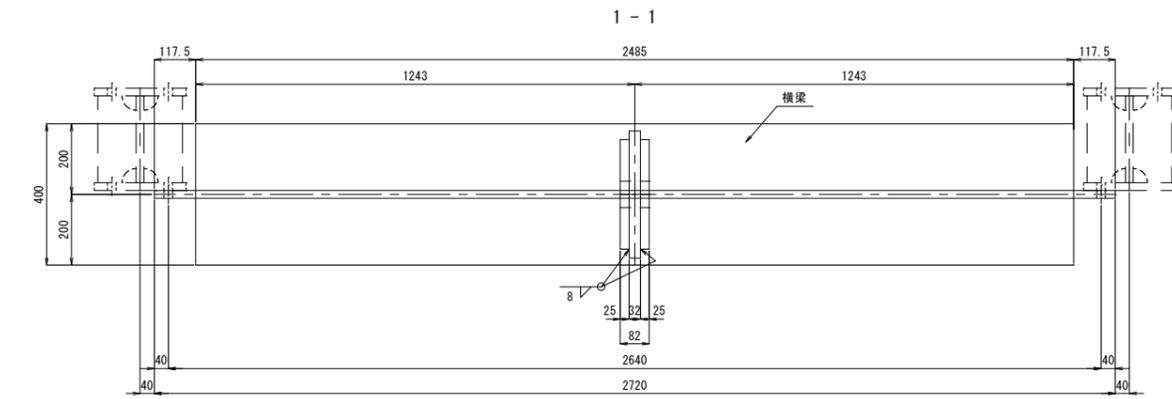
注記)

- 1) 図中詳細寸法は、足場架設後現地実測の上決定のこと。
- 2) 上部エブラケット及び補強材取付面は、既設桁の素地調整を行うこと。
- 3) 下部工側は鉄筋探査等を行い、既設鉄筋を切断しないように留意すること。
- 4) アンカーボルト定着長は既設躯体より15φ(φ:アンカー径)以上を確保すること。

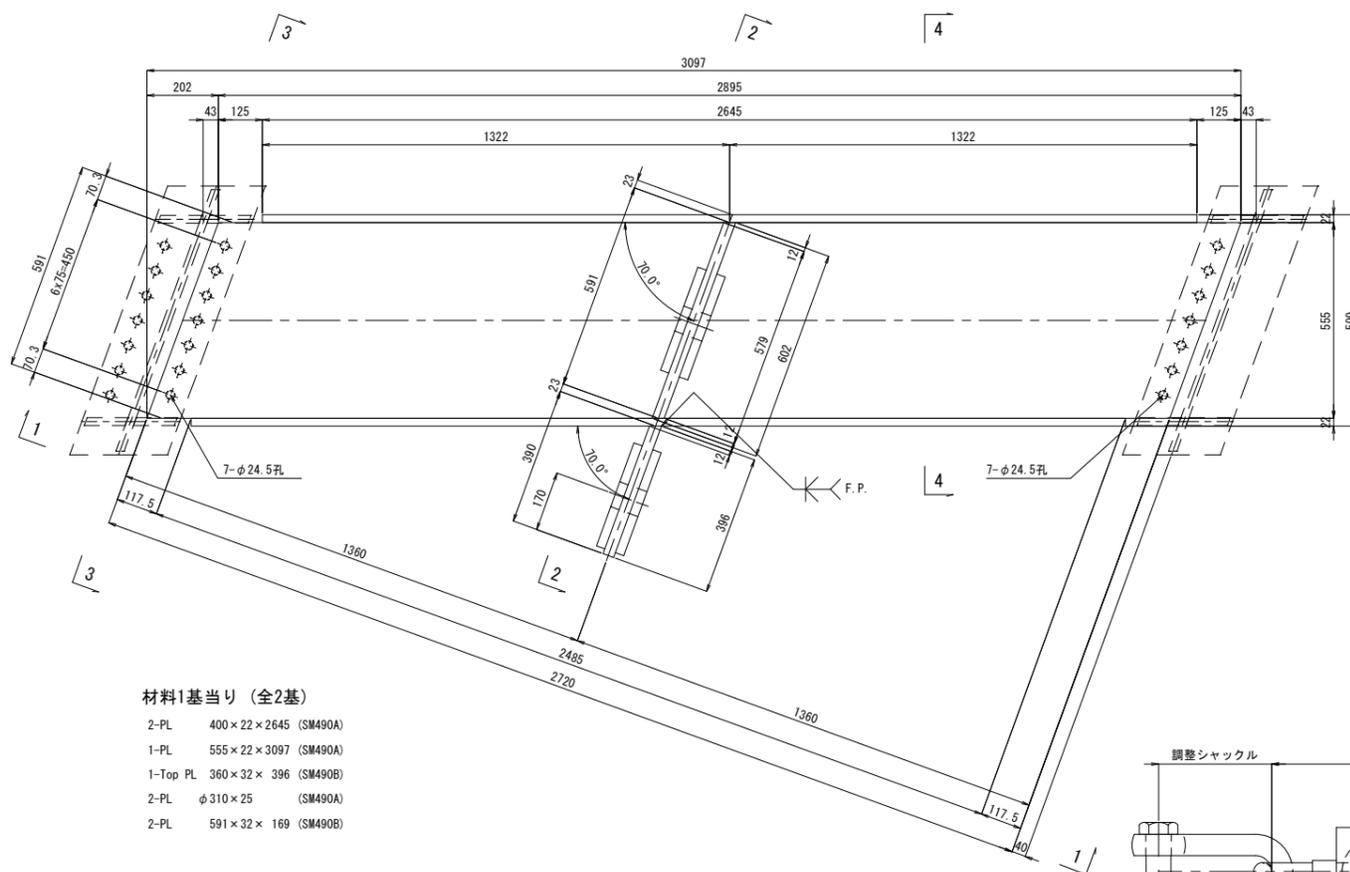
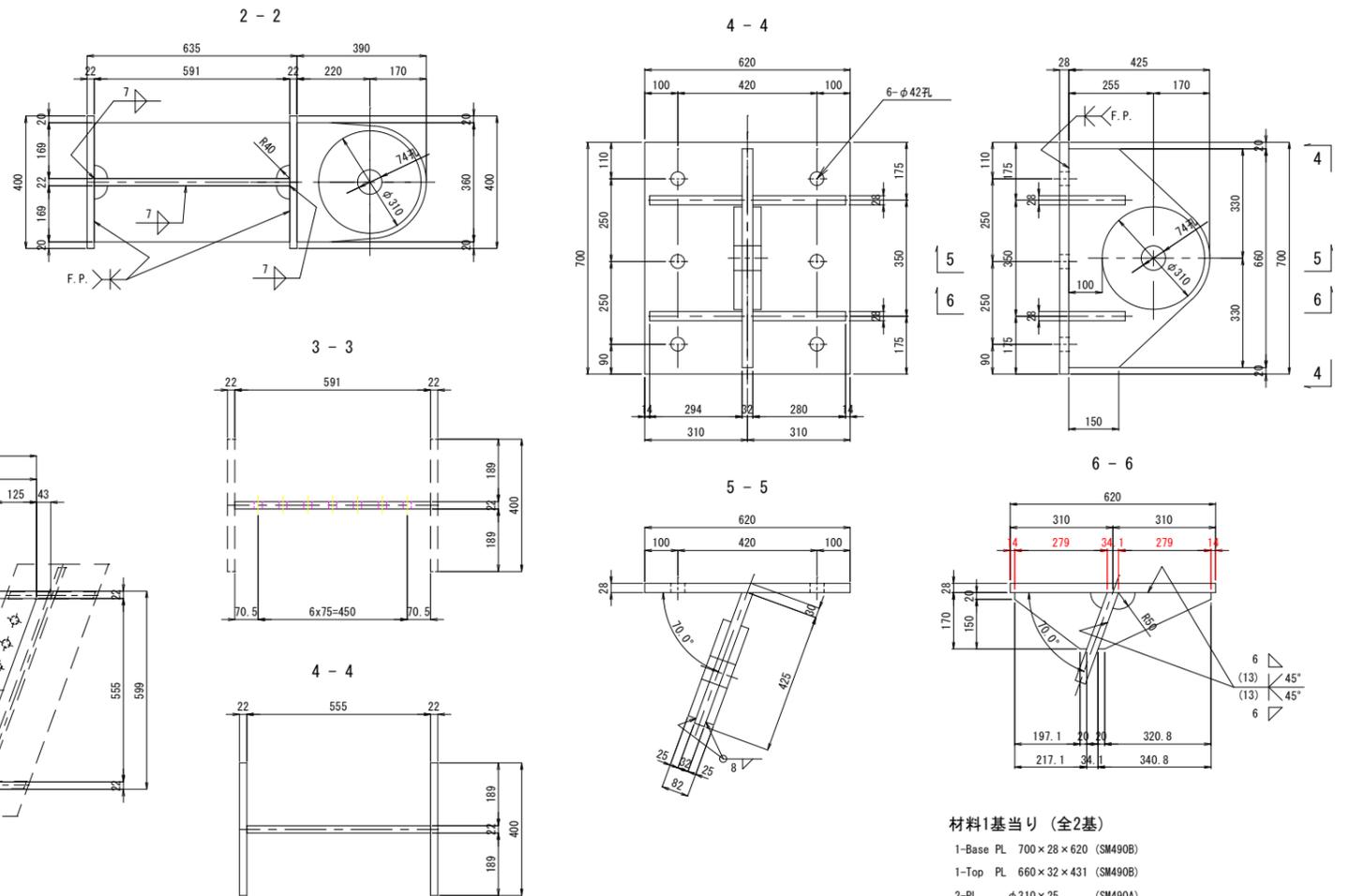
工事名	久下戸跨線橋耐震補強及び補修工事(その2)		
図面名	P5橋脚(終) 落橋防止構造取付図		
縮尺	図示	図面番号	18 / 38
川越市 建設部 道路街路課			

久下戸跨線橋 P5橋脚(終) 落橋防止構造ブラケット詳細図(その1)

横梁 詳細図



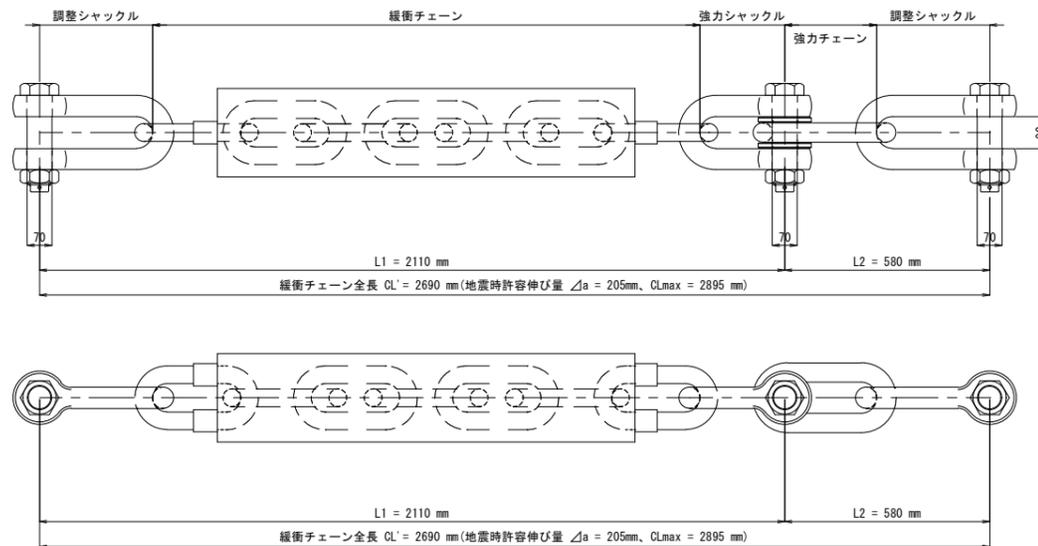
下部エブラケット詳細図



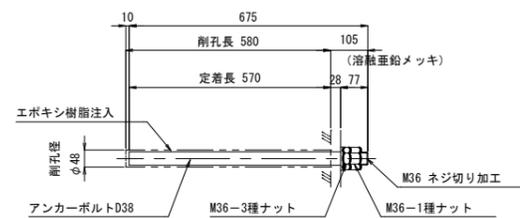
材料1基当り (全2基)

- 2-PL 400×22×2645 (SM490A)
- 1-PL 555×22×3097 (SM490A)
- 1-Top PL 360×32×396 (SM490B)
- 2-PL φ310×25 (SM490A)
- 2-PL 591×32×169 (SM490B)

緩衝チェーン 8型(1リンク)



下部アンカーボルト詳細図



材料1基当り (全2基)

- 6-Anc Bolt D38×675 (SD345)
- 6-Nut M36 1種ナット
- 6-Nut M36 3種ナット
- 6-Washer M36 座金

材料1基当り (全2基)

- 1-Base PL 700×28×620 (SM490B)
- 1-Top PL 660×32×431 (SM490B)
- 2-PL φ310×25 (SM490A)
- 2-Rib PL 170×28×279 (SM490B)
- 2-Rib PL 170×28×341 (SM490B)

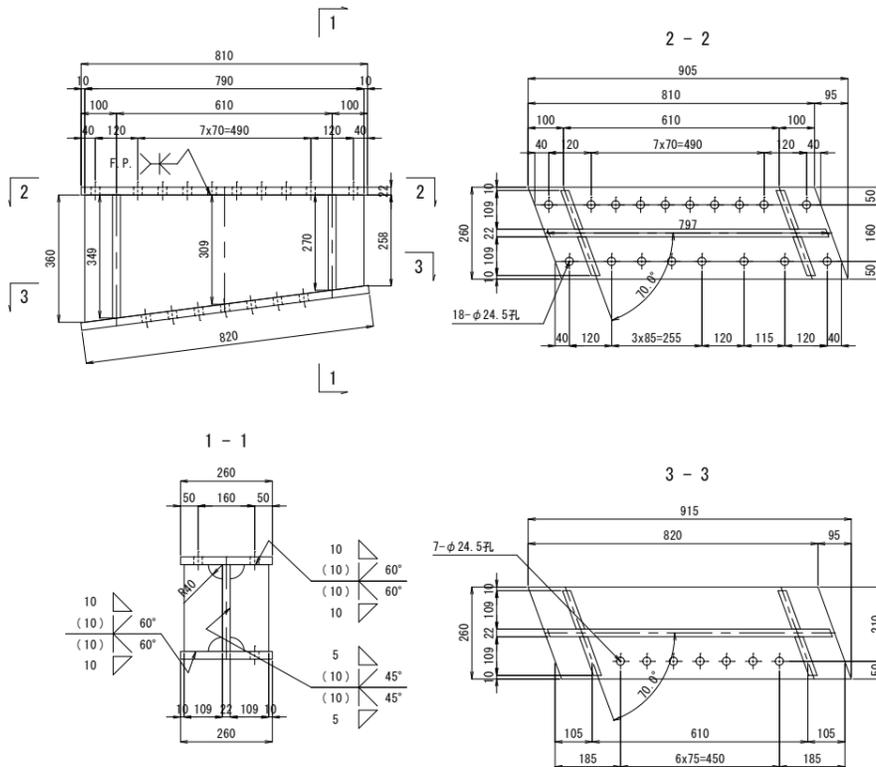
注記)

- 1) 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
- 2) ブラケットの製作は、現地調査の上、最終決定のこと
- 3) アンカーボルト孔位置は鉄筋探査の上、削孔を行い、実測の上決定のこと。
- 4) 下部エブラケットは、下記の通りの溶融亜鉛メッキ (JIS H 8641)とする。
HDZT 77 鋼板
HDZT 49 アンカーボルト (ネジ切り部のみ)
- 5) ナット・ワッシャーはメッキ品を使用すること。

工事名	久下戸跨線橋耐震補強及び補修工事(その2)		
図面名	P5橋脚(終)落橋防止構造ブラケット詳細図(その1)		
縮尺	図示	図面番号	19 / 38
川越市 建設部 道路街路課			

久下戸跨線橋 P5橋脚(終) 落橋防止構造ブラケット詳細図(その2)

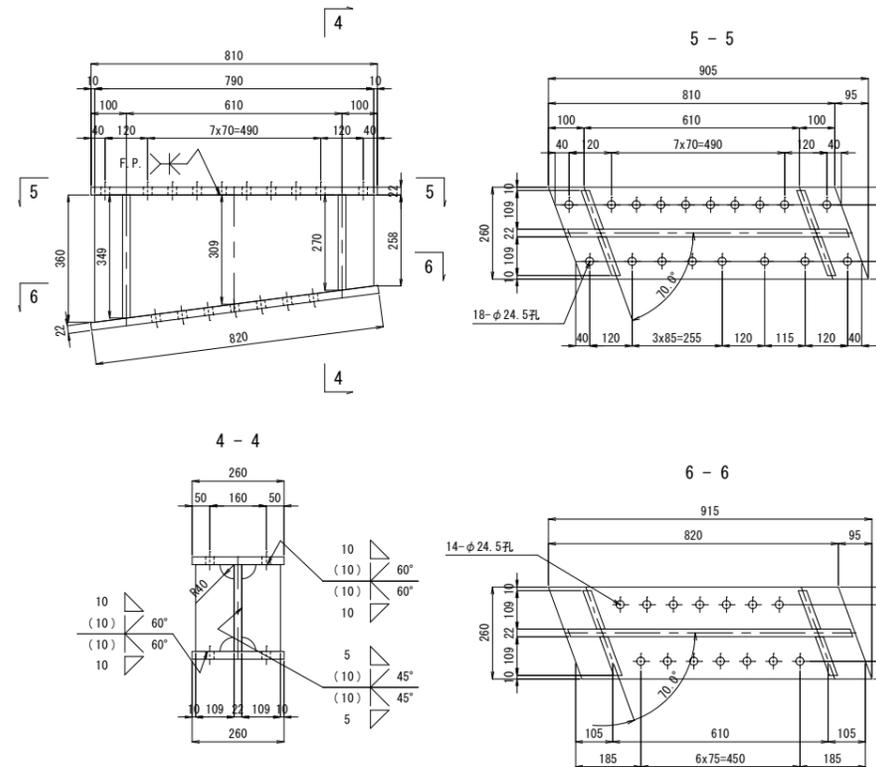
横梁支持材-A



材料1基当り (全1基)

- 1-PL 260×22×905 (SM490A)
- 1-PL 260×22×915 (SM490A)
- 1-PL 360×22×797 (SM490A)
- 2-PL 124×22×349 (SM490A)
- 2-PL 124×22×270 (SM490A)
- 8-TCB M22×100 (S10T 2-座金付)
- 10-TCB M22×80 (S10T 2-座金付)
- 7-TCB M22×80 (S10T)

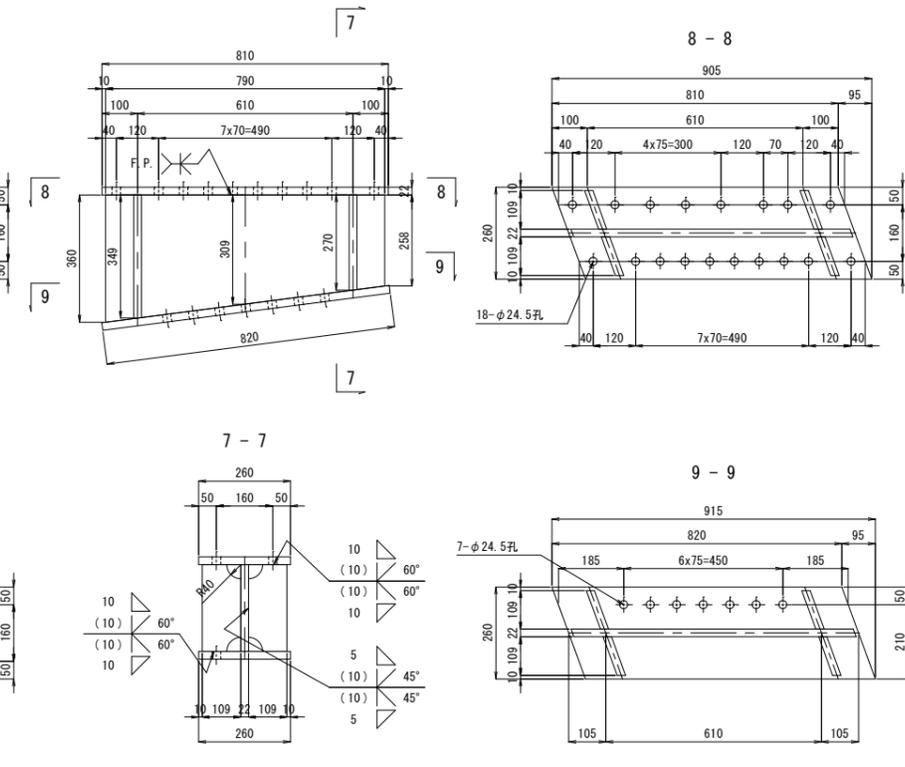
横梁支持材-B



材料1基当り (全1基)

- 1-PL 260×22×905 (SM490A)
- 1-PL 260×22×915 (SM490A)
- 1-PL 360×22×797 (SM490A)
- 2-PL 124×22×349 (SM490A)
- 2-PL 124×22×270 (SM490A)
- 8-TCB M22×100 (S10T 2-座金付)
- 10-TCB M22×80 (S10T 2-座金付)
- 14-TCB M22×80 (S10T)

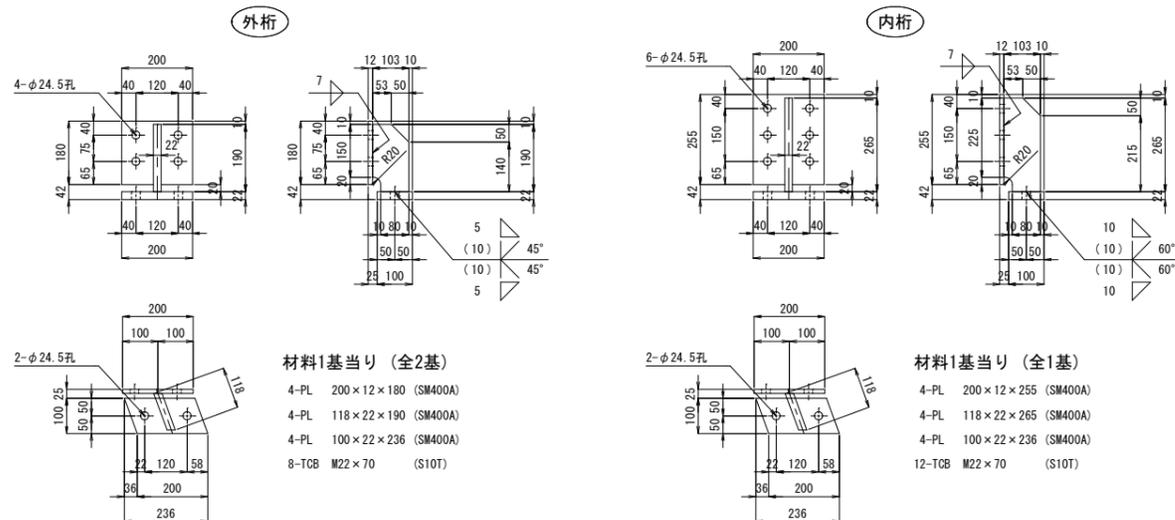
横梁支持材-C



材料1基当り (全1基)

- 1-PL 260×22×905 (SM490A)
- 1-PL 260×22×915 (SM490A)
- 1-PL 360×22×797 (SM490A)
- 2-PL 124×22×349 (SM490A)
- 2-PL 124×22×270 (SM490A)
- 8-TCB M22×100 (S10T 2-座金付)
- 10-TCB M22×80 (S10T 2-座金付)
- 7-TCB M22×80 (S10T)

補強材



材料1基当り (全2基)

- 4-PL 200×12×180 (SM400A)
- 4-PL 118×22×190 (SM400A)
- 4-PL 100×22×236 (SM400A)
- 8-TCB M22×70 (S10T)

材料1基当り (全1基)

- 4-PL 200×12×255 (SM400A)
- 4-PL 118×22×265 (SM400A)
- 4-PL 100×22×236 (SM400A)
- 12-TCB M22×70 (S10T)

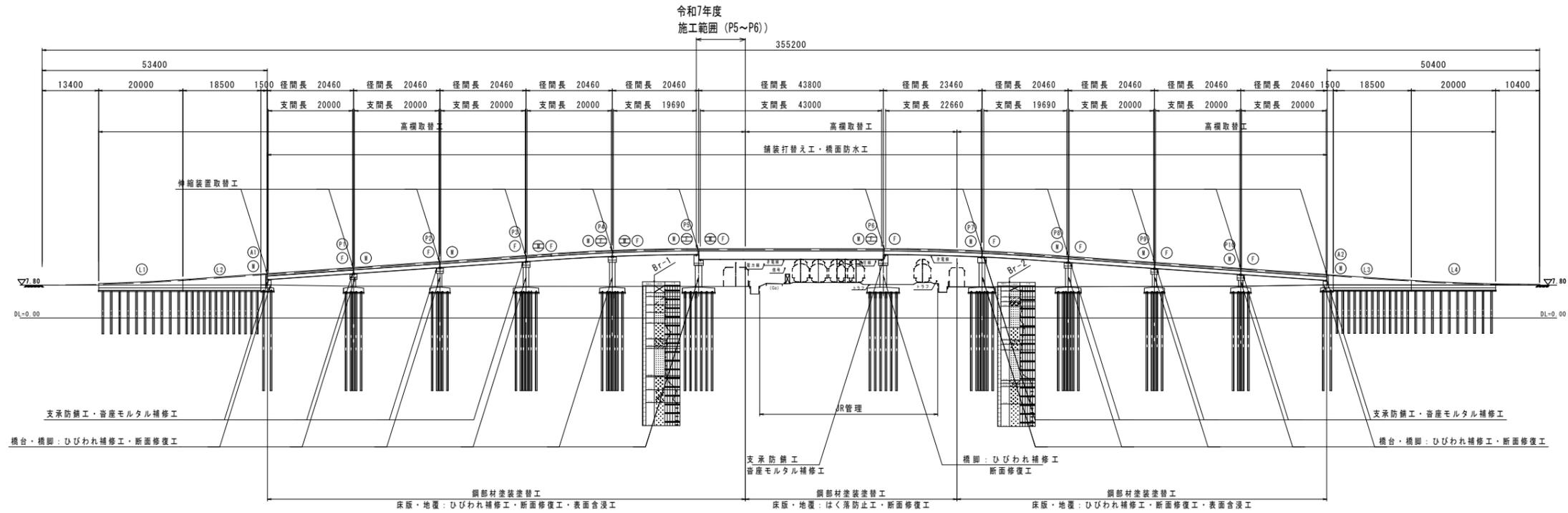
注記

- 1) 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
- 2) ブラケットの製作は、現地調査の上、最終決定のこと。
- 3) アンカーボルト孔位置は鉄筋探索の上、削孔を行い、実測の上決定のこと。
- 4) 下部工ブラケットは、下記の通りの溶融亜鉛メッキ (JIS H 8641) とする。
HDZT 77 鋼板
HDZT 49 アンカーボルト(ネジ切り部のみ)
- 5) ナット・ワッシャーはメッキ品を使用すること。

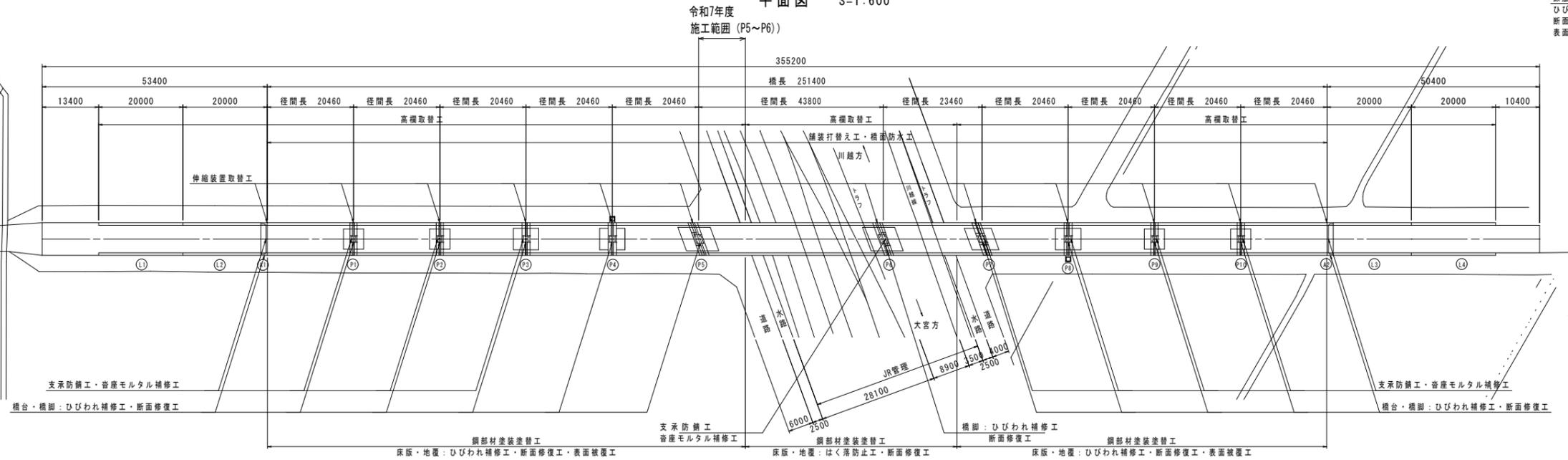
工事名	久下戸跨線橋耐震補強及び補修工事(その2)		
図面名	P5橋脚(終)落橋防止構造ブラケット詳細図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	20 / 38
川越市 建設部 道路街路課			

補修一般図 (その1)

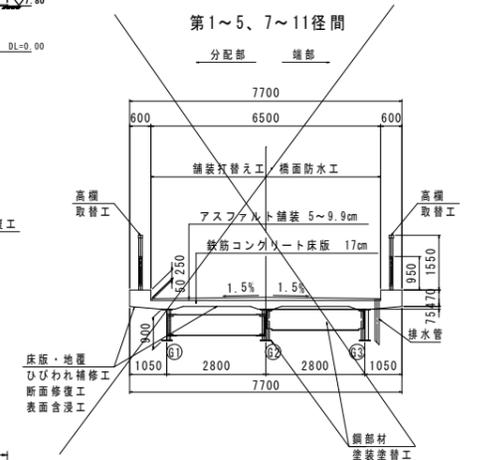
側面図 S=1:600



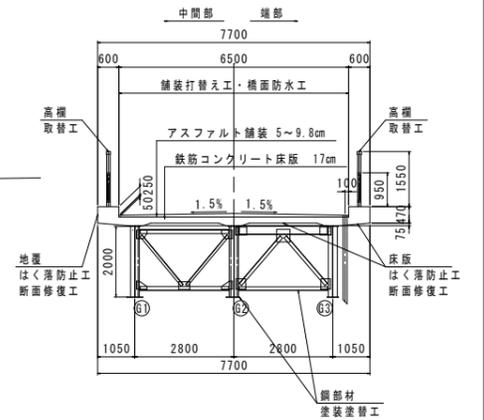
平面図 S=1:600



断面図 S=1:100



第6径間 断面図



補修工法一覧

種別	工種	対策内容	施工区分	
上部工	主桁・横桁	鋼部材塗装工	JR部 川越市	
	床版・地覆	ひびわれ補修工	注入工 (E* 矽樹脂系)	川越市
		断面修復工	左官工 (ホ*リマセメントモルタル)	JR部 川越市
	表面含浸工	高分子系浸透性防水材	川越市	
	はく落防止工	繊維シート系	JR部	
支承	支承防錆工	金属溶射工	川越市	
		塗装塗替工	JR部	
	宍座モルタル補修工	宍座モルタル打設	JR部 川越市	

種別	工種	対策内容	施工区分	
下部工	橋台・橋脚	ひびわれ補修工	注入工 (E* 矽樹脂系)	JR部 川越市
		断面修復工	左官工 (ホ*リマセメントモルタル)	JR部 川越市
橋面工	舗装	舗装打替え工	アスファルト舗装 (t=5cm)+レ*リン*層	川越市
	橋面防水工	塗膜系防水	川越市	
高欄	高欄取替工	防護柵+投物防止柵設置 (スチ*製)	JR部 川越市	
	伸縮装置	伸縮装置取替工	非排水型鋼製伸縮装置への取替え	川越市
付属物	排水管	排水管取替工	硬質塩化ビニール管 (VP管)	JR部 川越市
	電線管	電気配管補修工	川越市	

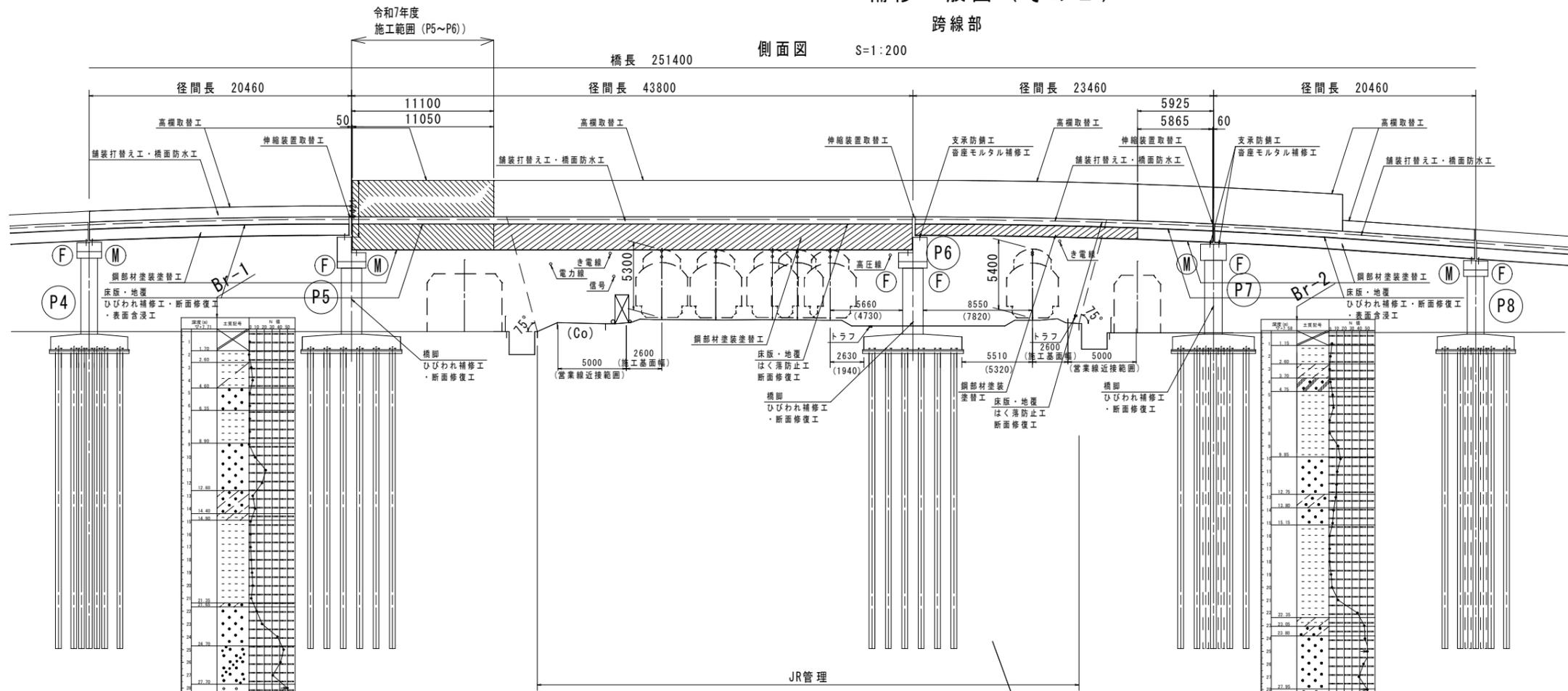
※特記事項
1. 本図面は、既存資料および現地計測をもとに作成した図面である。

工事名	久下戸跨線橋耐震補強及び補修工事(その2)		
図面名	補修一般図 (その1)		
縮尺	図示	図面番号	21/ 38
川越市 建設部 道路街路課			

補修一般図 (その2)

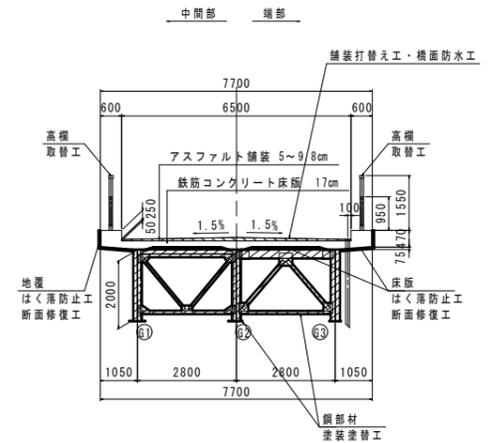
跨線部

側面図 S=1:200

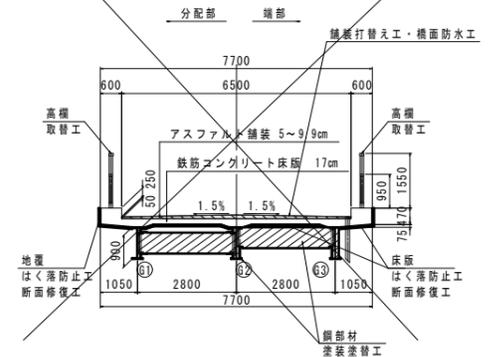


断面図 S=1:100

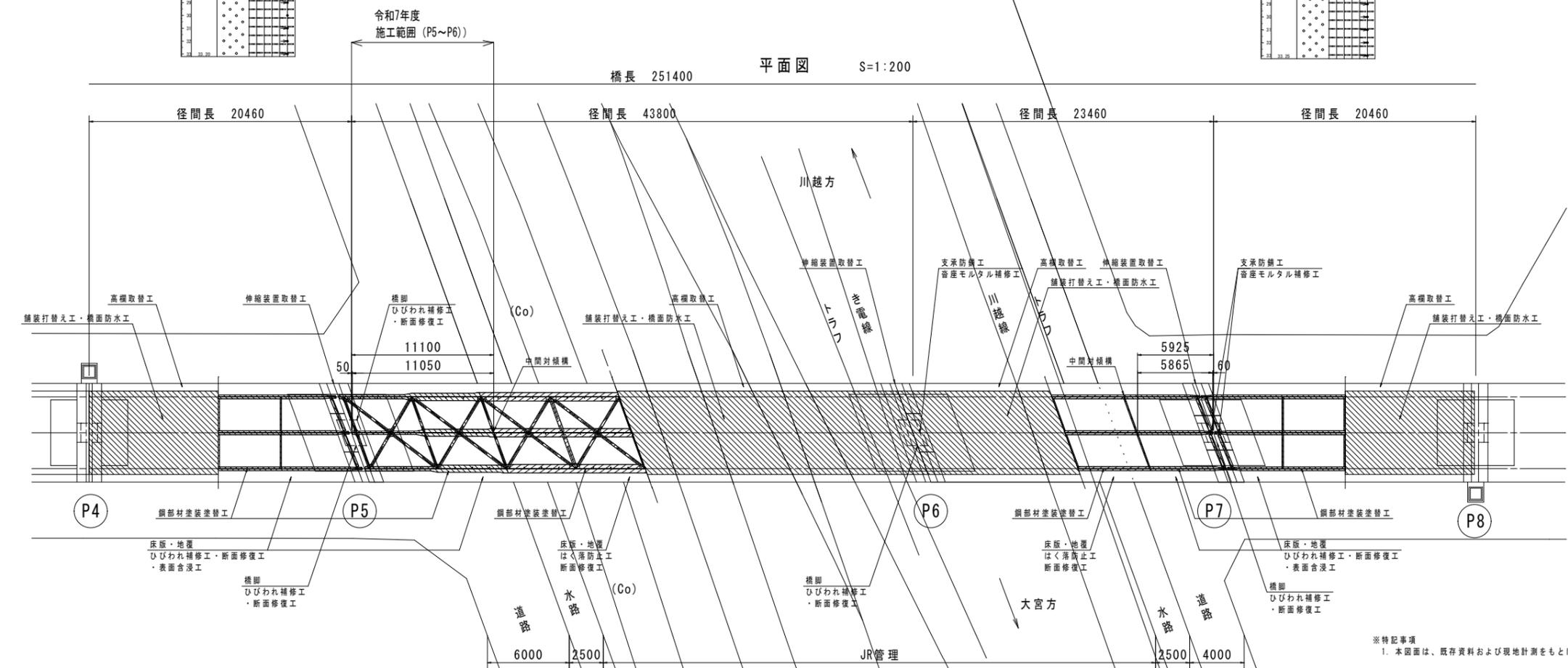
第6径間 断面図



第7径間 断面図



平面図 S=1:200



工事名 久戸跨線橋耐震補強及び補修工事(その2)

図面名 補修一般図 (その2)

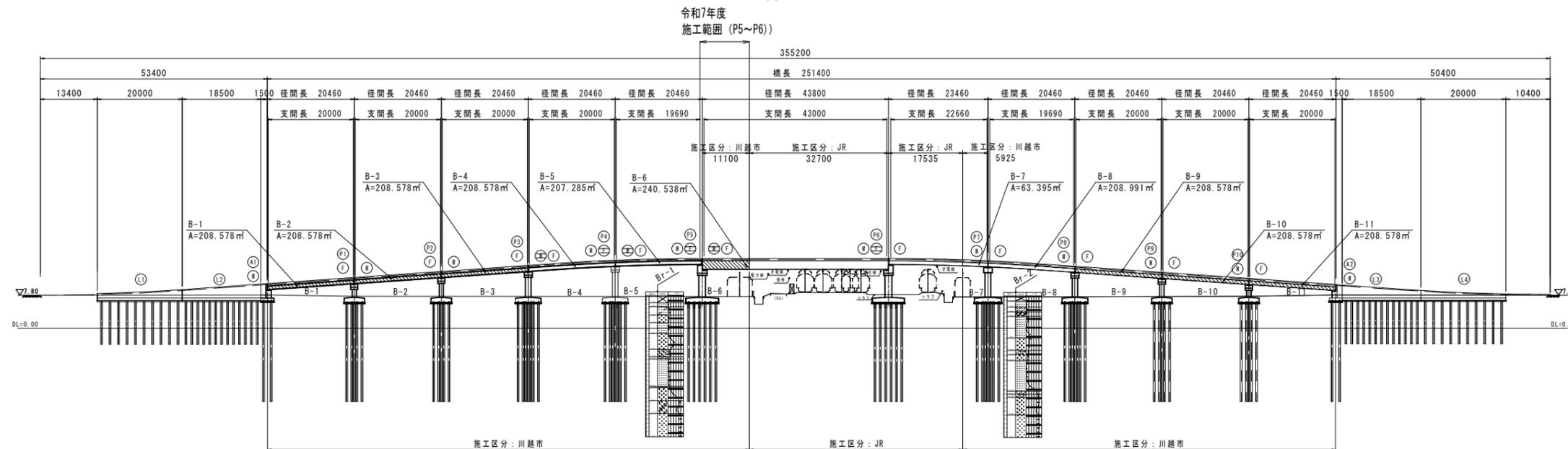
縮尺 図示 図面番号 22 / 38

川越市 建設部 道路街路課

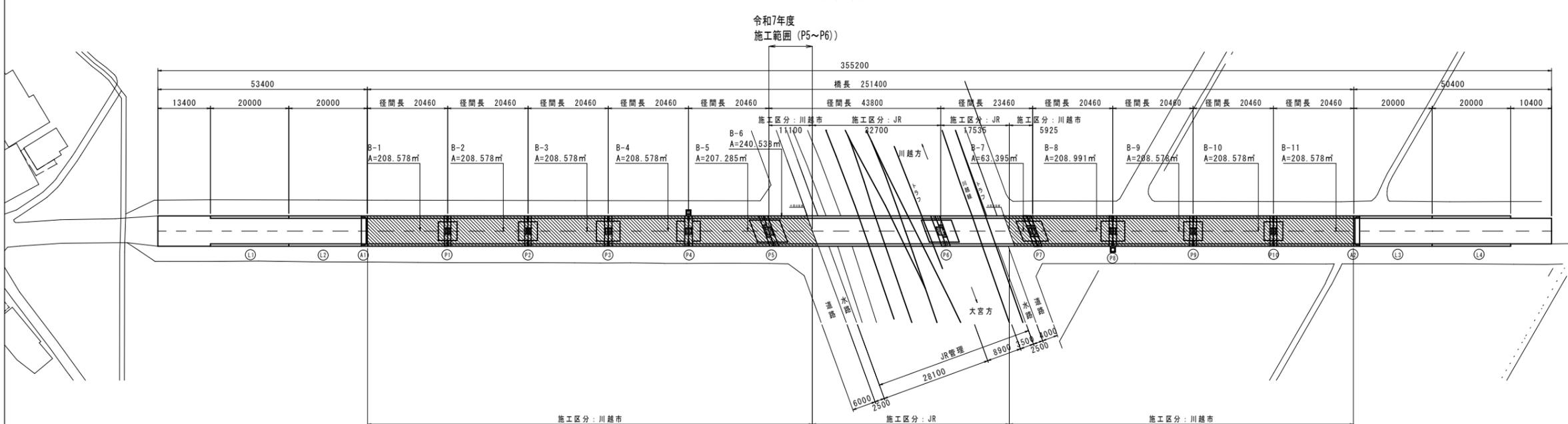
※特記事項
1. 本図面は、既存資料および現地計測をもとに作成した図面である。

久下戸跨線橋 塗装塗替詳細図

側面図 S=1:600



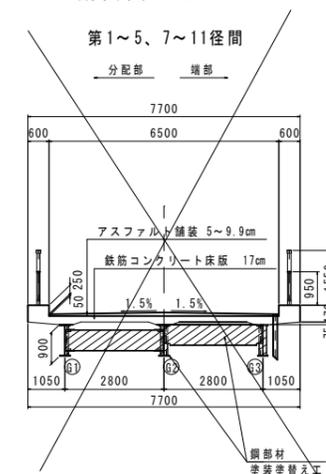
平面図 S=1:600



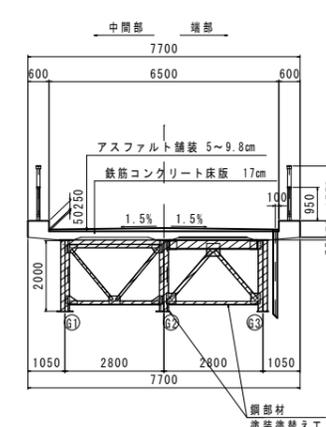
塗装塗替工施工フロー



断面図 S=1:100



第6径間断面図



	B-1	B-2	B-3	B-4	B-5	B-5橋脚	B-6	B-7	B-8	B-9	B-10	B-11	合計
主桁	167.774	167.774	167.774	167.774	166.883	35.136	324.605	49.059	168.589	167.774	167.774	167.774	1753.632
端横桁	19.172	19.172	19.172	19.172	18.770	10.722	18.770	9.490	18.770	19.172	19.172	19.172	181.234
中間横桁	8.816	8.816	8.816	8.816	8.816		8.816	4.846	8.816	8.816	8.816	8.816	84.190
分配横桁	12.816	12.816	12.816	12.816	12.816		12.816	12.816	12.816	12.816	12.816	12.816	115.344
端対傾構							10.654						10.654
中間対傾構							15.956						15.956
横桁													0.000
横構							19.245						19.245
小計	208.578	208.578	208.578	208.578	207.285	45.858	370.460	63.395	208.991	208.578	208.578	208.578	2180.255
支承	Mov側	金属溶射工	金属溶射工	金属溶射工	支承交換	支承交換	支承交換	支承交換	金属溶射工	金属溶射工	金属溶射工	金属溶射工	0.000
	Fix側	金属溶射工	金属溶射工	金属溶射工	支承交換	支承交換	支承交換	支承交換	金属溶射工	金属溶射工	金属溶射工	金属溶射工	(0.618)
合計	208.578	208.578	208.578	208.578	207.285	45.858	370.460	63.395	208.991	208.578	208.578	208.578	2180.255

塗装仕様 (Rc-I)

細別	規格	使用量 (g/m ²)
素地調整	1種(循環式エコクリーンプラスト工法)	-
下塗1	有機ジンクリッチペイント	600
下塗2	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240
下塗3	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240
中塗	弱溶剤形フッ素樹脂塗料中塗	170
上塗	弱溶剤形フッ素樹脂塗料上塗	140

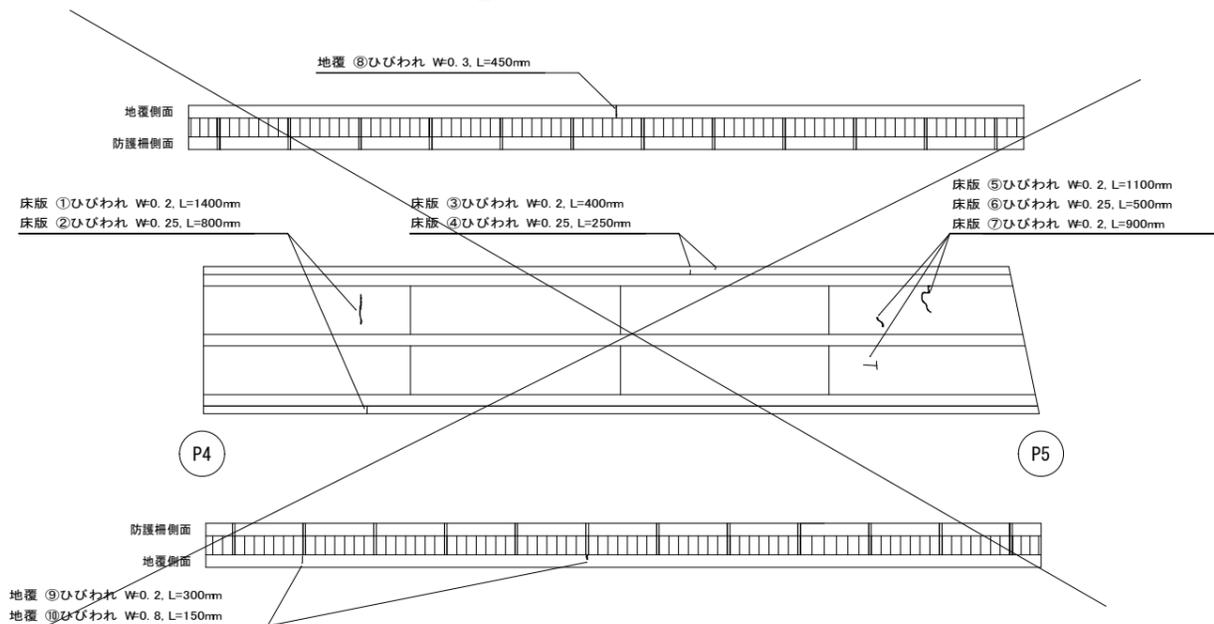
※特記事項
1. 本図面は、既存資料および現地計測をもとに作成した図面である。
2. JRとの近接協議の後、施工範囲を確定する。

工事名	久下戸跨線橋耐震補強及び補修工事(その2)		
図面名	塗装塗替詳細図(その1)		
縮尺	図示	図面番号	23 / 38
川越市 建設部 道路街路課			

久下戸跨線橋 ひびわれ補修工詳細図(その1)

(ひびわれ注入工)

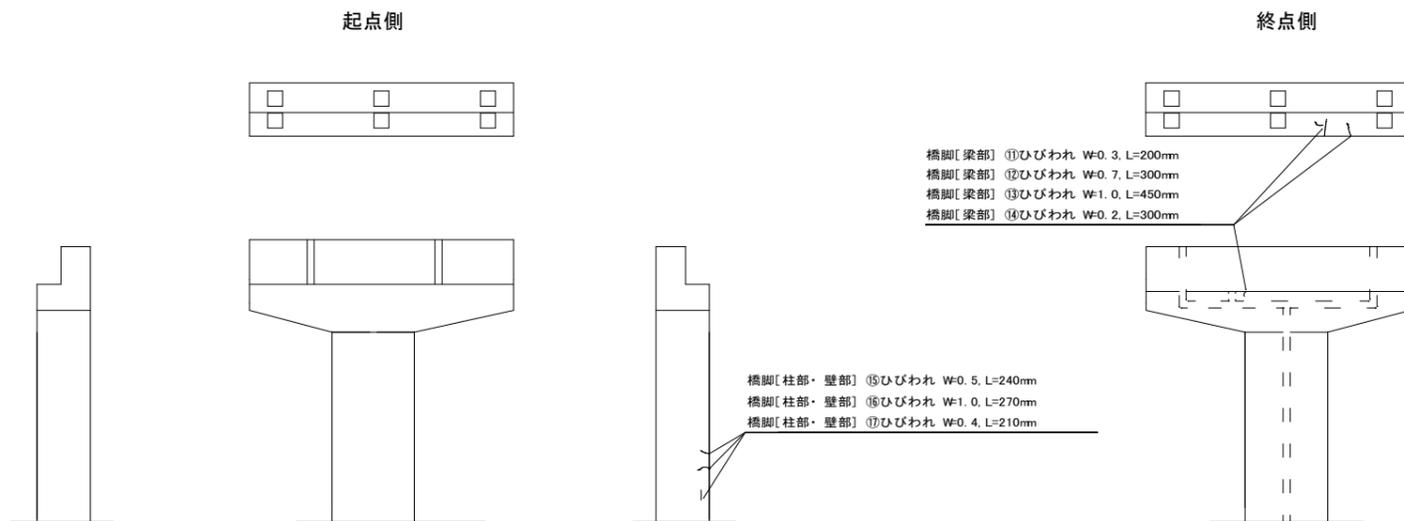
5_径間目(桁下面図)



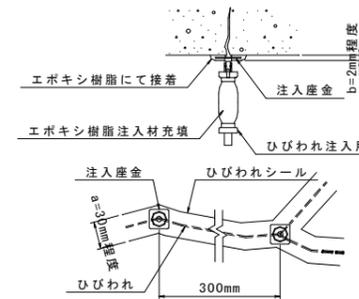
5_径間目 ひびわれ注入工数量表

損傷箇所	No.	ひびわれ幅 (mm)	ひびわれ長さ (mm)	箇所数	数量	
					長さ(m)	面積(m ²)
床版 地覆	①	0.2	1400	1	1.40	0.0028
	②	0.25	800	1	0.80	0.0020
	③	0.2	400	1	0.40	0.0008
	④	0.25	250	1	0.25	0.0006
	⑤	0.2	1100	1	1.10	0.0022
	⑥	0.25	500	1	0.50	0.0013
	⑦	0.2	900	1	0.90	0.0018
	⑧	0.3	450	1	0.45	0.0014
	⑨	0.2	300	1	0.30	0.0006
	⑩	0.8	150	1	0.15	0.0012
橋脚[梁部]	⑪	0.3	200	1	0.20	0.0006
	⑫	0.7	300	1	0.30	0.0021
	⑬	1.0	450	1	0.45	0.0045
	⑭	0.2	300	1	0.30	0.0006
橋脚[柱部・壁部]	⑮	0.5	240	1	0.24	0.0012
	⑯	1.0	270	1	0.27	0.0027
	⑰	0.4	210	1	0.21	0.0008
計			1970	7		0.0125

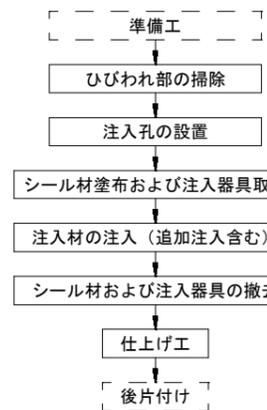
5_径間目(P5橋脚)



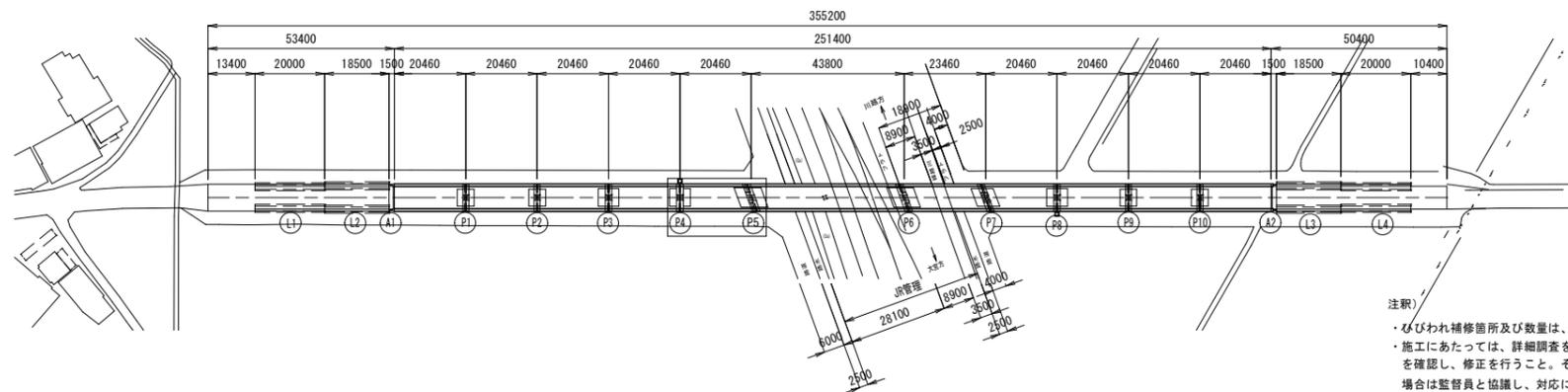
ひびわれ注入工詳細図
ひびわれ幅0.2mm以上



施工手順フロー
ひびわれ注入工



平面図 S=1:1000



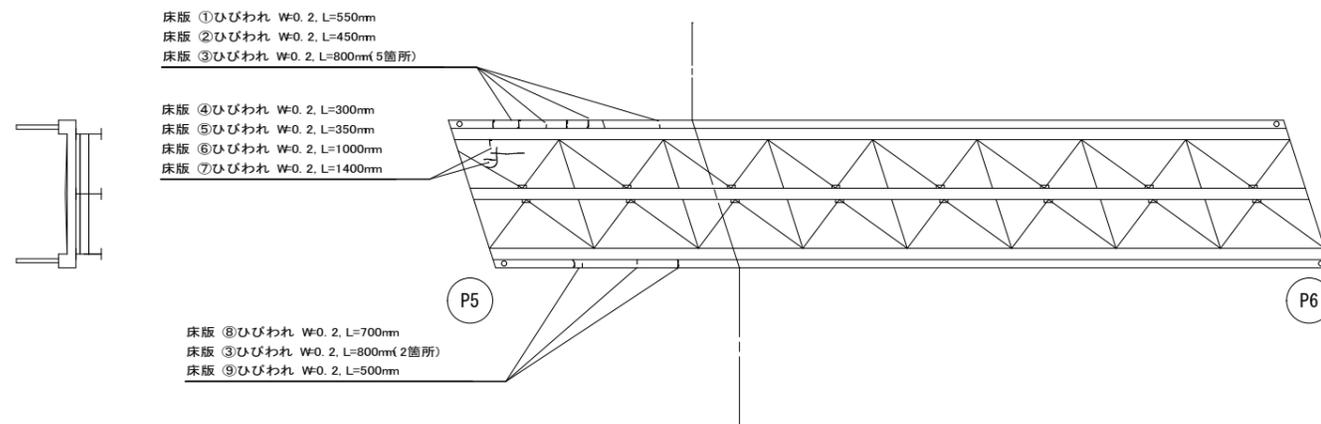
注釈
 ・ひびわれ補修箇所及び数量は、現地にて確認すること。
 ・施工にあたっては、詳細調査を行い、形状寸法・損傷状況を確認し、修正を行うこと。その際、数量等に変動がある場合は監督員と協議し、対応にあたること。

工事名	久下戸跨線橋耐震補強及び補修工事(その2)		
図面名	ひびわれ補修工詳細図(その1)		
縮尺	図示	図面番号	24 / 38
川越市 建設部 道路街路課			

久下戸跨線橋 ひびわれ補修工詳細図(その2)

(ひびわれ注入工)

6_径間目(桁下面図)

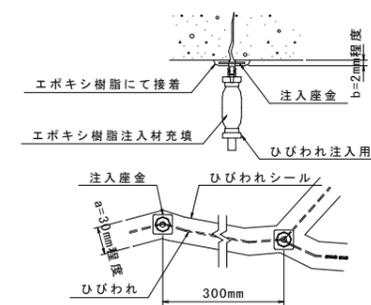


6_径間目 ひびわれ注入工数量表

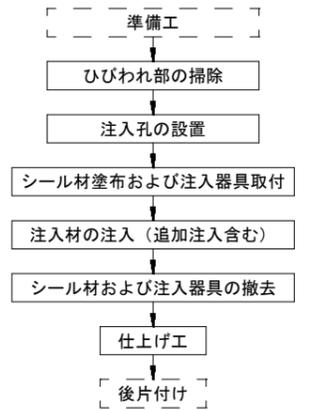
損傷箇所	No.	ひびわれ幅 (mm)	ひびわれ長さ (mm)	箇所数	数量	
					長さ(m)	面積(m ²)
床版	①	0.2	550	1	0.55	0.00011
	②	0.2	450	1	0.45	0.00009
	③	0.2	800	7	5.60	0.00112
	④	0.2	300	1	0.30	0.00006
	⑤	0.2	350	1	0.35	0.00007
	⑥	0.2	1000	1	1.00	0.00020
	⑦	0.2	1400	1	1.40	0.00028
	⑧	0.2	700	1	0.70	0.00014
	⑨	0.2	500	1	0.50	0.00010
計			6050	15	10.85	0.00217

0.00217 × 1/2 = 0.00109

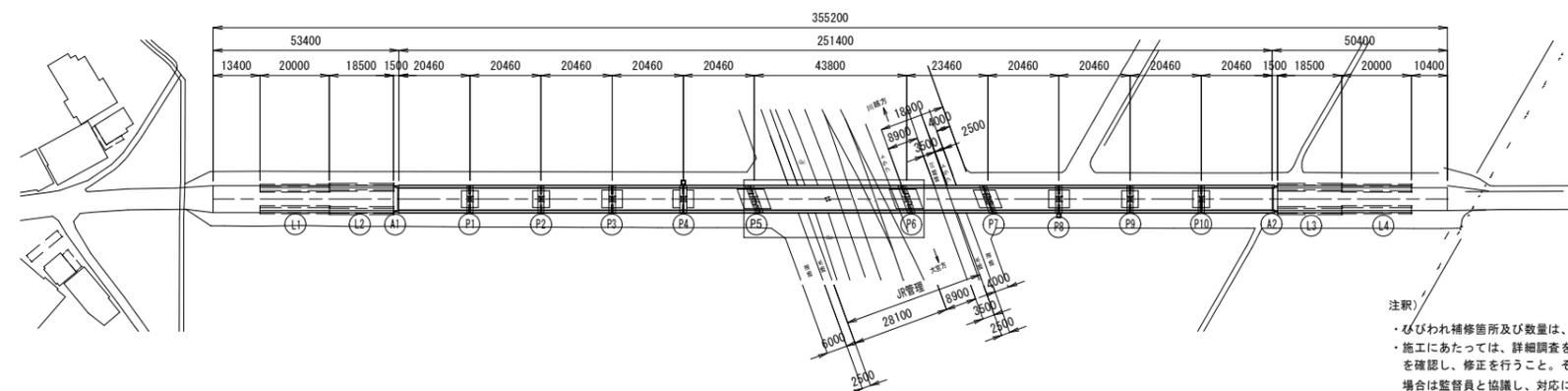
ひびわれ注入工詳細図
ひびわれ幅0.2mm以上



施工手順フロー
ひびわれ注入工



平面図 S=1:1000

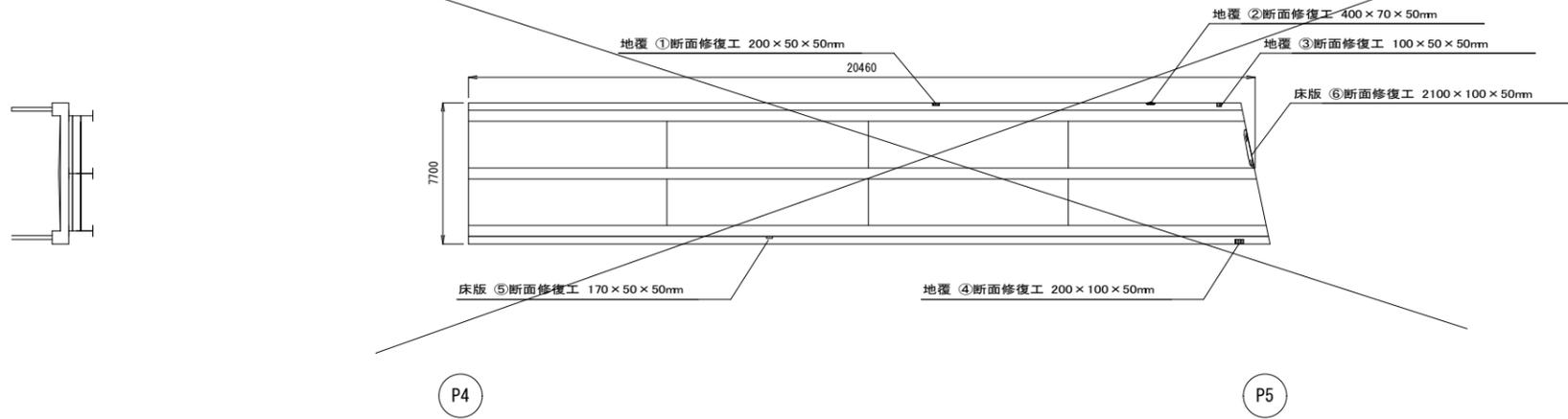


注釈
 ・ひびわれ補修箇所及び数量は、現地にて確認すること。
 ・施工にあたっては、詳細調査を行い、形状寸法・損傷状況を確認し、修正を行うこと。その際、数量等に変動がある場合は監督員と協議し、対応にあたること。

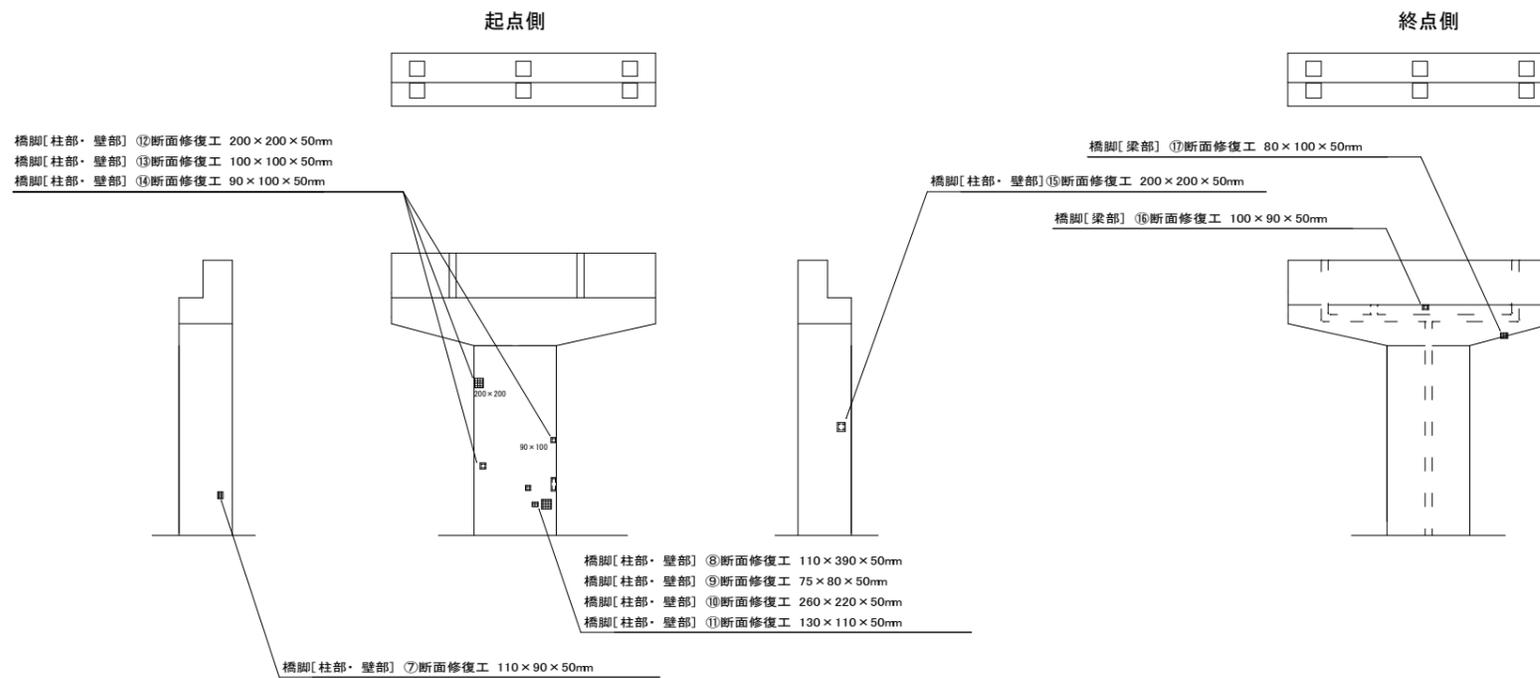
工事名	久下戸跨線橋耐震補強及び補修工事(その2)		
図面名	ひびわれ補修工詳細図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	25 / 38
川越市 建設部 道路街路課			

断面修復工図 (ポリマーセメント系)

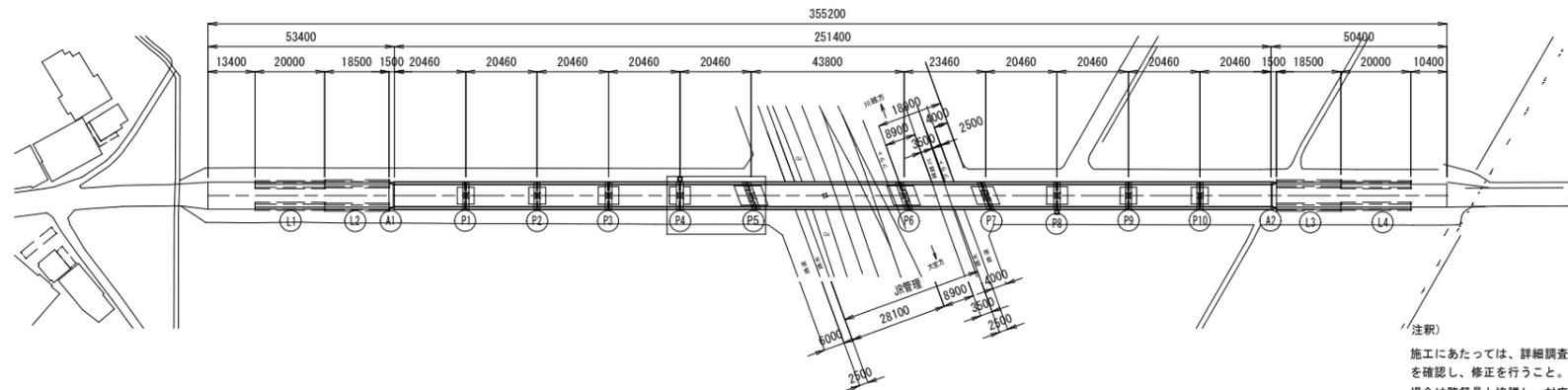
5_径間目(桁下面図)



5_径間目(P5橋脚)



平面図 S=1:1000

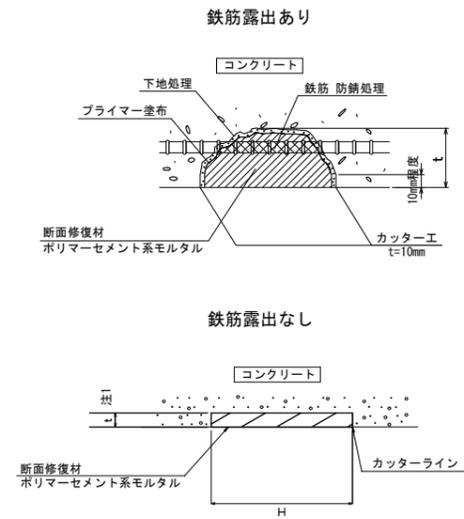


5_径間目 ポリマーセメント系断面修復工数量表

損傷箇所	No.	寸法 (mm)	箇所数	面積 (㎡)	はつり深さ (mm)	数量 (?)
床版 地覆	①	200 × 50	1	0.0100	0.05	0.00050
	②	400 × 70	1	0.0280	0.05	0.00140
	③	100 × 50	1	0.0050	0.05	0.00025
	④	200 × 100	1	0.0200	0.05	0.00100
	⑤	170 × 50	1	0.0085	0.05	0.00043
橋脚[柱部・壁部]	⑥	2100 × 100	1	0.2100	0.05	0.01050
	⑦	110 × 90	1	0.0099	0.05	0.00050
	⑧	110 × 390	1	0.0429	0.05	0.00215
	⑨	75 × 80	1	0.0060	0.05	0.00030
	⑩	260 × 220	1	0.0572	0.05	0.00286
	⑪	130 × 110	1	0.0143	0.05	0.00072
	⑫	200 × 200	1	0.0400	0.05	0.00200
	⑬	100 × 100	1	0.0100	0.05	0.00050
	⑭	90 × 100	1	0.0090	0.05	0.00045
	⑮	200 × 200	1	0.0400	0.05	0.00200
	橋脚[梁部]	⑯	100 × 90	1	0.0090	0.05
⑰		80 × 100	1	0.0080	0.05	0.00040
計			11	0.2463		0.01233

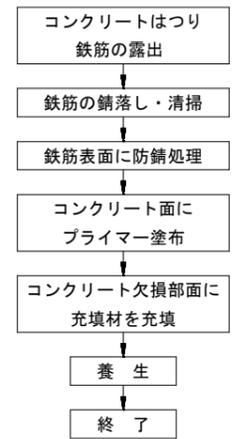
断面修復工 詳細図

(鉄筋露出・剥離・うき・欠損に適用)



施工手順フロー

断面修復工

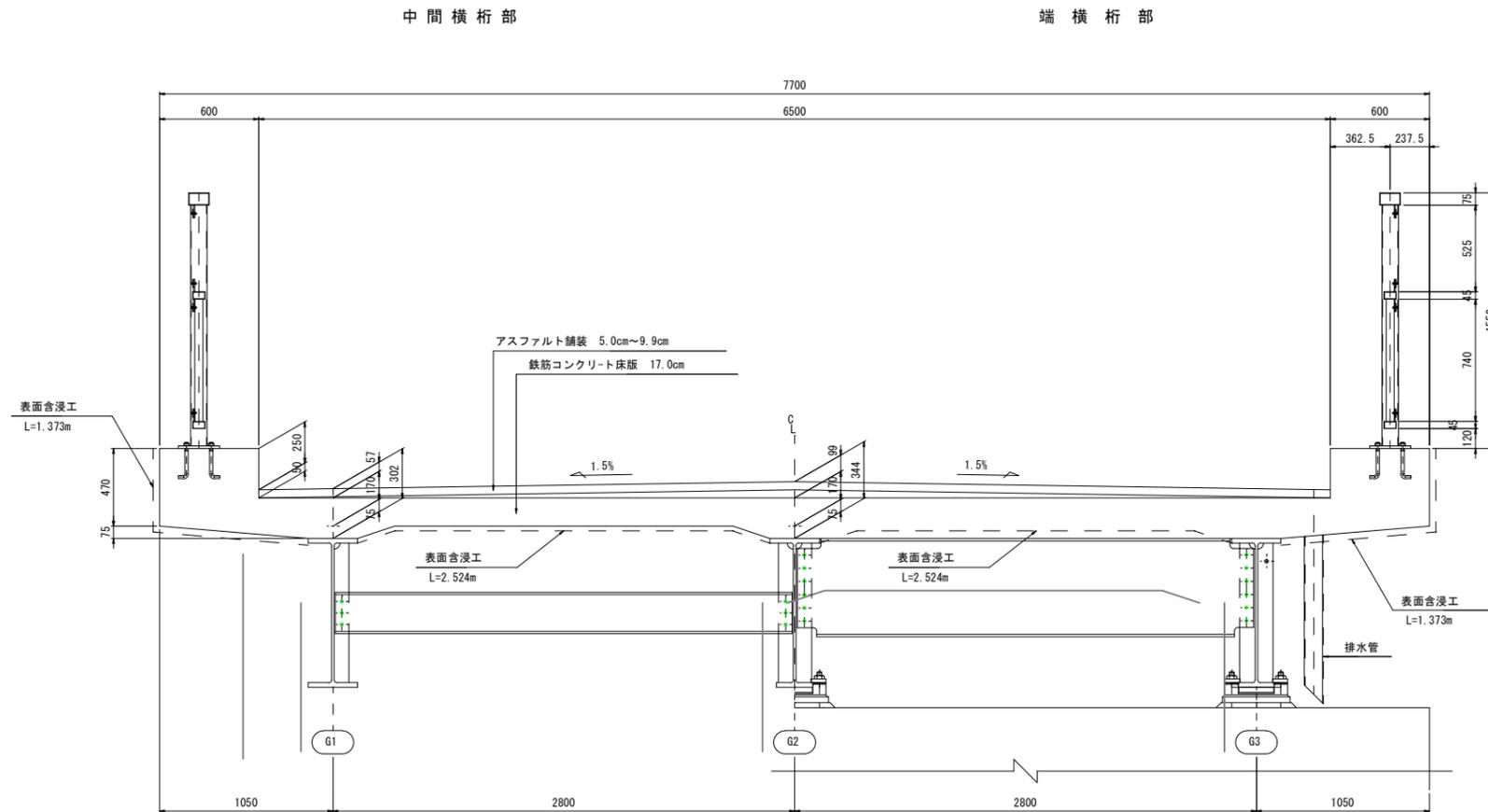


注1) 現地に、劣化コンクリートを確認した場合は監督員と協議の上、補修すること。

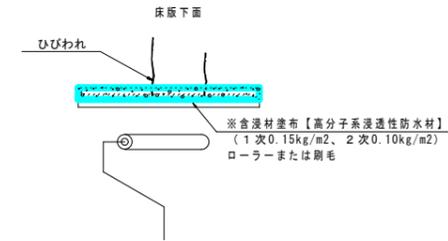
工事名	久戸跨線橋耐震補強及び補修工事(その2)		
図名	断面修復工図		
縮尺	図示	図番番号	26 / 38
川越市 建設部 道路街路課			

久下戸跨線橋 表面含浸工図

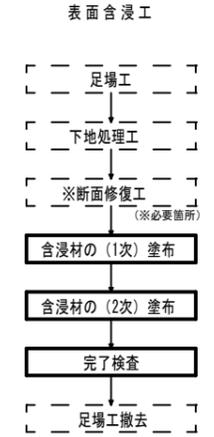
断面図 S=1:20



表面含浸工



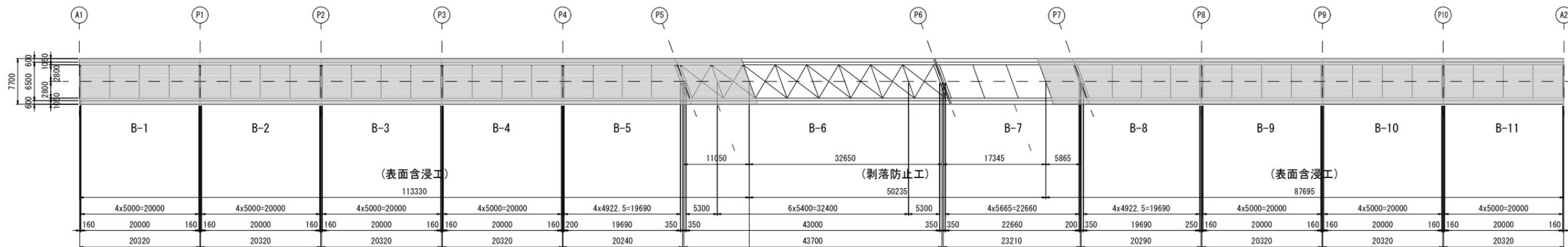
施工手順フロー



B-1~B-11間 表面含浸工数量表

損傷箇所	区間	寸法 (mm)	箇所数	単位	面積
床版・地覆	B-1	(1,373+2,524) × 20,320	2	m ²	158.37
	B-2	(1,373+2,524) × 20,320	2	m ²	158.37
	B-3	(1,373+2,524) × 20,320	2	m ²	158.37
	B-4	(1,373+2,524) × 20,320	2	m ²	158.37
	B-5	(1,373+2,524) × 20,240	2	m ²	157.75
	B-6	(1,373+2,524) × 11,050	2	m ²	86.12
	B-7	(1,373+2,524) × 58,650	2	m ²	45.71
	B-8	(1,373+2,524) × 20,290	2	m ²	158.14
	B-9	(1,373+2,524) × 20,320	2	m ²	158.37
	B-10	(1,373+2,524) × 20,320	2	m ²	158.37
	B-11	(1,373+2,524) × 20,320	2	m ²	158.37

配置図



令和7年度
施工範囲 (P5~P6)

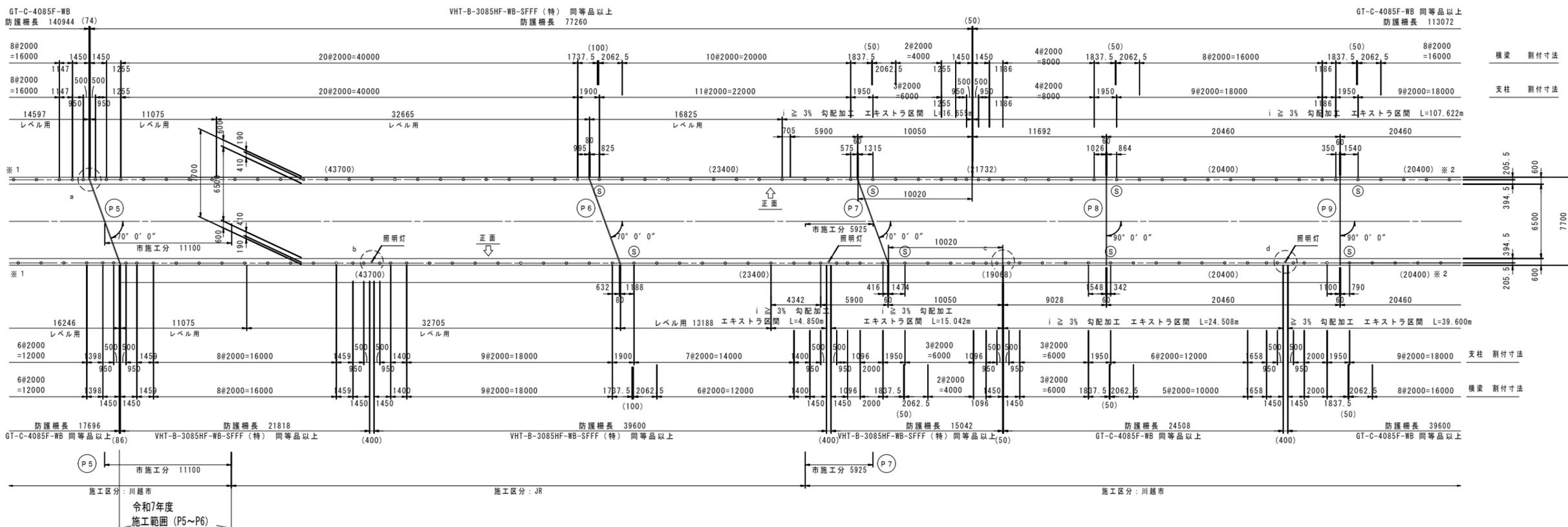
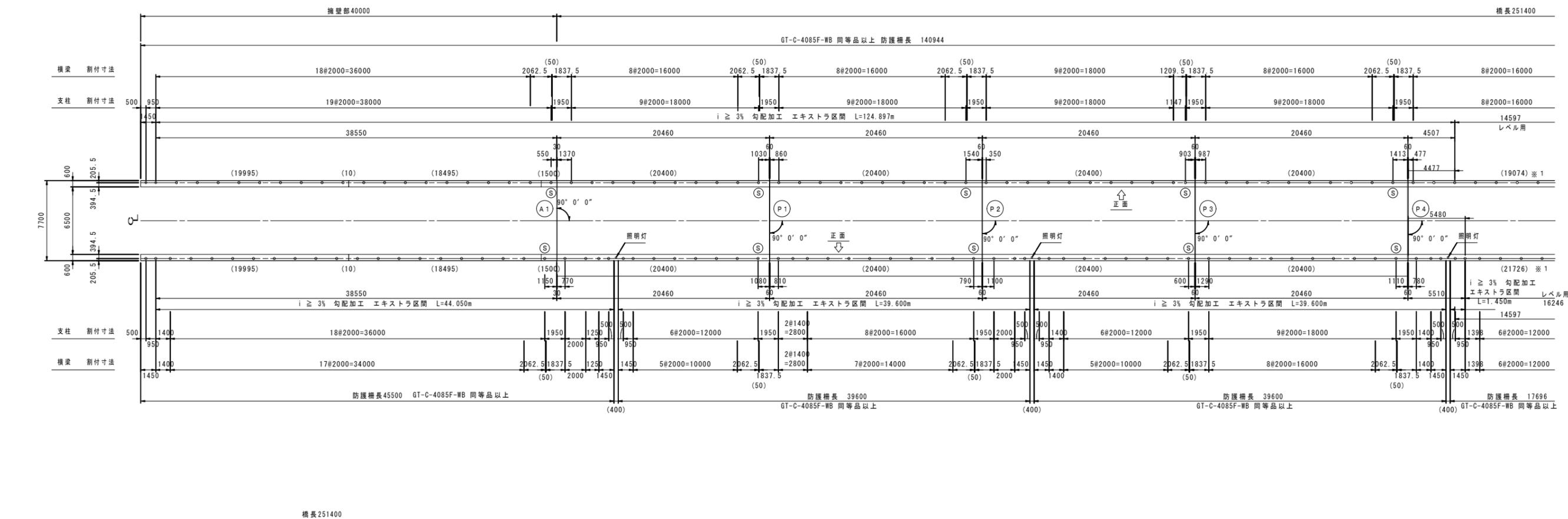
注釈

施工にあたっては、詳細調査を行い、形状寸法・損傷状況を確認し、修正を行うこと。その際、数量等に変動がある場合は監督員と協議し、対応にあたること。

工事名	久下戸跨線橋耐震補強及び補修工事(その2)		
図面名	表面含浸工図		
縮尺	図示	図面番号	27 / 38
川越市 建設部 道路街路課			

防護柵・投物防止柵計画図（その1）

計画図 S=1:200

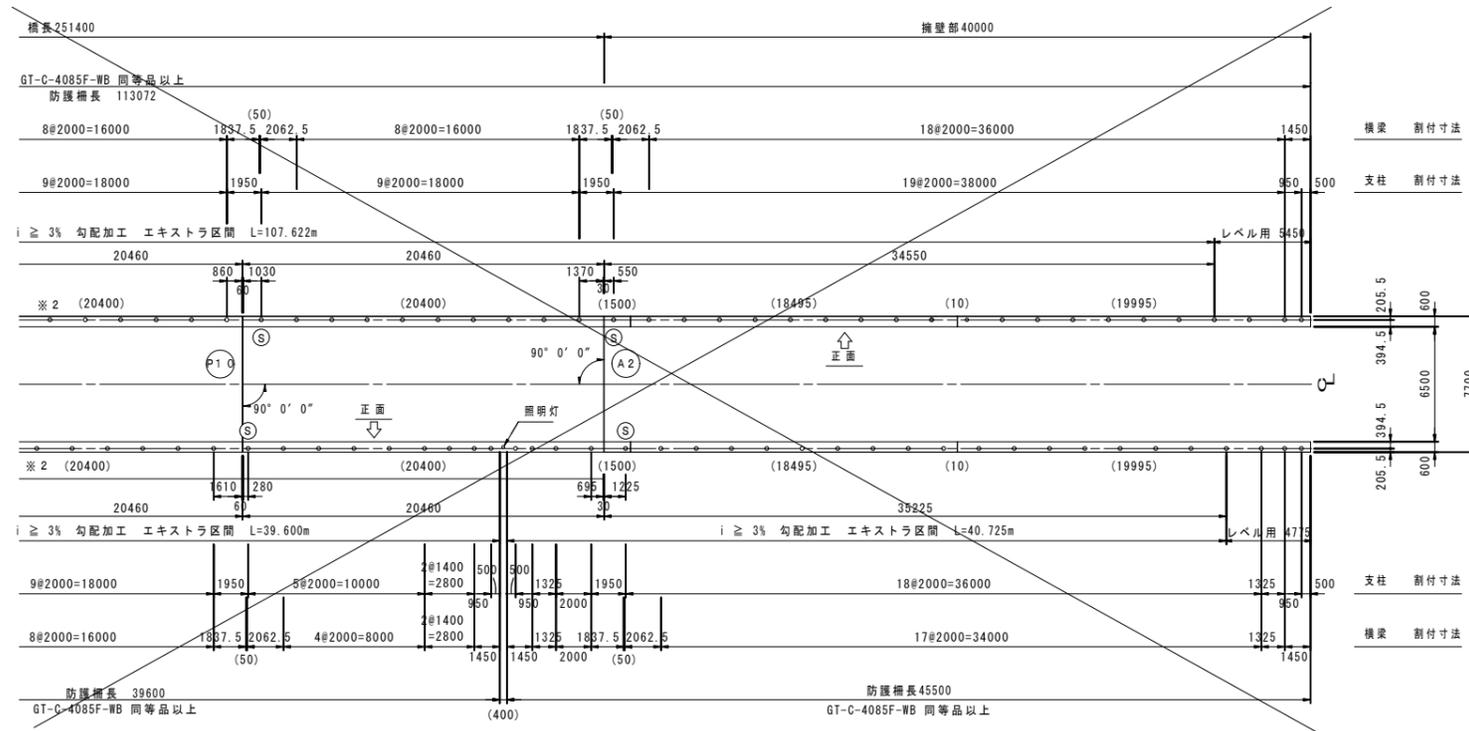


注) 防護柵長は全てアンカー中心長で示す。
 (S)印は、伸縮部を示す。
 端部詳細図(a~d)は別紙参照のこと。
 防護柵長及び幾何要素は、実測後決定とする。

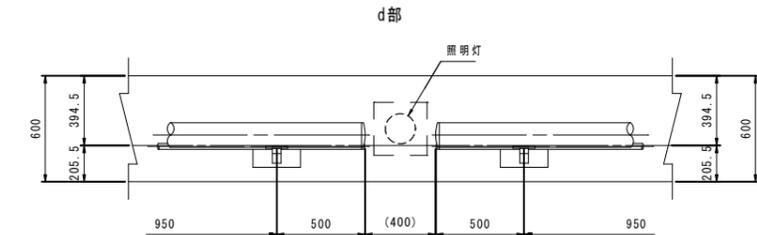
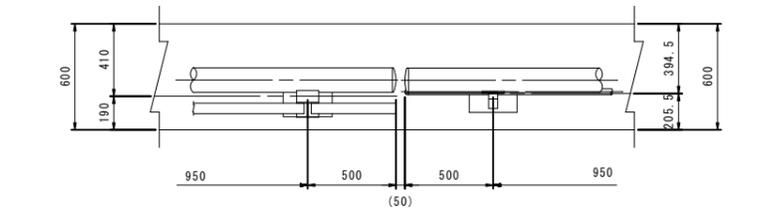
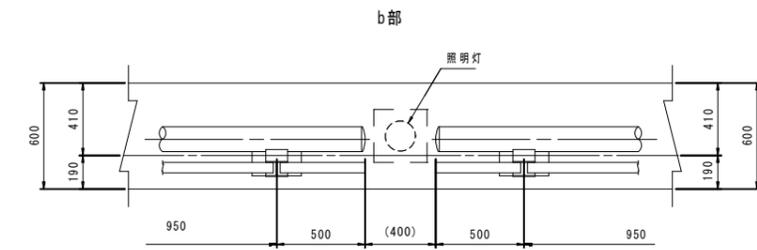
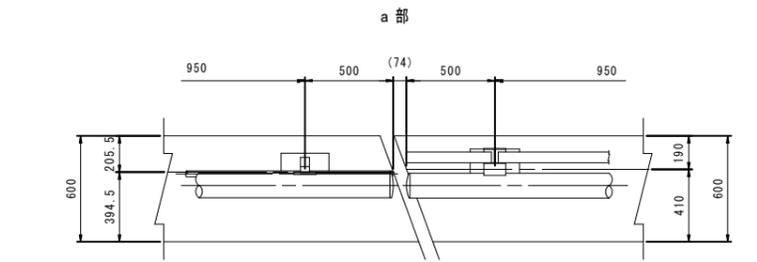
工事名	久下戸跨線橋耐震補強及び補修工事(その2)		
図面名	防護柵・投物防止柵計画図(その1)		
縮尺	図示	図面番号	28 / 38
川越市 建設部 道路街路課			

防護柵・投物防止柵計画図 (その2)

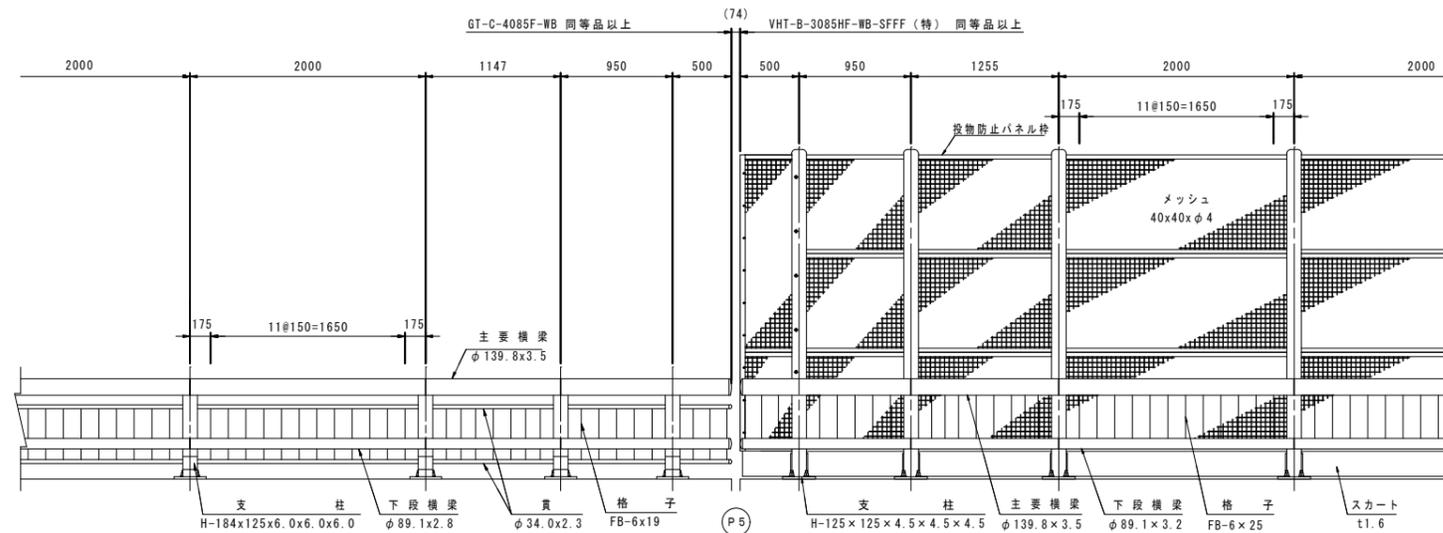
計画図 S=1:200



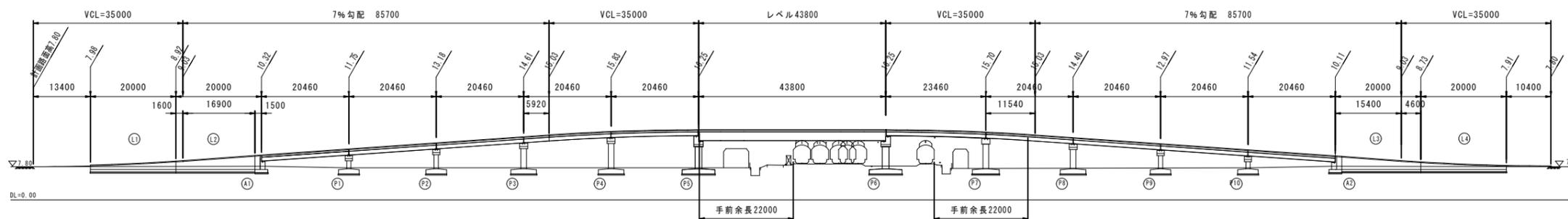
端末詳細図 S=1:20



正面展開図 S=1:30



縦断線形



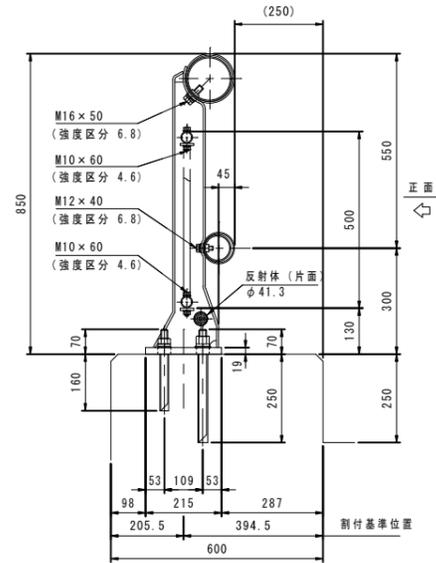
注) 防護柵長は全てアンカー中心実長で示す。
 ◎印は、伸縮部を示す。
 防護柵長及び線形要素は、実測後決定とする。

工事名	久戸跨線橋耐震補強及び補修工事(その2)		
図面名	防護柵・投物防止柵計画図 (その2)		
縮尺	図示	図面番号	29 / 38
川越市 建設部 道路街路課			

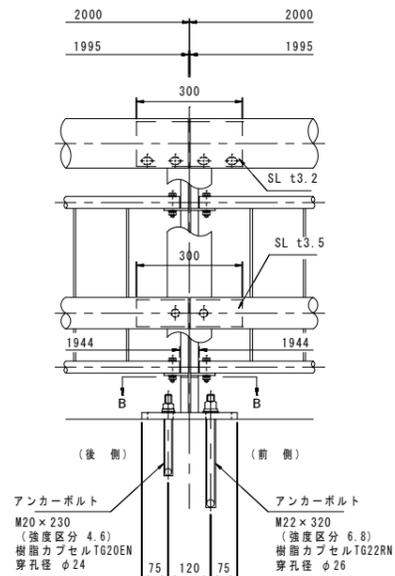
防護柵詳細図

支柱図 S=1:10

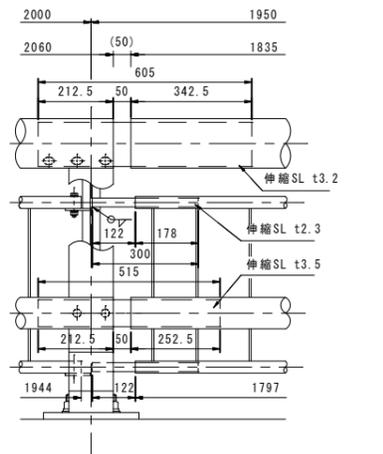
GT-C-4085F-WB 同等品以上
* SLは、スリーブを示す。



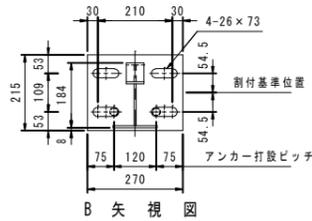
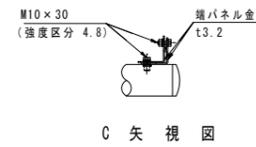
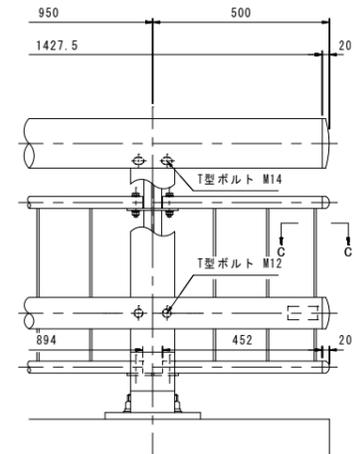
連結部



伸縮部



端末部



部材数量表 GT-C-4085F-WB 同等品以上

品名	寸法 (mm)	単位	数量	単位質量 (kg/単位)	質量 (kg)	材質
支柱	H-184x125x6.0x6.0x6.0	本	273	17.75	4845.75	SS400
主要横梁	φ139.8x3.5	m	506.020	11.80	5971.04	STK400
下段横梁	φ89.1x2.8	m	506.020	5.96	3015.88	STK400
パネル貫	φ34.0x2.3	m	1012.040	1.80	1821.67	STK400
格子	FB-6x19	m	506.020	2.32	1173.97	SS400
主要横梁 スリーブ	φ127.0x3.2x300	個	237	3.08	729.96	STK400
下段横梁 スリーブ	φ76.3x3.5x300	個	237	1.95	462.15	"
主要横梁 伸縮スリーブ	φ127.0x3.2x605	個	18	6.02	108.36	"
下段横梁 伸縮スリーブ	φ76.3x3.5x515	個	18	3.27	58.86	"
パネル貫 伸縮スリーブ	φ25.4x2.3x300	個	36	0.39	14.04	STKM-13A
取付ボルト	M16x50	セット	1002	0.12	120.24	強度区分 6.8
"	M12x40	個	510	0.06	30.60	"
"	M10x60	個	1056	0.07	73.92	強度区分 4.6
T型ボルト	M14	個	36	0.09	3.24	"
"	M12	個	36	0.07	2.52	"
壁パネル金具	M10x30, PL-t3.2	セット	18	0.37	6.66	強度区分 4.8 他
アンカーボルト	M22x320	個	726	1.06	578.76	強度区分 6.8
"	M20x230	個	726	0.54	294.84	強度区分 4.6
樹脂カプセル	TG22RN	個	726	-	-	-
"	TG20EN	個	726	-	-	-
(506.020 m 当り)				合計質量	19312.46 kg	

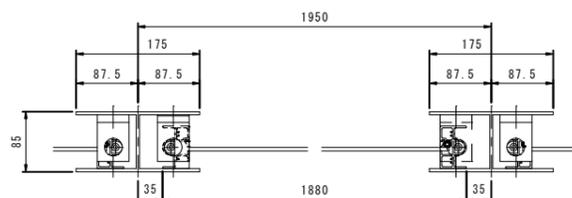
※格子の質量は6本/mとして計上する。

特記仕様 GT-C-4085F-WB 同等品以上

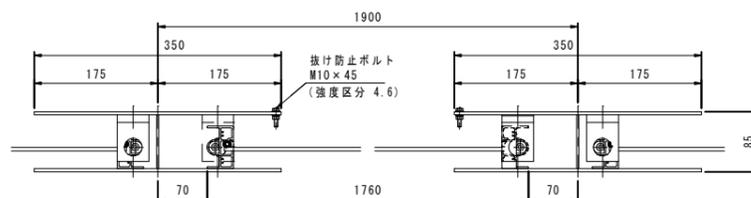
- * 支柱、主要横梁、下段横梁、貫、格子は、溶融亜鉛めっき (HDZ T49) + 静電粉体塗装 (平均50μm以上) とする。
- * スリーブは、亜鉛めっき + 静電粉体塗装 (平均50μm以上) とする。
- * 取付ボルト類は、溶融亜鉛めっき仕上げとする。
- * 反射体はスワレフレックス (ベース:黒、反射体:白) とする。

投物防止柵詳細図

伸縮部支柱上面納まり詳細図 S=1:5
(伸縮量: ±50mm)

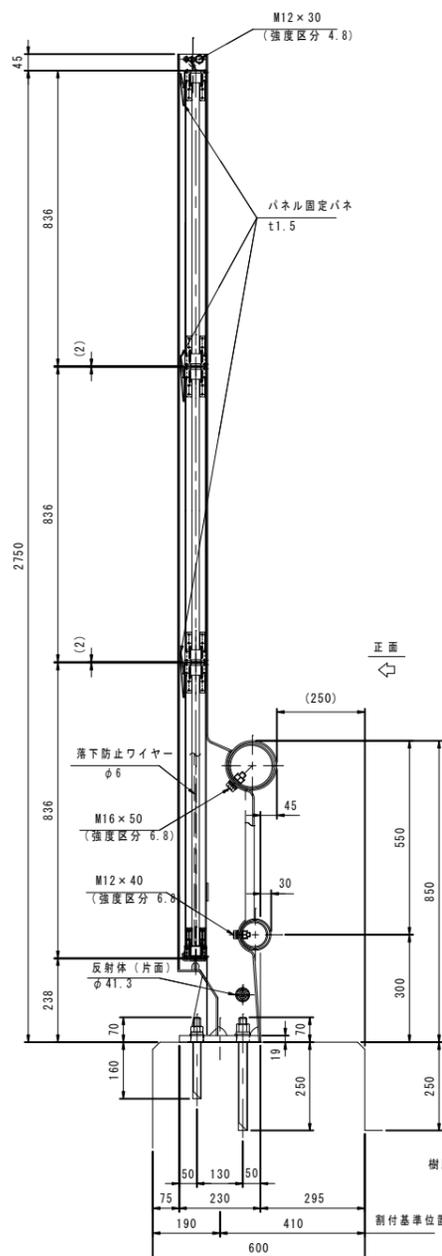


伸縮部支柱上面納まり詳細図 S=1:5
(伸縮量: ±100mm)

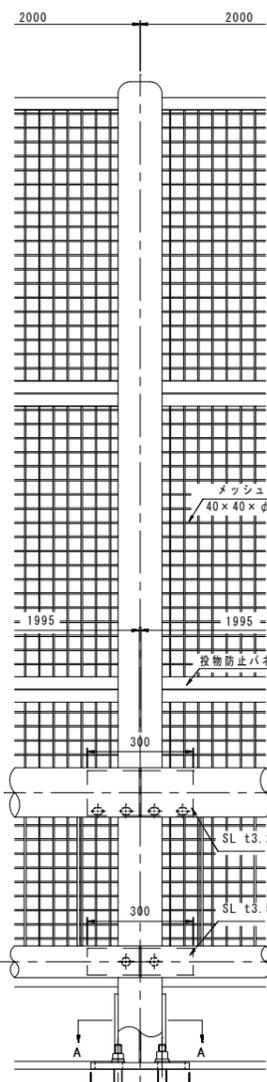


支柱図 S=1:10

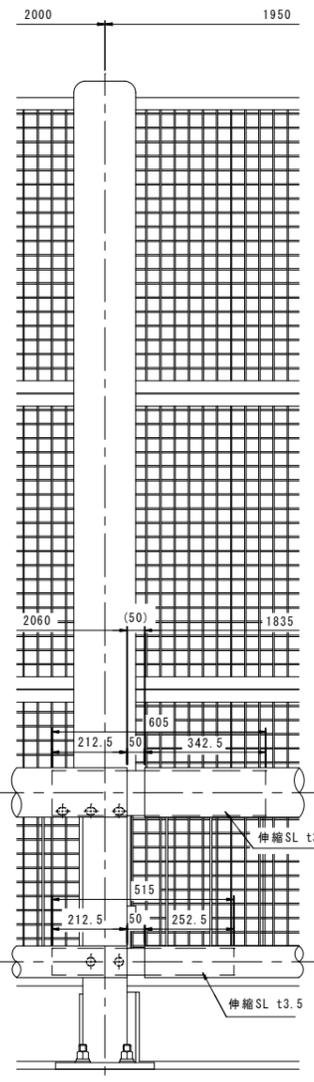
VHT-B-3085HF-WB-SFFF (特) 同等品以上
* SLは、スリーブを示す。



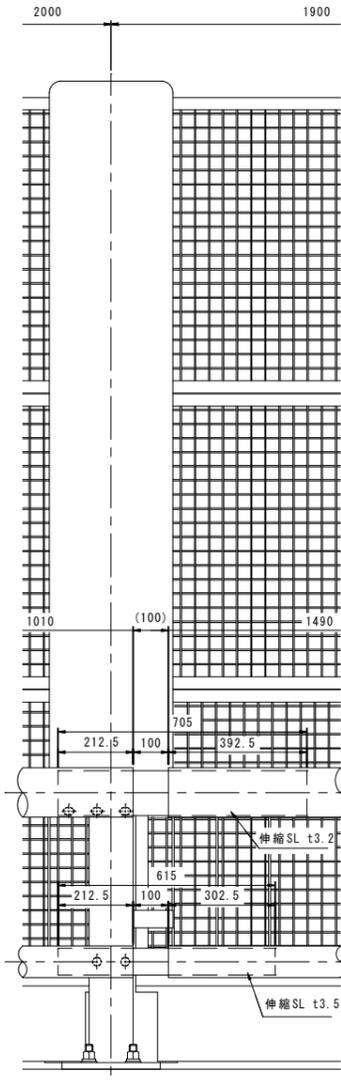
連結部



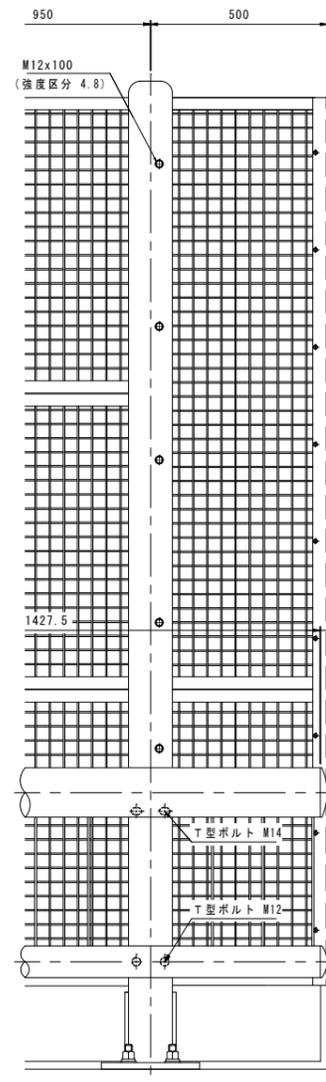
伸縮部 (伸縮量: ±50mm)



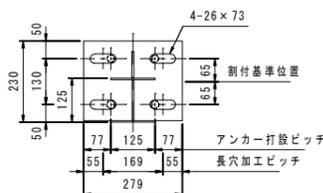
伸縮部 (伸縮量: ±100mm)



端末部



A 矢視図



部材数量表 VHT-B-3085HF-WB-SFFF (特) 同等品以上

品名	寸法 (mm)	単位	数量	単位質量 (kg/単位)	質量 (kg)	材質
支柱	H-125x125x4.5x4.5x4.5	本	86	40.24	3460.64	SS400
主要横梁	φ139.8x3.5	m	153.720	11.80	1813.90	STK400
下段横梁	φ89.1x3.2	m	153.720	6.78	1042.22	STK400
格子	FB-6x25	m	153.720	2.62	402.75	SS400
主要横梁 スリーブ	φ127.0x3.2x300	個	74	3.08	227.92	STK400
下段横梁 スリーブ	φ76.3x3.5x300	"	74	1.95	144.30	"
主要横梁 伸縮スリーブ	φ127.0x3.2x605	"	2	6.02	12.04	"
下段横梁 伸縮スリーブ	φ76.3x3.5x515	"	2	3.27	6.54	"
主要横梁 伸縮スリーブ	φ127.0x3.2x705	"	2	7.00	14.00	STK400
下段横梁 伸縮スリーブ	φ76.3x3.5x615	"	2	3.90	7.80	"
投物防止パネル	836x60	m	461.160	9.22	4251.90	SWMGH-3 A6063S-T5他
スカート	t1.6	"	153.720	3.58	550.32	SGMH400
投物防止ワイヤー	φ6x6100	本	86	0.50	43.00	アイロン樹脂被膜
パネル固定パネ (上)	t1.5	個	164	0.17	27.88	ステンレスパネ鋼
パネル固定パネ (下)	t1.5	"	328	0.21	68.88	"
取付ボルト	M16x50	セット	308	0.12	36.96	強度区分 6.8
"	M12x40	"	156	0.06	9.36	"
"	M12x30	"	86	0.07	6.02	強度区分 4.8
"	M12x100	"	48	0.12	5.76	"
T型ボルト	M14	"	16	0.09	1.44	"
"	M12	"	16	0.07	1.12	"
アンカーボルト	M22x320	セット	172	1.06	182.32	強度区分 6.8
"	M20x230	"	172	0.54	92.88	強度区分 4.6
樹脂カプセル	TG22RN	本	172	-	-	-
"	TG20EN	"	172	-	-	-
(153.720 m当り)				合計質量	12409.95 kg	

※格子の質量は6本/mとして計上する。

特記仕様 VHT-B-3085HF-WB-SFFF (特) 同等品以上

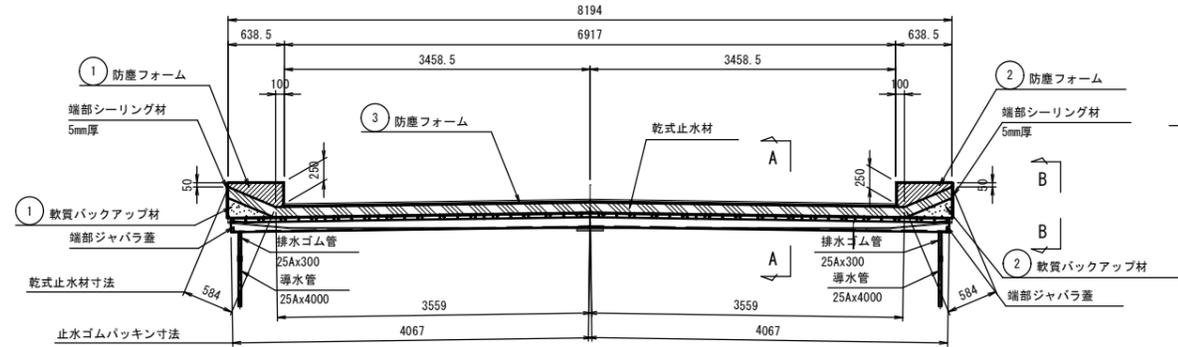
- * 支柱、主要横梁、下段横梁、格子は、溶融亜鉛めっき (HDZT49) + 静電粉体塗装 (平均50μm以上) とする。
- * スリーブは、亜鉛めっき + 静電粉体塗装 (平均50μm以上) とする。
- * スカートの、高耐熱めっき鋼板 + 静電粉体塗装 (平均50μm以上) とする。
- * 取付ボルト類は、溶融亜鉛めっき仕上げとする。
- * メッシュパネルは、亜鉛めっき鉄線 + 静電粉体塗装 (平均50μm以上) とする。
- * 投物防止パネル枠は、アルミニウム合金押出型材 (A6063S-T5, A6005CS-T5) + アルマイト処理とする。
- * 反射体はスワフレックス (ベース:黒、反射体:白) とする。

久下戸跨線橋 伸縮装置止水図

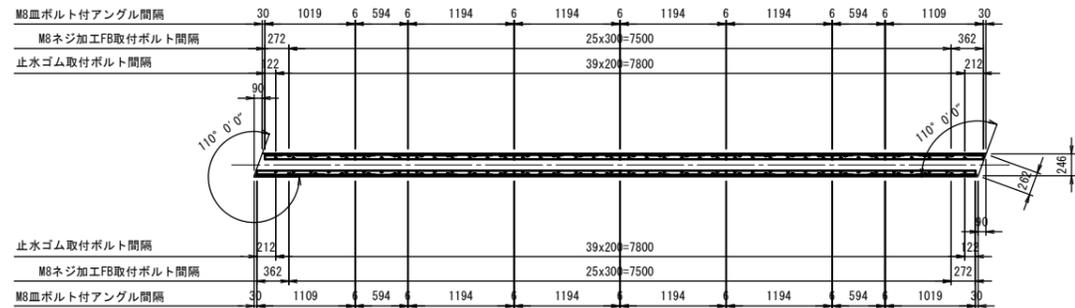
S=1:40

P5 P6

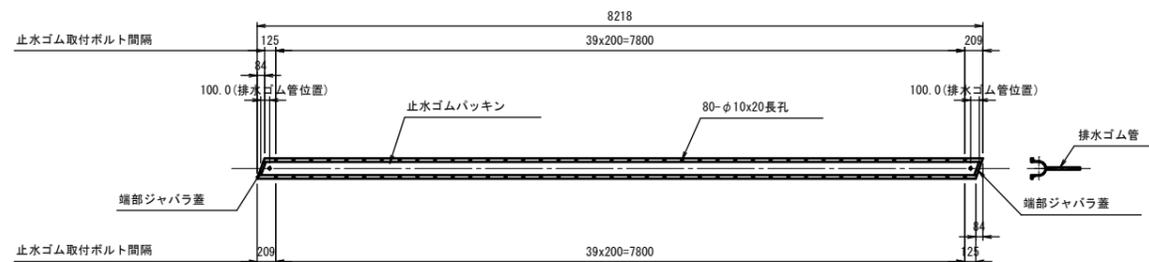
横断面図



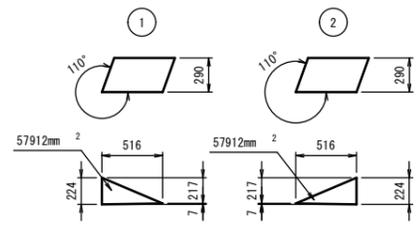
平面図



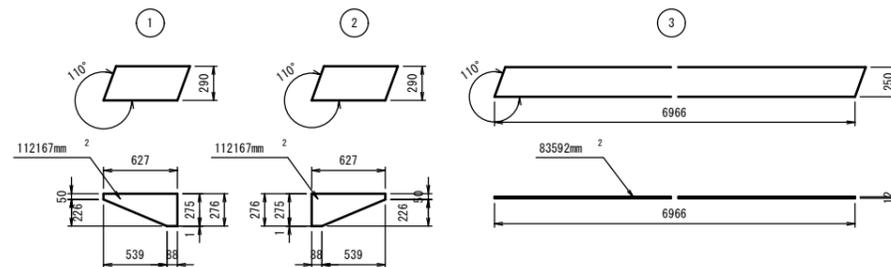
止水ゴムパッキン平面図



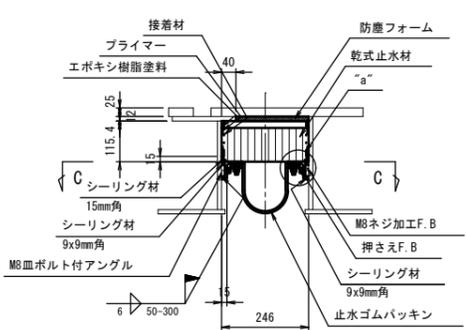
軟質バックアップ材



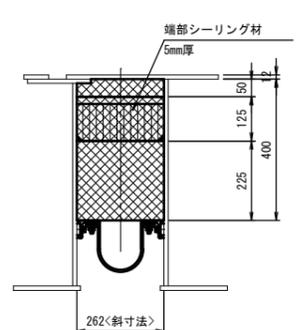
防塵フォーム詳細図



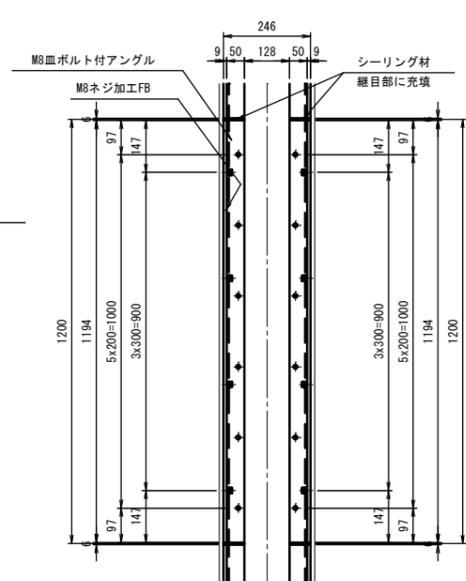
A-A矢視図



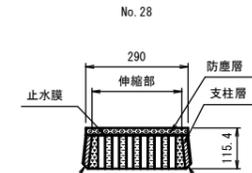
B-B矢視図



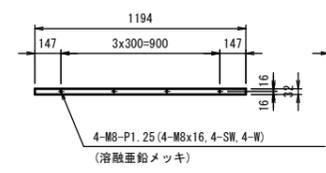
C-C矢視図



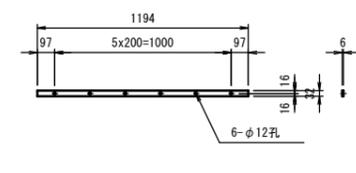
乾式止水材



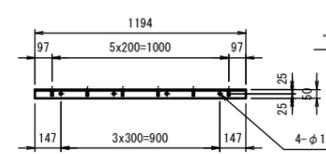
M8ネジ加工F.B詳細図



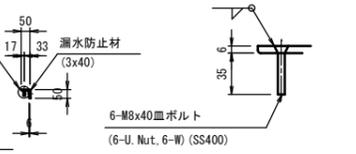
押さえF.B



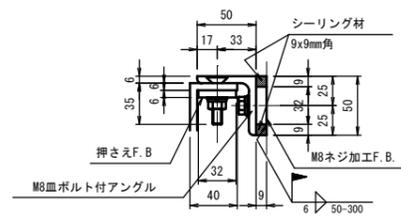
M8ボルト付アングル



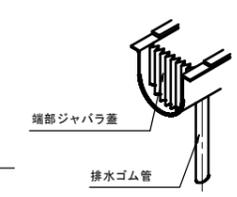
"b"部詳細図



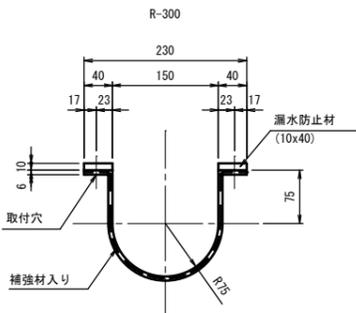
"a"部詳細図



端部ジャバラ蓋詳細図



止水ゴムパッキン断面図



※漏水防止材の厚さ10mmは製作時の厚さであり、施工時には圧着させる。

数量表

品名	仕様	単位	P5	P6	備考
乾式止水材バリアレックス-M (同等品以上)	No. 28	m	8.376	8.376	下面C15の面取り加工
防塵フォームPE	ポリエチレンフォーム	L	85.955	85.955	
軟質バックアップ材	エーテル系ウレタンフォーム	L	33.589	33.589	
エポキシ樹脂塗料	エポキシ系	kg	0.834	0.834	
プライマー (AO-1 (同等品以上))	シリコン系	kg	0.139	0.139	
接着剤 (KE-45-TSブラック (同等品以上))	シリコン系	kg	2.276	2.276	
シーリング材 (CF5044 (同等品以上))	シリコン系	L	4.622	4.622	
端部シーリング材 (マスター300LS (同等品以上))	シリコン系	L	1.048	1.048	
M8ネジ加工FB	FB32 x 9, SS400	m	16.184	16.184	溶融亜鉛メッキ
止水ゴムパッキン	R-300	m	8.218	8.218	
M8ボルト付きアングル	L50x50x6, SS400	m	16.184	16.184	溶融亜鉛メッキ
押さえF.B	FB32x6, SS400	m	16.184	16.184	溶融亜鉛メッキ
端部ジャバラ蓋	Lタイプ	ヶ	2	2	
排水ゴム管	25Ax300	ヶ	2	2	ニップル・ホースバンド付き
排水管	25Ax4000	ヶ	2	2	
漏水防止材	3x40	m	16.184	16.184	
	10x40	m	16.268	16.268	

注記

- 現地調査を行い、図面寸法と照合を行うこと。
- 既設止水材撤去後、リップ、通行管等がないか確認すること。
- 上記調査結果より、必要な場合は設計変更すること。

位置図

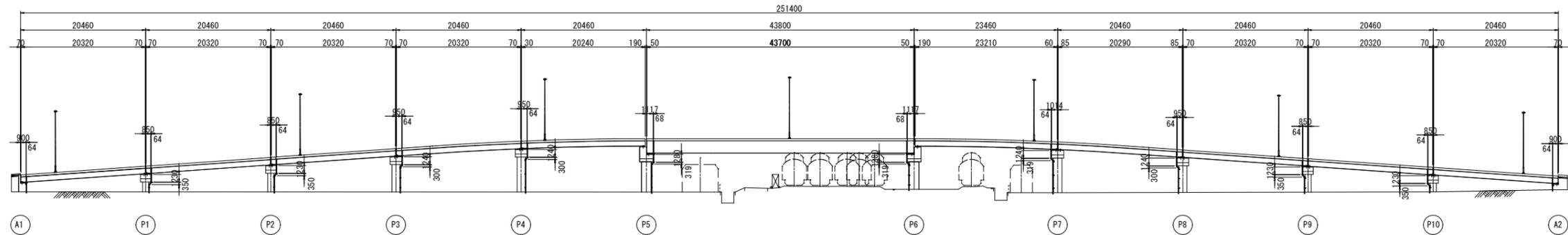


工事名	久下戸跨線橋耐震補強及び補修工事(その2)		
図面名	伸縮装置止水図		
縮尺	図示	図面番号	32 / 38
川越市 建設部 道路街路課			

久下戸跨線橋 排水装置取替え工図 (その1)

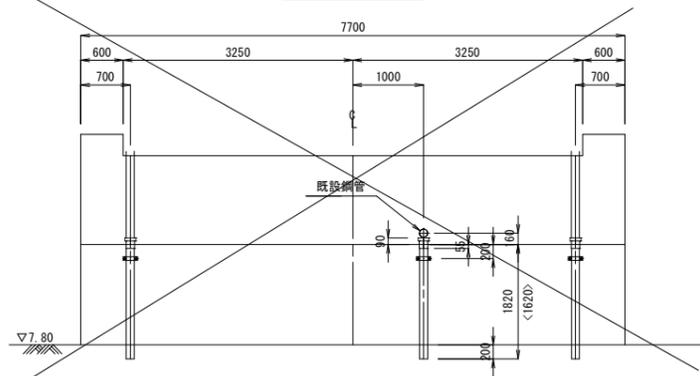
既設図 A1橋台~A2橋台

全体図 S=1:400

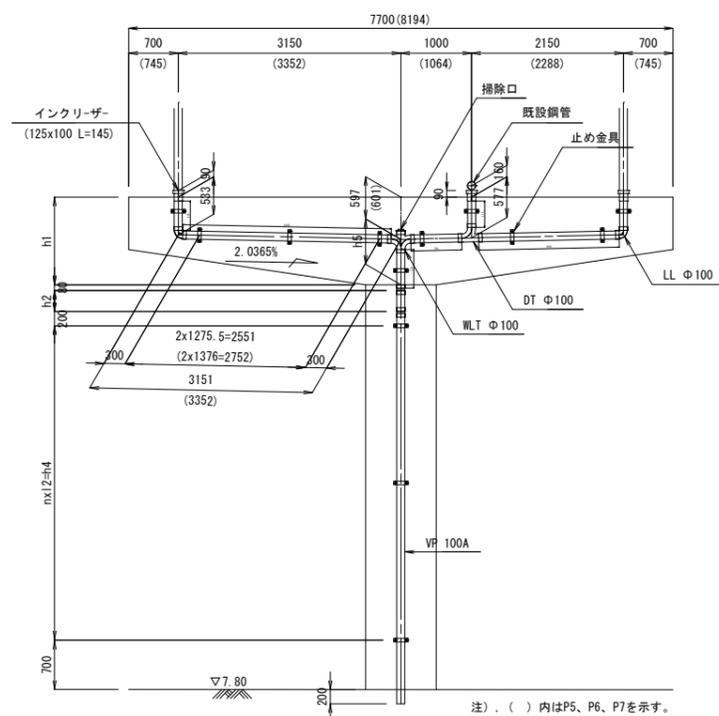


断面図 S=1:50

A1、<A2>

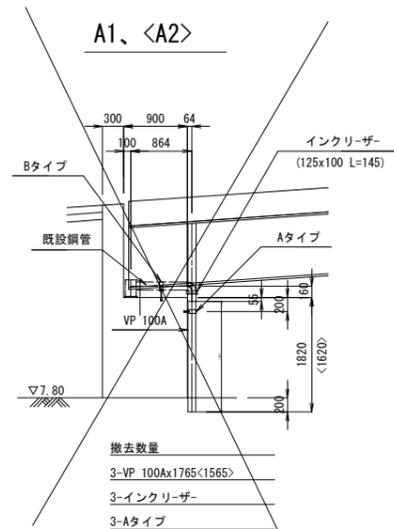


P1~P10



注) () 内はP5、P6、P7を示す。

A1、<A2>

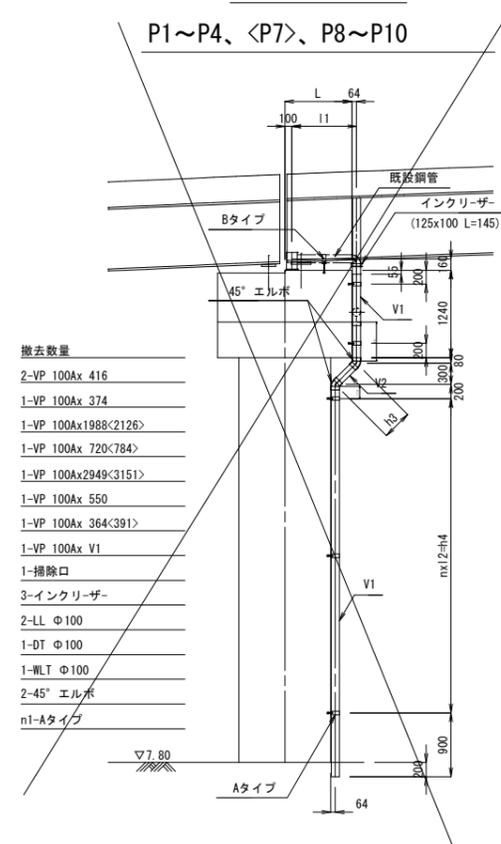


撤去数量

- 3-VP 100Ax1765<1565>
- 3-インクリーザ
- 3-Aタイプ

側面図 S=1:50

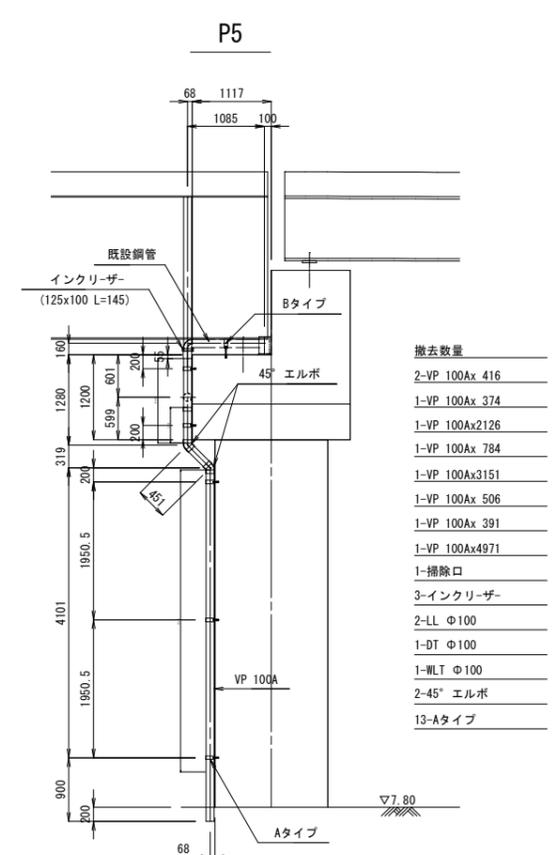
P1~P4、<P7>、P8~P10



撤去数量

- 2-VP 100Ax 416
- 1-VP 100Ax 374
- 1-VP 100Ax1988<2126>
- 1-VP 100Ax 720<784>
- 1-VP 100Ax2949<3151>
- 1-VP 100Ax 550
- 1-VP 100Ax 364<391>
- 1-VP 100Ax V1
- 1-掃除口
- 3-インクリーザ
- 2-LL φ100
- 1-DT φ100
- 1-WLT φ100
- 2-45° エルボ
- n1-Aタイプ

P5



撤去数量

- 2-VP 100Ax 416
- 1-VP 100Ax 374
- 1-VP 100Ax2126
- 1-VP 100Ax 784
- 1-VP 100Ax3151
- 1-VP 100Ax 506
- 1-VP 100Ax 391
- 1-VP 100Ax4971
- 1-掃除口
- 3-インクリーザ
- 2-LL φ100
- 1-DT φ100
- 1-WLT φ100
- 2-45° エルボ
- 13-Aタイプ

橋脚寸法表

	P1	P2	P3	P4	P7	P8	P9	P10
L	850	850	950	950	1011	950	850	850
l1	814	814	914	914	979	914	814	814
h1	1230	1230	1240	1240	1240	1240	1230	1230
h2	350	350	300	300	319	300	350	350
h3	495	495	424	424	451	424	495	495
h4	490	1920	3400	4620	4471	3190	1710	280
h5	633	633	643	643	639	643	633	633
l2	-	1920	1700	2290	2215.5	1595	1710	-
n	-	1	2	2	2	2	1	-
V1	1560	2990	4470	5690	5541	4260	2780	1350
n1	11	12	13	13	13	13	12	11

注記)

- 躯体形状は竣工図を基に作成したもので工事の際は現地検測の上、相違がないか確認すること。
- 取付位置は現地検測の上決定のこと。
- アンカー削孔の際は既設鉄筋を破断せぬよう配筋調査を行うこと。
- 施工にあたっては、詳細調査を行い、形状寸法・損傷状況を確認し、修正を行うこと。その際、数量等に変動がある場合は監督員と協議し、対応にあたること。
- 施工にあたっては、詳細調査を行い、形状寸法・損傷状況を確認し、修正を行うこと。その際、数量等に変動がある場合は監督員と協議し、対応にあたること。

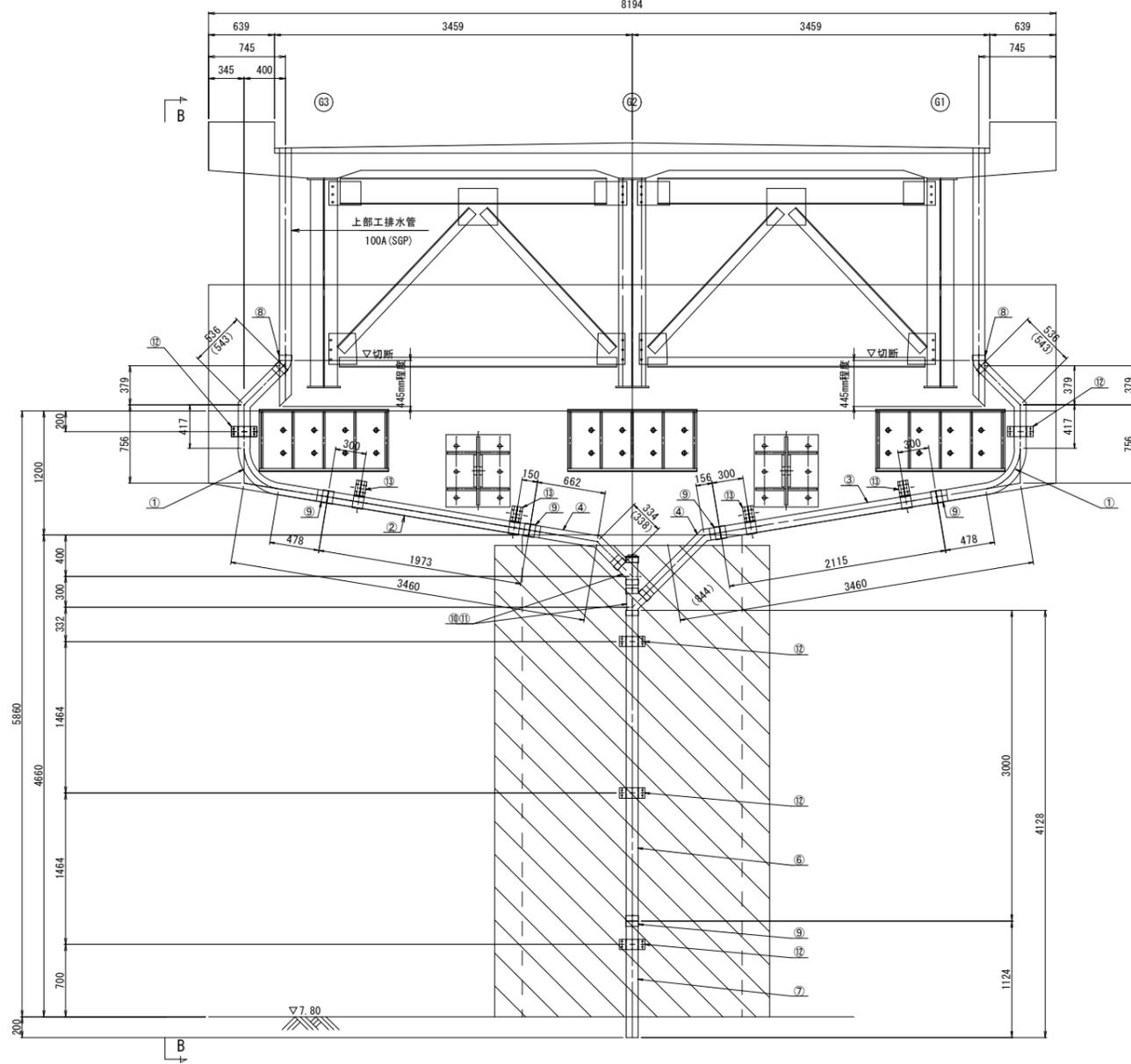
工事名	久下戸跨線橋耐震補強及び補修工事(その2)		
図面名	排水装置取替え工図 (その1)		
縮尺	図示	図面番号	33 / 38
川越市 建設部 道路街路課			

久下戸跨線橋 排水装置取替工図 (その2)

新設図 P5橋脚

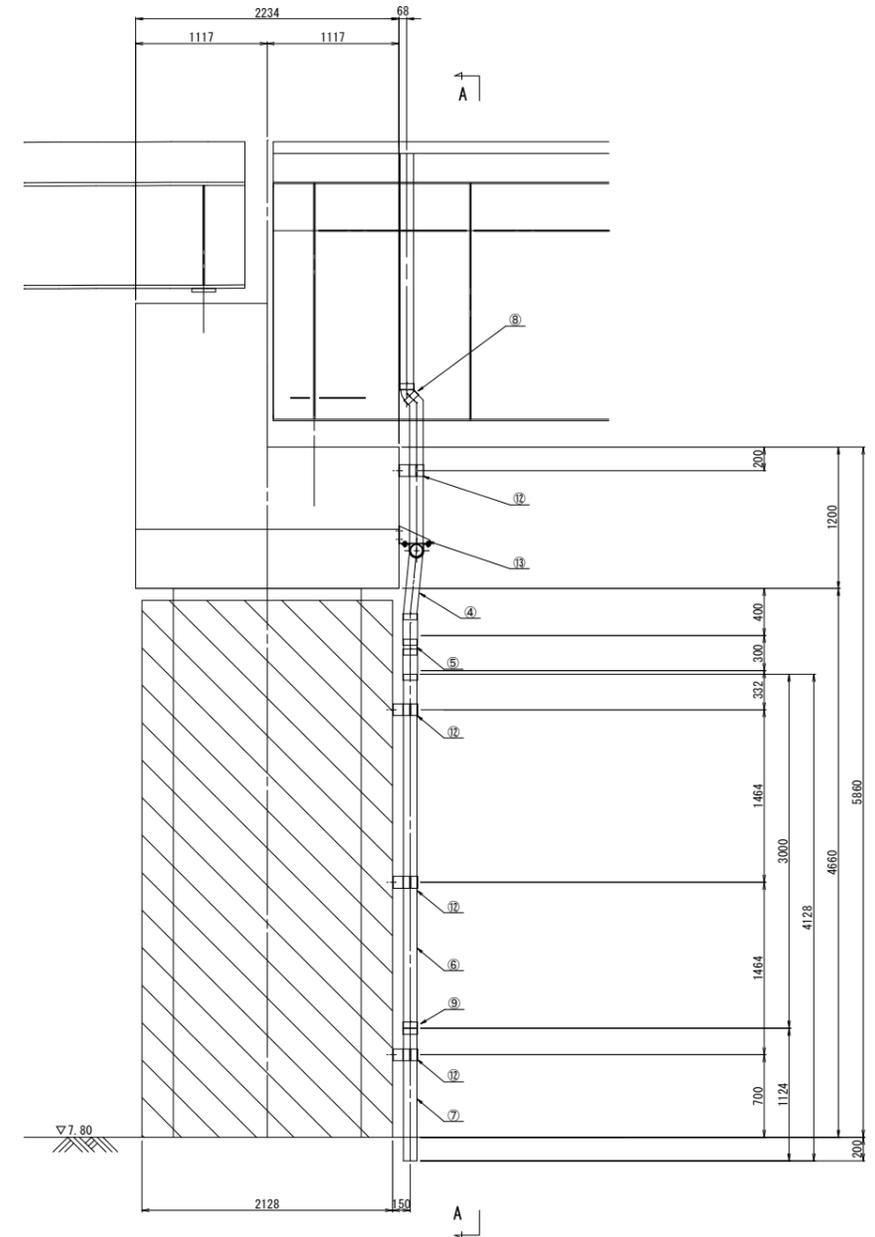
断面図 S=1:30

A - A



側面図 S=1:30

B - B



撤去数量

2-SGP 100Ax445

新設数量

- ① 2-エバフリー BFP-100-2000L同等品以上
- ② 1-VP 100Ax1973
- ③ 1-VP 100Ax2115
- ④ 2-エバフリー BFP-100-1000L同等品以上
- ⑤ 1-VP 100A 134
- ⑥ 1-VP 100Ax3000
- ⑦ 1-VP 100Ax1124
- ⑧ 2-45° エルボ Φ100
- ⑨ 5-ソケット Φ100
- ⑩ 2-45° Y Φ100
- ⑪ 1-つまみ型挿脱口 Φ100
- ⑫ 5-取付金具Aタイプ
- ⑬ 4-取付金具Bタイプ

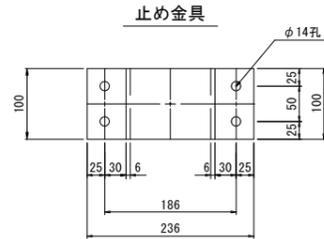
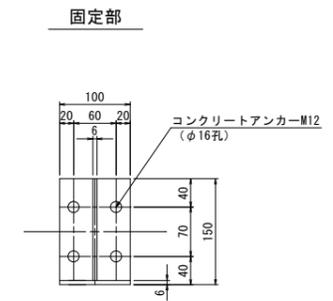
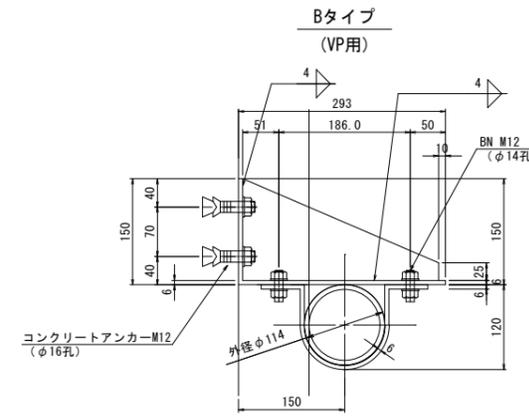
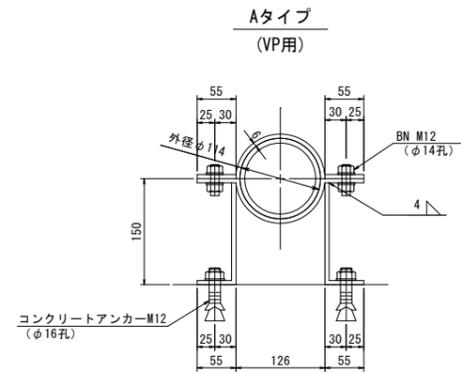
注記

1. 躯体形状は竣工図を基に作成したもので工事の際は現地検測の上、相違がないか確認すること。
2. 取付位置は現地検測の上決定のこと。
3. アンカー削孔の際は既設鉄筋を破断せぬよう配筋調査を行うこと。
4. 施工にあたっては、詳細調査を行い、形状寸法・損傷状況を確認し、修正を行うこと。その際、数量等に変動がある場合は監督員と協議し、対応にあたること。
5. 施工にあたっては、詳細調査を行い、形状寸法・損傷状況を確認し、修正を行うこと。その際、数量等に変動がある場合は監督員と協議し、対応にあたること。

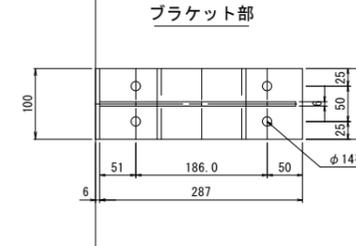
工事名	久下戸跨線橋耐震補強及び補修工事(その2)		
図面名	排水装置取替工図 (その2)		
縮尺	図示	図面番号	34 / 38
川越市 建設部 道路街路課			

久下戸跨線橋 排水装置取替え工図 (その3)

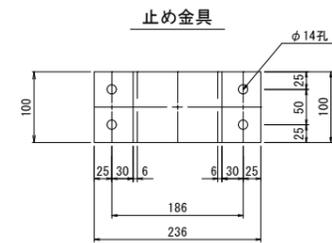
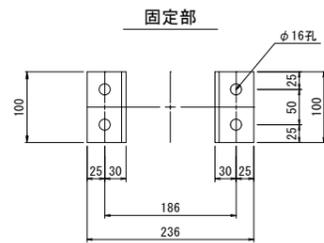
止め金具取付け図 S=1:5



- 新設数量 (一組当たり)
- 2-FB 100x6x299
 - 2-FB 100x6x193
 - 4-BN M12×40
 - 4-コンクリートアンカー M12



- 新設数量 (一組当たり)
- 1-FB 100x6x437
 - 1-FB 144x6x277
 - 1-FB 100x6x412
 - 4-BN M12×40
 - 4-コンクリートアンカー M12



止め金具材料表 (Aタイプ)

(1組あたり)

品名	規格・寸法	材質	1個当り質量 (kg)	数量	質量 (kg)	備考
支持バンド	FB 100x6x299	SS400	1.41	2個	2.8	W= 4.71 kg/m
支持プレート	FB 100x6x193	SS400	0.91	2個	1.8	W= 4.71 kg/m
鋼材合計					4.6 kg	
六角ボルト・ナット	M12×40 (2#付き)			4個		
コンクリートアンカー	スリーブ打込み式 M12			4個		

止め金具材料表 (Bタイプ)

(1組あたり)

品名	規格・寸法	材質	1個当り質量 (kg)	数量	質量 (kg)	備考
支持プレート	FB 100x6x437	SS400	2.06	1個	2.1	W= 4.71 kg/m
支持プレート リブ	FB 144x6x277	SS400	1.88	1個	1.9	W= 6.78 kg/m
支持バンド	FB 100x6x412	SS400	1.94	1個	1.9	W= 4.71 kg/m
鋼材合計					5.9 kg	
六角ボルト・ナット	M12×40 (2#付き)			4個		
インサートアンカー	スリーブ打込み式 M12			4個		

注記)

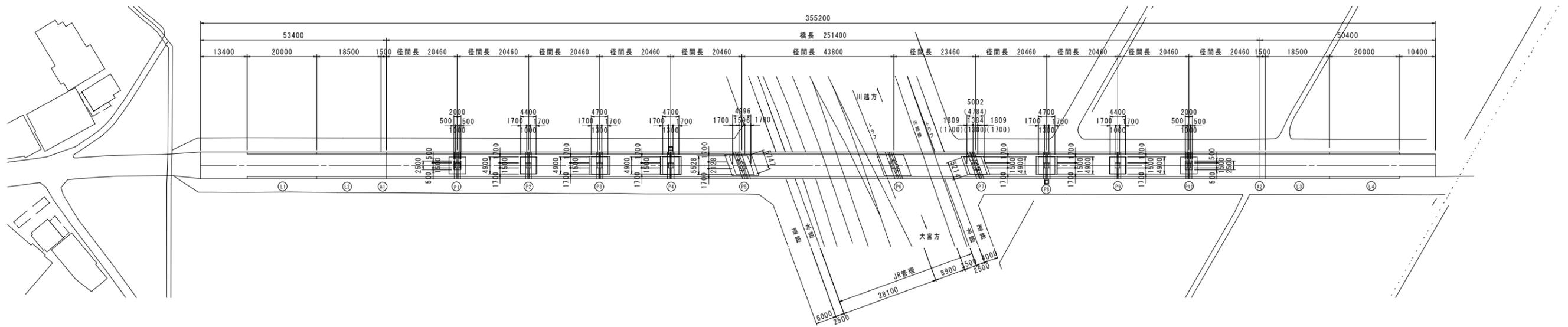
1. 躯体形状は竣工図を基に作成したもので工事の際は現地検測の上、相違がないか確認すること。
2. 取付位置は現地検測の上決定のこと。
3. アンカー削孔の際は既設鉄筋を破断せぬよう配筋調査を行うこと。
4. 施工にあたっては、詳細調査を行い、形状寸法・損傷状況を確認し、修正を行うこと。その際、数量等に変動がある場合は監督員と協議し、対応にあたること。
5. 施工にあたっては、詳細調査を行い、形状寸法・損傷状況を確認し、修正を行うこと。その際、数量等に変動がある場合は監督員と協議し、対応にあたること。

工事名	久下戸跨線橋耐震補強及び補修工事(その2)		
図面名	排水装置取替え工図 (その3)		
縮尺	図示	図面番号	35 / 38
川越市 建設部 道路街路課			

施工計画図(その1)

土工

平面図 S=1:600



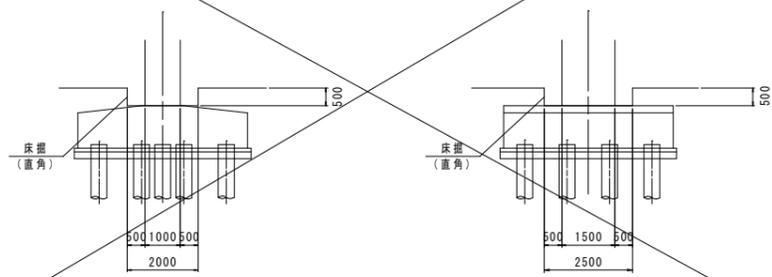
掘削工 S=1:100

P1, P10橋脚

側面図

正面図

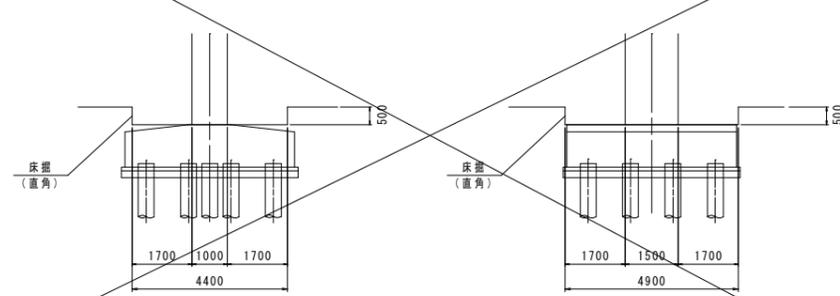
土被りは竣工図の値



P2, P9橋脚

側面図

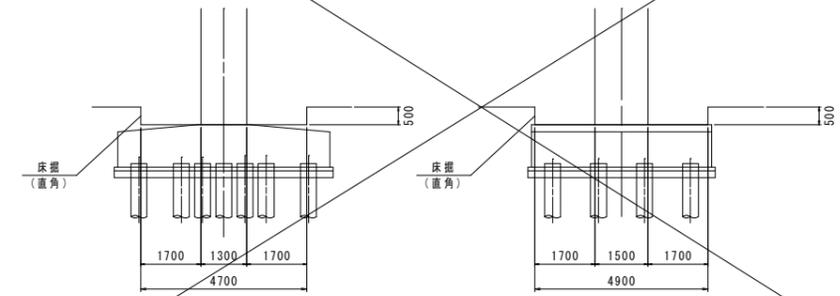
正面図



P3, P4, P8橋脚

側面図

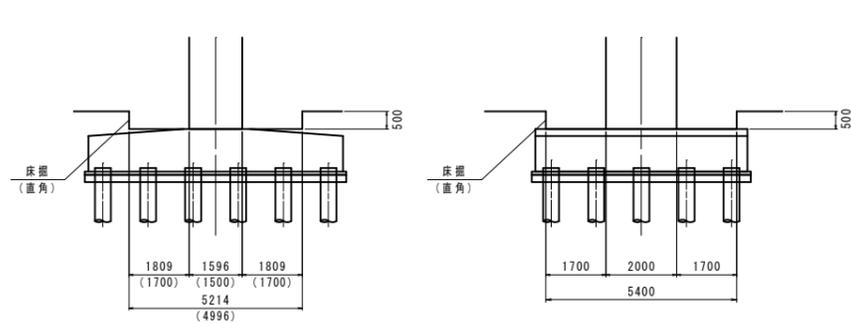
正面図



P5橋脚

側面図

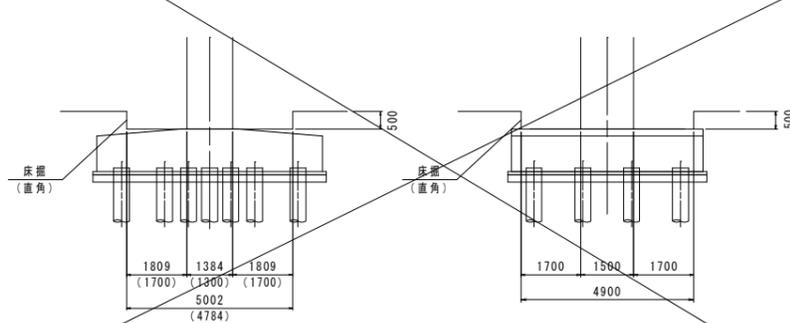
正面図



P7橋脚

側面図

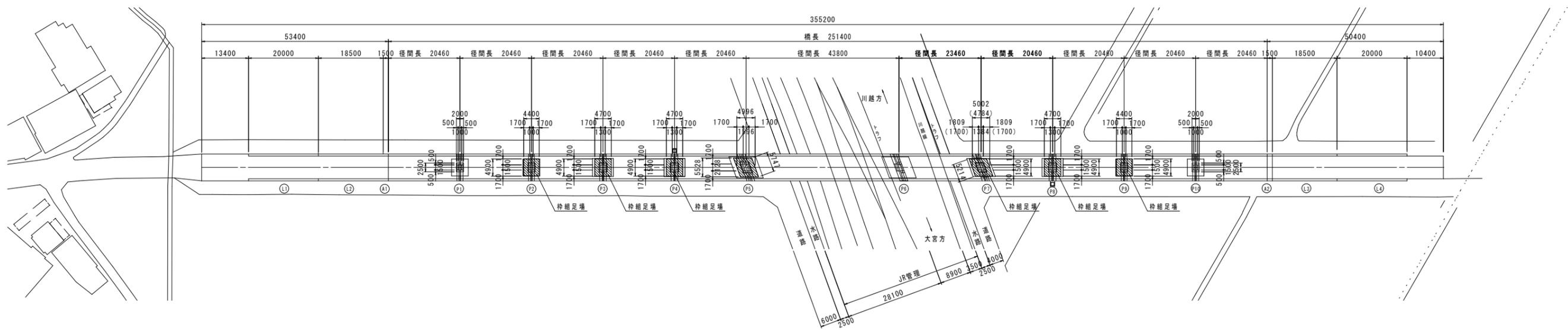
正面図



※特記事項
1. 本図面は、既存資料および現地計測をもとに作成した図面である。

工事名	久下戸線橋耐震補強及び補修工事(その2)		
図面名	施工計画図(その1)		
縮尺	図示	図面番号	36 / 38
川越市 建設部 道路街路課			

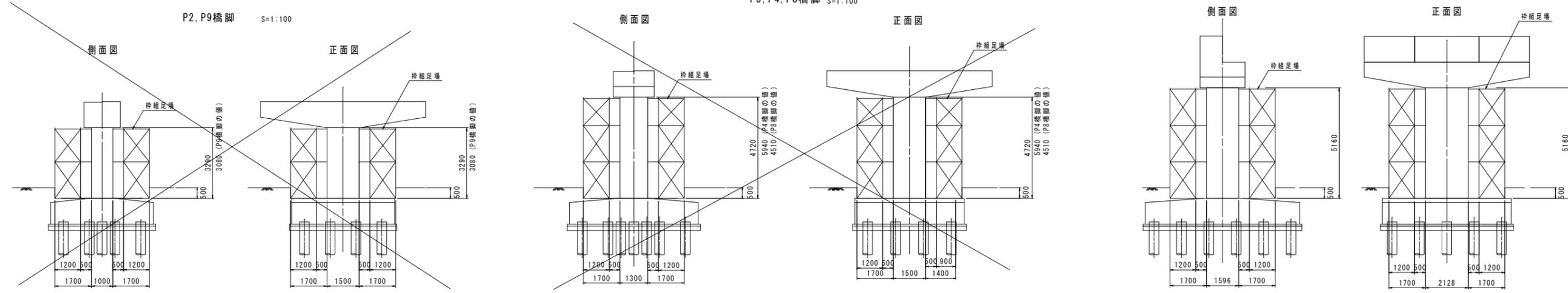
施工計画図(その2)
足場工(その1) RC巻立て工時
平面図 S=1:600



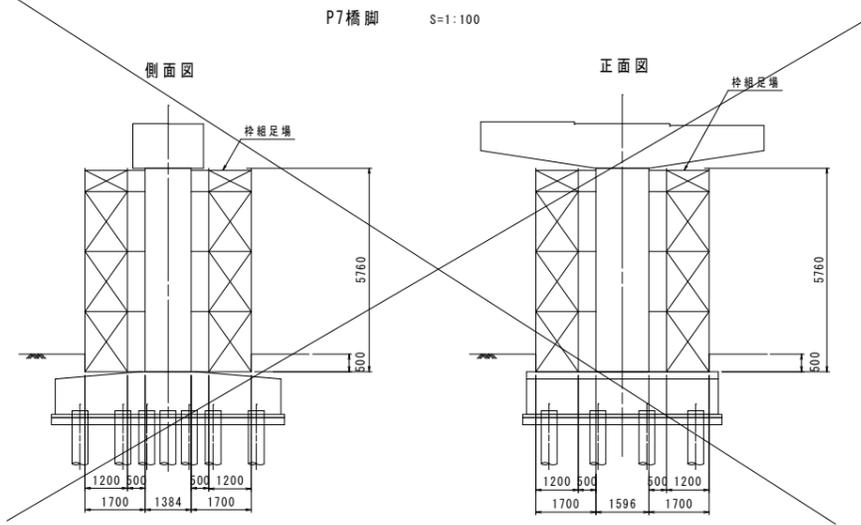
P5橋脚 S=1:100

P3, P4, P8橋脚 S=1:100

P2, P9橋脚 S=1:100



P7橋脚 S=1:100



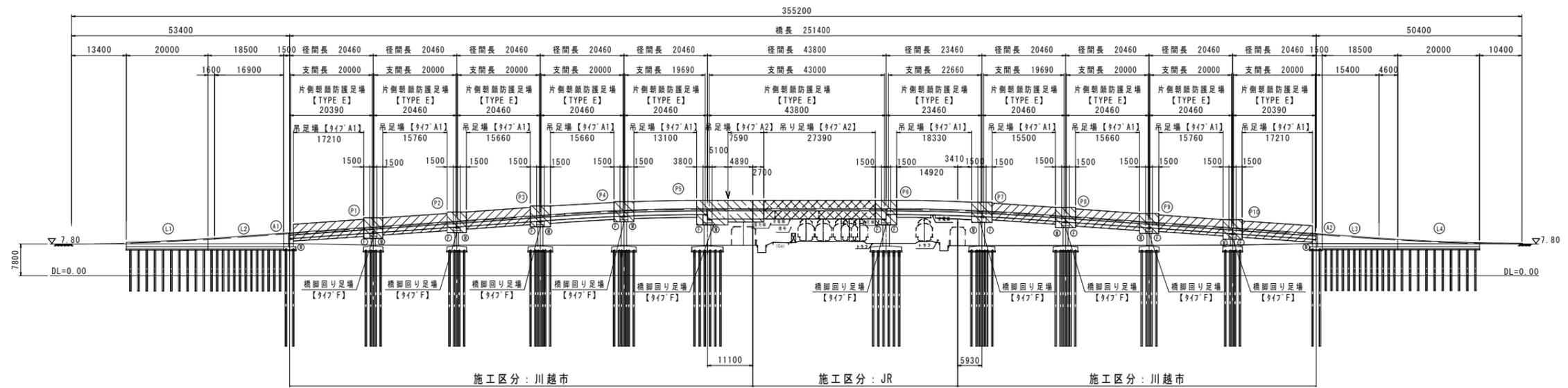
※特記事項
1. 本図面は、既存資料および現地計測をもとに作成した図面である。

工事名	久戸跨線橋耐震補強及び補修工事(その2)		
図面名	施工計画図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	37 / 38
川越市 建設部 道路街路課			

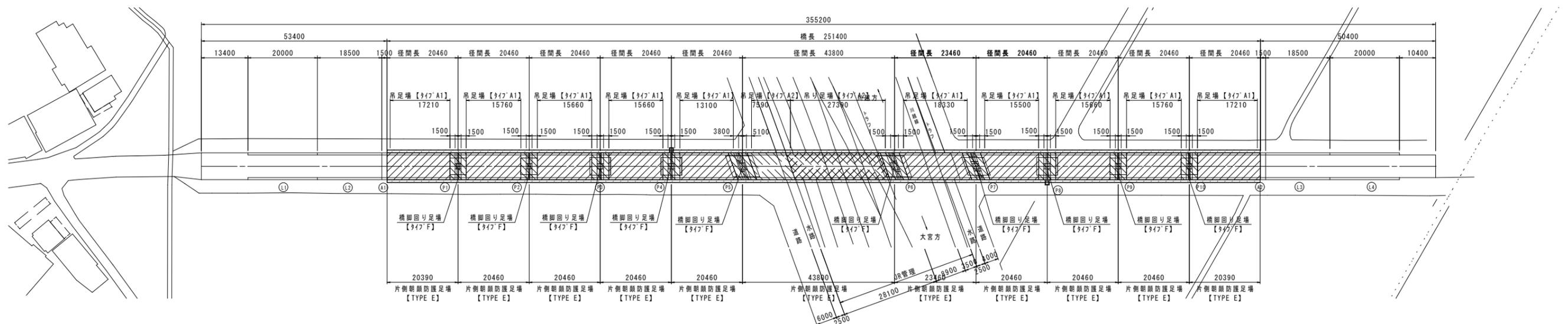
施工計画図(その3)

足場工(その2) 落橋防止システム工事

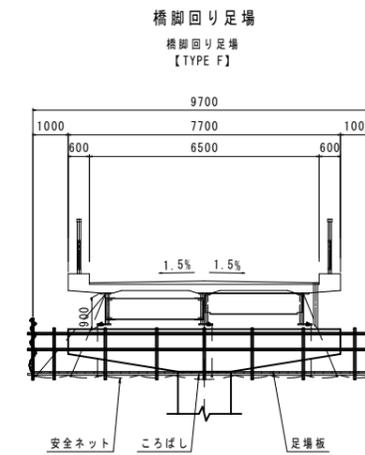
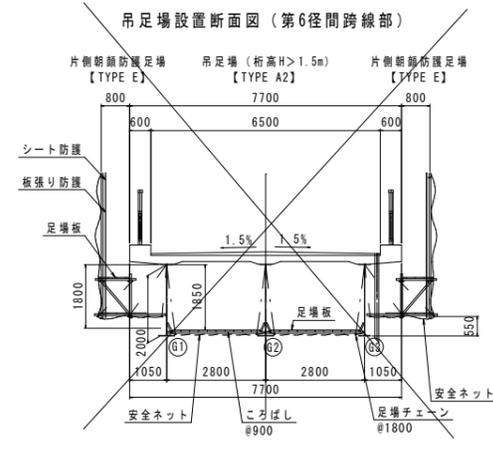
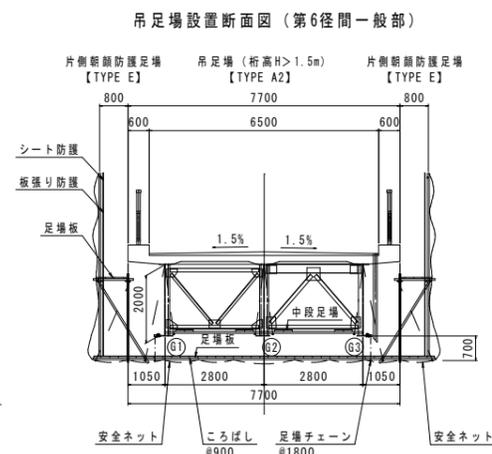
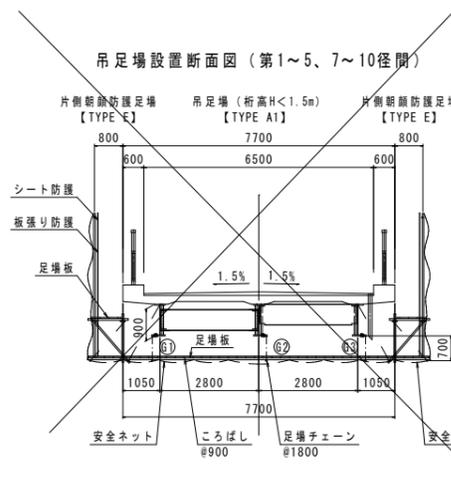
側面図 S=1:600



平面図 S=1:600



足場設置図 S=1:100



工事名	久戸跨線橋耐震補強及び補修工事(その2)		
図面名	施工計画図(その3)		
縮尺	図示	図面番号	38 / 38
川越市 建設部 道路街路課			